

平成30年度

事業報告書

社会福祉法人 群馬県社会福祉協議会

目 次

○ 概 要

重点事業の概要	1
---------	---

○ 事業報告

I 地域福祉活動の促進支援	11
1 住民による地域福祉活動の活性化促進	11
(1) 地域包括ケアシステムの理解と推進	11
(2) 小地域における地域福祉活動の推進	13
(3) 地域福祉活動推進のための人材育成	15
(4) 市町村地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定支援	18
(5) 市町村社協地域福祉推進に向けた支援	19
2 地域共生社会の実現に向けた連携事業の推進	20
(1) 市町村における地域共生社会の実現に向けた取組支援	20
(2) 地域共生社会推進事業助成金の実施	22
3 ボランティア・市民活動の推進、福祉教育の充実	22
(1) ぐんまボランティア・市民活動支援センターの機能強化	22
(2) 市町村社協ボランティアセンターの活動支援	24
(3) ボランティア活動推進のための人材育成	24
(4) 福祉教育の推進及び支援	32
4 共同募金運動への協力とその推進	35
(1) 共同募金運動への協力とその推進	35
5 預託者からの善意に基づく就学援助金等給付事業の充実	37
(1) 交通遺児就学援助金給付事業の実施	37
(2) 保護児童就学援助金給付事業の実施	37
(3) 保護児童高校等入学支度金支給事業の実施	39
II 災害時における活動支援体制の構築	40
1 災害福祉支援ネットワークの構築	40
(1) 公民協働による包括的・継続的な支援体制の構築	40
(2) 施設間連携による利用者・職員・物資等の相互受入	40
(3) 災害派遣福祉チーム員の登録・養成	41

(4) 災害時の福祉支援体制づくりへの支援	42
(5) 都道府県域における同時多発・広域災害への支援のあり方検討委員会 への協力	43
(6) JV OAD福祉支援専門委員会準備会への協力	44
2 市町村災害ボランティアセンターの機能強化	44
(1) 市町村災害ボランティアセンターの設置・運営支援	44
(2) 市町村社協の災害時の体制整備支援	47
(3) 災害時における事業継続計画策定の推進	48
(4) 関係機関とのネットワークづくり	49
(5) 平成30年7月豪雨災害被災地への応援職員派遣等について	51
III 生活困窮者等への相談支援体制の強化	53
1 生活困窮者自立相談支援事業における相談支援体制の強化	53
(1) 生活困窮者の発見と把握	53
(2) 生活困窮者に対する相談支援・就労支援	53
(3) 包括的な総合相談体制の強化	56
(4) 関係機関との連携強化	57
(5) 生活福祉資金貸付事業との連携	58
(6) 貧困の連鎖への対応	58
2 生活福祉資金貸付制度における相談・債権管理体制の充実	61
(1) 債権管理の充実	61
(2) 相談・貸付・債権管理体制の充実	61
(3) 関係機関との連携	62
3 地域における民生委員・児童委員活動の一層の推進	68
(1) 民生委員・児童委員活動への支援	68
(2) 民生委員・児童委員活動を支援するための研修事業の実施	68
4 心配ごと相談事業の実施	69
(1) 心配ごと相談所中央センターの運営	69
5 自立支援に向けての貸付事業の実施(新たな貸付)	70
(1) ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業の実施	70
(2) 児童養護施設退所者等自立支援資金貸付事業の実施	70
IV 地域における生活支援体制の強化	71
1 権利擁護事業の強化	71
(1) 日常生活自立支援事業の推進	71
(2) 成年後見制度との連携	78
(3) 関係機関・団体との連携と啓発	82

V 福祉人材の充実と定着支援の強化	83
1 福祉人材確保の安定化・定着化	83
(1) 群馬県福祉マンパワーセンターの管理・運営	83
(2) 次代の福祉人材の育成と福祉・介護分野のイメージアップ	86
(3) 福祉人材無料職業紹介所の利用促進	88
(4) 福祉人材の確保・育成・定着対策の充実・強化	89
2 福祉職をめざす人への支援	100
(1) 介護福祉士修学資金等貸付事業の実施	100
(2) 保育士修学資金貸付事業の実施	101
VI 研修事業の充実による人材育成	102
1 研修機能の強化	102
(1) 研修体系の見直しと体制整備の充実	102
VII 社会福祉法人への支援と福祉サービスの質の向上への取組	123
1 社会福祉法人・施設等への支援と連携強化	123
(1) 地域における公益的な取組の実施に向けた支援	123
(2) 福祉施設経営相談事業の実施	125
(3) 社会福祉法人の機能強化への支援	126
(4) 青年経営者として求められる知識と実践的能力の取得	126
(5) 積極的な情報発信のための支援	127
2 障害者福祉施策への取組	127
(1) 障害者の就労・自立への支援	127
3 社会福祉法人・社会福祉施設への支援	128
(1) 群馬県社会福祉協議会民間社会福祉施設等職員共済事業の実施	128
(2) 福祉医療機構社会福祉施設職員等退職手当共済事業の実施	129
(3) 教員免許特例法による介護等体験事業の推進	129
4 福祉サービスの質の向上への取組強化	130
(1) 第三者評価機関並びに評価調査者の確保	130
(2) 第三者評価事業の受審促進	133
(3) 行政との連携・協力	136
(4) 運営適正化委員会への支援強化	136
VIII 組織基盤と財政・経営の強化	141
1 事務局体制の充実強化	141
(1) 法人運営の強化	141

(2) 災害時における危機管理体制の構築	146
(3) 社会福祉関係制度への対応強化	147
(4) 働きやすい職場環境の整備	147
(5) 職員の育成強化	147
(6) 人事管理の強化	148
(7) 調査研究・政策提言機能の強化	148
2 財政の健全化と経営の透明性の確保	148
(1) 基盤となる人件費・事業費の確保	148
(2) 多様な財源の確保と財源体質の改善	148
(3) 経営の透明性の確保	148
3 社協の広報機能の強化	149
(1) 県社協ホームページのリニューアルと機関紙の充実	149
4 関係団体との連携の強化	150
(1) 県社協会長表彰の実施と社会福祉大会等の開催	150
(2) 各種社会福祉団体の活動支援、連携強化	152
(3) 「福祉の保険」の周知及び事故防止への取組	170
5 社会福祉振興基金の運営	170
(1) 社会福祉振興基金助成事業の実施	170

○ 概要

平成30年度事業報告（概要）

重点事業の実施状況

I 地域福祉活動の促進支援

1 住民による地域福祉活動の活性化促進

- 地域包括ケアシステムの理解と促進のため、生活支援コーディネーター養成研修及び生活支援コーディネーターフォローアップ研修の実施、養成研修等企画会議の開催、協議体等の設置に向けアドバイザーの派遣を行った。
- 県ふれあい・いきいきサロン推進連絡会の開催及びふれあい・いきいきサロン活動調査を実施。研修会は5ブロック及び子育てサロン研修会を開催した。サロン運営には民生委員・児童委員、地域住民やボランティアが参画しており、県内には平成30年6月1日現在2,402カ所のサロンが設置・運営されている。
- 地域で高齢者や障害者等を見守る体制づくりについて考える見守り支援セミナーを開催した。
- 市町村社協会長、副会長、理事、監事、評議員の資質向上と地域における活動の充実を図るため、市町村社協トップセミナーを開催した。
- 社会福祉法人制度改革に伴う社協の経理及び地域公益活動の円滑な実施を支援するため、市町村社協を対象に研修会を開催した。
- 地域における新たな支え合いづくりを推進するために、コミュニティソーシャルワーク研修会を開催した。
- 市町村社協地域福祉活動計画の策定を支援するとともに、行政の地域福祉計画との一体的策定を推進した。

2 地域共生社会の実現に向けた連携事業の推進

- 地域共生社会の実現に向け、「地域における公益的な取組」を推進するため、群馬県ふくし総合相談支援事業の推進や市町村社協が実施する当該社会福祉法人との連絡会や研修会への支援を行った。
- 市町村社協が地域共生社会の実現に向けて取り組む「住民に身近な圏域」での地域住民の活動や場づくり、多機関との協働による取組等に対して助成事業を実施した。

3 ボランティア・市民活動の推進、福祉教育の充実

- 本県における、ボランティア・市民活動の推進のため、ぐんまボランティア・市民活動支援センター運営委員会を開催した。
- 大学・短大・専門学校のボランティア担当教職員によるネットワークと、学生ボランティア活動の活性化を支援するため、大学・短大・専門学校のボランティア担当教職員連絡会議を開催した。
- 県内ボランティア活動者等に向けて、ぐんまボランティアフォーラムを開催し、ボランティア活動の推進を図った。
- ボランティア活動推進の人材育成として、ボランティアコーディネーター研修会を開催した。

- 学童・生徒のボランティア活動普及事業として、次代の福祉社会を担う小・中・高校生に対する福祉教育の充実強化を目的に、地域指定福祉協力校モデル事業を3地域指定するとともに、小・中学校及び高等学校を対象に、平成25年度より社会福祉協力校活動助成事業(単年度学校指定モデル事業)として5校を指定した。
- 学校関係者や市町村社協の福祉教育に関わる人たちが福祉教育の実践について協議・情報交換を行いながら、地域で福祉教育を推進していくためのヒントやアイデアをお互いに得られるような場として福祉教育セミナーを開催した。

4 共同募金運動への協力とその推進

- 群馬県共同募金会の事業及び研修会に協力した。
- 使途選択募金（ドナーチョイス）実施に伴い委員として協力した。
- 社会福祉法第119条に基づく共同募金に対する意見書を提出した。
- 群馬県共同募金会と協力し歳末たすけあい運動を実施した。

5 預託者からの善意に基づく就学援助金等給付事業の充実

- 交通遺児に対し、高校入学支度金・高校学資・大学入学支度金として、23名に総額1,530,000円の給付を行った。また、児童養護施設等の入所児童又は里親に委託されている児童に対して、高校入学支度金、高校学資として173名に総額4,710,000円の給付を行った。

II 災害時における活動支援体制の構築

1 災害福祉支援ネットワークの構築

- 災害福祉支援ネットワーク構築へ向けた検討会を開催し、施設間相互応援協定の実用化を図るとともに災害派遣福祉チームの組成・運用に向けた協議を行った。
- 施設間連携部会（2回）を開催し、県と県社協と11種別協議会・福祉団体と締結した「災害時の相互応援に関する基本協定書」の運用に向けた図上訓練を実施した。
- 専門職支援部会を開催（1回）し、県と県社協と18福祉関係団体とで締結した「災害派遣福祉チームの派遣に関する基本協定書」に基づく、チーム員の養成研修及び登録研修を行った（新たに74名が登録し、合計210名がチーム員登録）。
- 都道府県における同時多発・広域災害での支援のあり方についての協議及び災害時の連携を考える全国フォーラムに参加した。

2 市町村災害ボランティアセンターの機能強化

- 災害時における職員の連絡体制や迅速な支援活動に繋げるため、市町村社協災害支援担当者連絡会議を開催するとともに、災害ボランティアセンター設置運営訓練に協力した。
- 災害を想定した日常訓練の一環として、防災関係機関との連携を図ることを目的に、群馬県総合防災訓練に参加し、災害ボランティアセンター立ち上げ訓練を実施した。

期　日　　平成30年9月1日（土）

会　場　　藤岡市烏川緑地

- 群馬県災害ボランティア積立金の適正な管理・運営を図るため、委員会を開催するとともに、助成を実施した。
- 災害支援・復興支援のための活動助成を実施した。
- 災害ボランティアセンターの円滑な設置・運営に資するため、災害ボランティアセンター運営ガイドラインを策定した。
- 災害時における市町村社協の事業継続と事業再開に向けた事業継続計画(BCP)の研修会を開催するとともに策定の支援を行った。
- 災害時における関係機関等との連携を視野に入れた災害支援セミナーⅠ・Ⅱを開催した。
- 災害時のネットワーク構築に向け、日本青年会議所関東地区群馬ブロック協議会と本会において、災害時の相互支援に関する協定を締結した。
- 平成30年7月豪雨災害の支援として、全国社会福祉協議会の要請により、関東ブロック都県指定都市社協災害時の相互支援に関する協定にもとづき、広島県内の災害ボランティアセンターに本会及び市町村社協職員を派遣した。

Ⅲ 生活困窮者等への相談支援体制の強化

1 生活困窮者自立相談支援事業における相談支援体制の強化

- 群馬県より群馬県生活困窮者自立相談支援事業を受託して、県内23町村における生活困窮者支援のため、支所社協8町社協とともに相談支援を行った（相談件数211件、自立相談支援事業申込件数45件、自立支援プランの作成21件）。
- 県内23町村において住居のない生活困窮者に対する一時生活支援事業として、一定期間宿泊場所や衣食の提供等を行った。
- 包括的な総合相談体制のため、町村社協や町村役場担当者等関係機関との情報共有に努めた。
- 県域における生活困窮者自立支援の連携を進めるため、県内の生活困窮者自立相談支援機関と情報交換会を開催した。
- 貧困の連鎖への対応として、群馬県子どもの居場所づくり人材養成研修を実施するとともに、県内でこども食堂を行っている団体の連携を図るため、平成30年7月15日、群馬県社会福祉総合センターにおいて、「こども食堂ネットワークぐんま」を設立し、情報交換を行った。

2 生活福祉資金貸付制度における相談・債権管理体制の充実

- 円滑な償還に向けて「訪問活動」を実施し、192日、2,043世帯を訪問した。
- 市町村社協と連携を深めるため、事務局長会議、研修会、連絡会議を実施した。
- 376件、112,058,000円の貸付決定を行い自立相談支援機関等と連携して支援を行った。

3 地域における民生委員・児童委員活動の一層の推進

- 単位民児協会長研修、1期目委員研修、中堅委員研修を通じて高齢者や児童への虐待対応や相談援助技術の向上を図るとともに、きめ細やかな見守りや相談支援活動の充実に努めた。

4 心配ごと相談事業の実施

- 心配ごと相談所中央センターを運営し、44件の相談と7回の市町村社協心配ごと相談所の巡回研修会を開催した。

5 自立支援に向けての貸付事業の実施（新たな貸付）

- ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業について、事業説明会や面接審査の実施及び貸付を行った（貸付件数 入学準備金：13件、就職準備金：0件）。
- 児童養護施設退所者等自立支援資金貸付事業について、事業説明会や面接審査の実施及び貸付を行った（貸付件数 生活支援費：1件、家賃支援費：1件、資格取得支援費：1件）。

IV 地域における生活支援体制の強化

1 権利擁護事業の強化

- 日常生活自立支援事業について、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭の管理を通して県民の地域生活支援に重要な役割を果たすことを目的として、基幹社協と連携を図り事業を実施した（平成30年度 契約件数196件、平成31年3月末実利用者数1,056名）。
- 日常生活自立支援事業を効果的かつ円滑に実施するために、生活支援員の研修及び専門員の資質向上のための研修を実施した。
- 県内における成年後見制度のニーズ、関係機関の取り組み状況及び現在の制度利用状況の把握をするため、県と共同で成年後見制度に関する実態把握調査を実施した。
- 成年後見制度利用促進計画の理解促進のため、市町村行政及び市町村社協対象の研修や地域別情報交換会等を開催した。
- 市町村社協の成年後見制度取組促進のための法人後見専門員養成研修会を開催した。
- 県民向け成年後見制度啓発普及セミナーを県内2会場で行った。

V 福祉人材の充実と定着支援の強化

1 福祉人材確保の安定化・定着化

- 福祉・介護人材の不足が一層深刻化する中、関係機関・団体等のネットワークの強化を図るため、群馬県福祉マンパワーセンター運営委員会を開催した。
- 福祉人材バンク連絡会議等を開催し、無料職業紹介に対する共通認識を深めながら、求人・求職者の登録・斡旋を行い、福祉・介護人材の確保に努め、その結果、応募や紹介により171名の就職者が決定した。
- 福祉・介護分野への就職希望者や福祉の仕事に関心のある方を対象に、福祉施設や事業所内を見学し、福祉・介護の仕事の理解を深めるために、「施設見学バスツアー」を開催した（出席者10名）。
- 福祉人材確保の効率化を図るため、C O O Lシステム（インターネット職業紹介システム）の運用を引き続き実施した。
- 平成29年4月1日から離職介護福祉士等の届出制度がスタートし、関係機関へ

の周知、広報紙やインターネットへの掲載等、広報を行い、平成31年3月末時点で、120名の届出があった。

- 「介護職員等確保対策事業」として、特別養護老人ホーム等における介護職員及び看護職員の確保を目的に、専門相談員による求人開拓業務を実施した。また、介護職員等PRサイト（ホームページ）の開設及び運営を行った。
- 福祉関係への就職を希望する学生や一般の方々に対して、福祉施設との就職面接会として、福祉ハートフルフェアを開催した。
参加事業所92法人221事業所、出席者101名 採用内定者14名
- 福祉・介護分野での質の高い人材を確保するため、「地区別ミニ就職面接会」を19回実施した。また、「施設見学会」を県内15法人で実施した。
- 求職登録者等で就職に結びつかない方や、介護職等の未経験者を対象に「福祉の就職ガイダンス」を6回開催し、円滑な就職活動の支援に努めた。
- 福祉・介護従事者が早期に離職してしまうことは、サービスの質の確保と向上という面で大きな損失となるため、求人事業所等を対象に、「福祉・介護人材定着支援セミナー」を開催した（出席者115名）。
- 介護サービスの質の向上を図るため、群馬県指定試験実施機関として「平成30年度介護支援専門員実務研修受講試験」を実施した。

期日 平成30年10月14日（日）

会場 群馬県立県民健康科学大学及び前橋医療福祉専門学校

出願者及び合格者等	出願者数	888名
	受験者数	770名
	合格者数	91名
	合 格 率	11.8%

- 福利厚生センター（ソウェルクラブぐんま）事業により、会員の余暇支援・会員交流事業を実施した。

加入状況（平成30年10月1日現在）

・契約法人	102法人（236事業所）
・加入職員数	4,392人

- 会員交流事業として、9事業開催し総勢1,313名の会員が参加した。

2 福祉職をめざす人への支援

- 介護福祉士修学資金等貸付事業は、介護福祉士修学資金貸付事業、実務者研修受講資金貸付事業、離職した介護人材の再就職準備金貸付事業を実施し、貸付決定をした。
介護福祉士修学資金については、養成施設在学者を対象に36名を貸付決定するとともに、平成31年度に介護福祉士養成施設に入学予定の者を対象に入学前の申請の受付を開始し、8名を貸付決定した。
- 保育士修学資金貸付事業として、平成31年度に保育士養成施設に入学予定の者を対象に募集し、31名を貸付決定した。

VI 研修事業の充実による人材育成

1 研修機能の強化

- 福祉施設等階層別研修を全社協中央福祉学院が開発した「福祉職員キャリアパス 対応生涯研修課程」へ段階的に移行するため、指導者養成研修会に派遣し、研修運営方法について検討を行った。
- 福祉従事者の養成研修を職種・階層別に企画実施した。
新任職員研修、中堅職員研修Ⅰ、中堅職員研修Ⅱ、チームリーダーキャリアアップ研修、施設長・管理者研修の5コースで1,001名を対象に実施した。
- 福祉施設等への人材の定着促進、職員の資質向上のため自主研修として、福祉施設キャリアパス管理者研修、福祉施設OJT担当者研修を151名に対して実施した。
- 介護支援専門員の確保及び資質向上のため、介護支援専門員実務研修は93名、介護支援専門員現任・更新（再研修含）研修は1,129名、主任介護支援専門員研修は134名、主任介護支援専門員更新研修は218名、介護支援専門員法定研修に係るファシリテータースキルアップ研修は59名を対象に実施した。
- 保育現場におけるリーダー的職員等の資質向上のため群馬県教育・保育のキャリアアップ研修を3,430名対象に実施した。
- 全体で13コース、6,215名、延べ184日間の研修を実施した。

VII 社会福祉法人への支援と福祉サービスの質の向上への取組

1 社会福祉法人・施設等への支援と連携強化

- 「群馬県ふくし総合相談支援事業」の発会式を7月24日に実施し、141法人の参画を得て（平成31年3月末）、社会福祉法人の地域における公益的な取組として、広域における事業を開始した。
事業の効果的かつ円滑な実施のための事業マニュアルの作成やなんでも福祉相談員研修会の実施及び身分証、のぼり、ステッカー等を作成した。
- 「社会福祉法人の地域公益活動推進セミナー」を開催し、社会福祉法人制度改革に伴う研修を実施した。
- 経営相談事業としては、社会福祉法人・施設等からの相談に対し、2名の経営指導員による個別的な指導・援助を行った。
相談件数は64件で、主な内容は、施設経営一般が15件、会計・税務が41件、職員待遇7件、施設整備1件であった。
- 県経営協と県経営青年会と協働し、研修会（勉強会）を開催し、社会福祉法人をめぐる課題に関する研修や次代の社会福祉法人・施設を担う若手役職員の育成を図った。
- 市町村域での社会福祉法人連携を進めるために市町村社協における法人連携に関する情報交換会の開催や各市町村社協に出向いて支援及び情報交換を行った。

2 障害者福祉施策への取組

- 障害福祉部会定例会の開催、広報紙の発行、部会と県との懇談会等を開催し、障害分野の情報交換や情報共有を図った。
- 障害者の就労・自立支援のため、障害者施設等共同受注窓口の運営支援を行った。

3 社会福祉法人・社会福祉施設への支援

- 民間社会福祉施設等職員の福利厚生に資するため、群馬県社会福祉協議会民間社会福祉施設等職員共済事業等を実施した。
加入状況は、453法人・1,148施設・18,461名。
退職手当の支払件数は1,510件、114,369,864円
福利厚生給付金の支払い件数は19,299件、164,667,507円
- 教員免許特例法による介護等体験事業の推進として、社会福祉施設等への受入調整事業を行った。
施設数 251施設、体験者数 580名

4 福祉サービスの質の向上への取組強化

- 福祉サービス第三者評価の推進組織として、運営委員会を中心に受審促進へ向けた働きかけを行い、県内81施設の評価結果を公表した。
また、評価基準の見直し・策定を行うとともに、自己評価研修会等の開催により、事業所の評価受審に対する啓発・普及の強化に努めた。
- 福祉サービスを利用される方の苦情を解決するために、県段階の苦情相談機関である福祉サービス運営適正化委員会へ申し出のあった苦情解決相談62件について苦情解決部会を隔月で開催し、「相談・助言」、「紹介伝達」等を行った。
また、県社協ホームページ上で「苦情解決体制整備マニュアル」を継続して掲載した。併せて、運営適正化委員会における苦情処理結果も公表し、広報・啓発に努めた。
- 事業者段階における苦情解決の仕組み、第三者委員の役割の周知と理解を深めるため、福祉サービス提供事業所を対象としたセミナーを開催した（出席者271名）。

VIII 組織基盤と財政・経営の強化

1 事務局体制の充実強化

- 理事会、評議員会、正副会長会議、監事会を開催し、法人の適切な運営に努めた。
- 第2期県社協活動推進計画の中間見直しのため、策定委員会を開催し、計画の見直しを行った。
- 職員初動マニュアルの見直しにあたり、各課防災担当者により協議を行った。
- 地域福祉推進機関の職員として、必要な能力の養成を図るため積極的に研修に参加するとともに、県社協職員研修要綱により、職階ごとの職員研修を実施して、資質の向上に努めた。

2 財政の健全化と経営の透明性の確保

- 円滑な事業推進のため新たに事務局職員を採用した。
- 書籍斡旋やホームページ、広報紙等手数料、広告料により自主財源確保に努めた。
- 会計専門家（税理士）による執行状況の検査・点検（4半期ごとの経理状況のチェック）を行い、計算書類の適正性の確保に努めた。

3 社協の広報機能の強化

- 機関紙「福祉ぐんま」ならびに県社協ホームページをリニューアルし、積極的な情報発信に努めた。
- 毎月1回、上毛新聞社との情報交換会を実施し、当該月の県社協事業(イベント)及び、社会福祉関係情報を提供し、報道機関の協力により県民への社会福祉の最新情報の提供に努めた。

4 関係団体との連携の強化

- 群馬県社会福祉大会を、関係団体の協力により、平成30年11月21日に昌賢学園まえばしホールで開催し、福祉に功績のあった方々の表彰等を行った。
- 平成31年度群馬県社会福祉関係予算要望項目をとりまとめ要望活動を行った。
- 福祉バス「愛の募金号」を運行し、障害者や高齢者等の社会参加を促進した(年間利用者数4,472名)。
- 民生委員児童委員協議会等の運営支援や各種事業への協力・連携に努めた。

5 社会福祉振興基金の運営

- 県内の民間社会福祉事業に対し、社会福祉振興基金の運用益により助成事業を実施した(28団体 32事業、4,409,780円)。

○ 事 業 報 告

I 地域福祉活動の促進支援

1 住民による地域福祉活動の活性化促進

(1) 地域包括ケアシステムの理解と推進

市町村等からの協議体の設置やコーディネーターの選定等に関する相談応需、コーディネーター養成研修の実施、協議体・コーディネーターの活動開始後の相談応需等を実施することにより、市町村の生活支援体制整備を支援した。

ア 生活支援コーディネーター養成研修

(ア) 生活支援コーディネーター養成研修企画等会議

〔第1回〕

期 日 平成30年4月23日（月）
会 場 群馬県社会福祉総合センター 特別会議室
出席者 15名
内 容
・情報交換
・生活支援コーディネーター養成研修について
・生活支援コーディネーターフォローアップ研修について
・その他の研修について

〔第2回〕

期 日 平成30年5月23日（水）
会 場 群馬県社会福祉総合センター 特別会議室
出席者 11名
内 容
・生活支援コーディネーターフォローアップ研修について
・生活支援コーディネーター養成研修について
・情報交換

〔第3回〕

期 日 平成30年7月17日（火）
会 場 群馬県社会福祉総合センター 特別会議室
出席者 14名
内 容
・生活支援コーディネーターフォローアップ研修について
・生活支援コーディネーター養成研修について
・生活支援コーディネーターと企業との情報交換会について

〔第4回〕

期 日 平成30年8月31日（金）
会 場 群馬県社会福祉総合センター 特別会議室
出席者 14名
内 容
・生活支援コーディネーターフォローアップ研修（振り返り）について
・生活支援コーディネーター養成研修について

〔第5回〕

期 日 平成31年1月29日（火）
会 場 群馬県社会福祉総合センター 特別会議室
出席者 12名
内 容
・生活支援コーディネーター養成研修について（振り返り）

- ・企業と生活支援コーディネーター等との情報交換会の報告について
- ・情報交換

[第6回]

期 日 平成31年3月8日（金）
会 場 群馬県社会福祉総合センター 特別会議室
出席者 12名
内 容

- ・平成31年度生活支援体制整備支援事業について
- ・情報交換

(イ) 生活支援コーディネーター養成研修

2日間受講した生活支援コーディネーター64名に修了証を交付した。

[第1日目]

期 日 平成30年11月8日（木）
会 場 群馬県勤労福祉センター 第1・第2会議室
出席者 66名
内 容

- ・行政説明「生活支援コーディネーター及び協議体とは～その目的、仕組み及び養成について～」
講師 群馬県地域包括ケア推進室 主事 原田 尚史 氏
- ・講義「生活支援コーディネーターと協議体に期待される機能と役割」
講師 認定NPO法人じやんけんぽん 理事長 井上 謙一 氏
- ・パネルディスカッション
「住民主体の活動をすすめるためには」

[第2日目]

期 日 平成30年11月9日（金）
会 場 群馬県勤労福祉センター 第1・第2会議室
出席者 64名
内 容

- ・講義・演習「地域ニーズと社会資源の把握の手法について」
- ・講義・演習「生活支援コーディネーターが行うべきアセスメントと担い手等への支援」
- ・講義「不足するサービスの創出の方法について」
講師 群馬県社会福祉協議会 参事兼地域福祉課長 中越 信一

イ 生活支援コーディネーターフォローアップ研修

期 日 平成30年7月27日（金）
会 場 群馬県市町村会館 大研修室
出席者 104名
内 容

- ・行政説明「県内における生活支援体制整備事業に関する取組状況について」
講師 群馬県地域包括ケア推進室 主事 原田 尚史 氏
- ・情報交換

ウ 生活支援体制整備に関する相談窓口の設置および中央研修参加者の派遣

市町村からの協議体の編成やコーディネーターの選定に関する相談応需及び市町村実施の生活支援体制整備に係る研修会へ中央研修参加者を派遣した。

(ア) 研修派遣件数 44件（16市町村）

(2) 小地域における地域福祉活動の推進

ア ふれあい・いきいきサロン研修会の開催

(ア) 中部ブロック

期 日 平成30年9月28日（金）

会 場 前橋市総合福祉会館 多目的ホール

出席者 271名

内 容

- ・講演、シンポジウム

講演講師

Nukiito 代表 高山 弘毅 氏

- ・実践事例発表者

荒子町いきいきサロン 高坂 美智子 氏（前橋市）

月曜サロン 岸 郁代 氏（吉岡町）

- ・コーディネーター

群馬県社会福祉協議会 参事兼地域福祉課長 中越 信一

(イ) 西部ブロック

期 日 平成30年10月16日（火）

会 場 高崎市文化会館 大ホール

出席者 534名

内 容

- ・事例発表、レクリエーション研修

実践事例発表者

ふれあいサロン弾・談・暖 田中 英行 氏（高崎市）

いきいきサロン21 高橋 妙子 氏（安中市）

岡田 妙子 氏（安中市）

コーディネーター

群馬県社会福祉協議会 参事兼地域福祉課長 中越 信一

- ・レクリエーション研修

東京都レクリエーション・コーディネーター協会 会長 飯田 弘 氏

(ウ) 東部ブロック

期 日 平成30年10月2日（火）

会 場 大泉町文化むら 大ホール

出席者 412名

内 容

- ・事例発表、レクリエーション研修

実践事例発表者

元気はつらつ一大間々 大島 美津江 氏（みどり市）

山田 あづみ 氏（みどり市）

コーディネーター

群馬県社会福祉協議会 参事兼地域福祉課長 中越 信一

レクリエーション研修

高崎健康福祉大学健康福祉学部社会福祉学科 助教 堀口 美奈子 氏

(エ) 利根沼田ブロック

期 日 平成30年6月13日（水）

会 場 利根沼田文化会館

出席者 236名

内 容

・事例発表、レクリエーション研修

実践事例発表者

えんがわサロン 谷田 恵美子 氏（太田市）

ポケットクラブ 角田 郁子 氏（沼田市）

コーディネーター

群馬県社会福祉協議会 参事兼地域福祉課長 中越 信一

レクリエーション研修

東京都レクリエーション協会 公認講師 湯川 恵子 氏

(オ) 吾妻ブロック

期 日 平成30年10月5日（金）

会 場 東吾妻町コンベンションホール

出席者 163名

内 容

・勉強会、レクリエーション研修

勉強会「地域のつながり ささえあいとサロン活動」

群馬県社会福祉協議会 参事兼地域福祉課長 中越 信一

レクリエーション研修

高崎健康福祉大学 人間発達学部 教授 岡本 拓子 氏

(カ) 子育てサロン研修会

期 日 平成30年7月25日（水）

会 場 群馬県社会福祉総合センター 大ホール

出席者 185名

内 容

・事例発表、レクリエーション研修

実践事例発表者

太田おもちゃ図書館 Heartful Tree 川田 正美 氏（太田市）

西部地区 わいわいくらぶ

森田 紹代 氏（沼田市）

尾瀬じどうかん 子育てサロン

萩原 均 氏（片品村）

コーディネーター

高崎健康福祉大学 人間発達学部 教授 岡本 拓子 氏

レクリエーション研修

高崎健康福祉大学 人間発達学部 教授 岡本 拓子 氏

イ 群馬県ふれあい・いきいきサロン推進連絡会議の開催

ふれあい・いきいきサロンの活動を県内各地に広げるとともに、会員の資質向上を図ることを目的に開催

連絡会の開催状況

[第1回]

期 日 平成30年4月19日（木）

会 場 群馬県社会福祉総合センター 701会議室

出席者 34名

内 容

・サロン調査内容協議、研修会企画、情報交換等

[第2回]

期 日 平成30年12月19日（水）

会 場 群馬県社会福祉総合センター 701会議室

出席者 32名

内 容

- ・サロン調査結果報告、サロン助成金調査結果報告、研修会企画、情報交換等
- ウ ふれあい・いきいきサロン活動調査の実施（平成30年6月1日現在）
 - ふれあい・いきいきサロンの活動を把握するため調査を実施した。
 - ふれあい・いきいきサロン設置状況 （※直近3カ年）

年度	高齢者	障害者	子育て	その他	合計
30	2,037	25	276	64	2,402
29	1,980	25	239	49	2,293
28	1,897	24	279	31	2,231

エ 見守り支援セミナーの開催

日常生活支援からより緊急性の高い困難なケースまで、その緊急度に応じて地域住民、商店街、企業等と関係専門スタッフとの協働により、各地区ごとに地域の課題を解決するためのネットワークづくりを進める事業として実施した。

期 日 平成31年2月7日（木）

会 場 群馬県社会福祉総合センター 大ホール

出席者 301名

内 容

- ・講演「孤立・孤独にさせない地域をつくる」

講師 武蔵野大学 人間科学部社会福祉学科

教授 渡辺 裕一 氏

- ・パネルディスカッション「地域における多様な見守り活動」

コーディネーター

武蔵野大学 人間科学部社会福祉学科

教授 渡辺 裕一 氏

パネリスト 富山県氷見市社会福祉協議会

主幹・コミュニティソーシャルワーカー

山田 哲也 氏

パネリスト 社会福祉法人三友会

伊勢崎市地域包括支援センター宮郷

所長 柴崎 武紀 氏

パネリスト NPO法人 i i t o k o

代表 浅香 千恵 氏

（3）地域福祉活動推進のための人材育成

地域福祉の中核的な役割を果たす市町村社協の役職員に対し、資質向上と地域における活動の充実を図るため研修会を実施した。

ア 市町村社協トップセミナー

期 日 平成31年2月13日（水）

会 場 群馬県社会福祉総合センター 大ホール

出席者 159名

内 容

- ・行政説明「地域福祉施策の動向について」
　　講師 群馬県健康福祉課地域福祉推進室 室長 上原 美奈子 氏
 - ・基調説明「今後の地域福祉の方向性について」
　　講師 群馬県社会福祉協議会 常務理事 山後 秀明
 - ・講演「地域共生社会の実現に向けた社協経営のあり方」
　　講師 同志社大学 社会学部社会福祉学科 教授 上野谷 加代子 氏
- イ 市町村社協常務理事・事務局長会議
- 期 日 平成30年4月27日（金）
- 会 場 群馬県社会福祉総合センター B01会議室
- 出席者 54名
- 内 容
- ・平成30年度県社協事業計画の概要について
 - ・県社協各課からの事業説明等
 - ・地域共生社会に向けた取組について
- ウ 平成30年度市町村社協 地域福祉・ボランティア・福祉教育担当者合同会議
- 期 日 平成30年5月10日（木）
- 会 場 群馬県市町村会館 501研修室
- 出席者 35名
- 内 容
- ・地域福祉を取り巻く状況について
 - ・県社協の事業計画について
 - ・情報交換「市町村社協における地域福祉・ボランティア・福祉教育関係事業の現状と課題共有について」
- エ 市町村社協新任事務局長研修会
- 期 日 平成30年7月6日（金）
- 会 場 群馬県社会福祉総合センター 501会議室
- 出席者 19名
- 内 容
- ・説明「地域福祉の動向と社会福祉協議会の役割について」
　　講師 群馬県社会福祉協議会 常務理事 山後 秀明 氏
 - ・講義①「市町村社協事務局長の出納業務に関するチェックポイントについて」
　　講師 全国社会福祉協議会 総務部経理室 部長 中山 広二 氏
 - ・講義②「市町村社協における職員の労務管理およびハラスメント対策について」
　　講師 関一之労務管理事務所 所長 関 一之 氏
- オ 市町村社協経理担当者研修会
- 期 日 平成30年8月22日（水）
- 会 場 群馬県市町村会館 501研修室
- 出席者 71名
- 内 容
- ・講義①「『指導監査ガイドライン』一部改正のチェックポイント」
　　講師 税理士 根本 明人 氏
 - ・講義②「社会福祉協議会の会計と税務～経理の留意点の再確認～」
　　講師 税理士 根本 明人 氏
 - ・情報交換会・個別質問

- カ コミュニティソーシャルワーク研修会
- a 期 日 平成30年9月18日（火）
会 場 群馬県市町村会館 大研修室
出席者 47名
内 容
 - ・講義「地域共生社会の構築に向けた新たな支え合い活動の仕組みづくりを考える」
 - ・演習「コミュニケーションの視点による個別アセスメント」
 - ・演習「コミュニケーションの視点による地域アセスメント①」
　　講師 静岡大学 特任教授
　　日本地域福祉研究所 主任研究員 青山 登志夫 氏
- b 期 日 平成30年9月19日（水）
会 場 群馬県市町村会館 大研修室
出席者 47名
内 容
 - ・演習「コミュニケーションの視点による地域アセスメント②」
 - ・演習「コミュニケーション実践のプランニング」
 - ・講義「新たな相談支援事業とコミュニケーションの構築」
　　講師 静岡大学 特任教授
　　日本地域福祉研究所 主任研究員 青山 登志夫 氏
- キ 市町村社協における社会福祉法人連絡会の設置・運営に向けた情報交換会
- a 期 日 平成30年6月21日（木）
会 場 群馬県市町村会館 501研修室
出席者 32名
内 容
 - ・県内の社会福祉法人連絡会の設置・運営状況について
 - ・群馬県ふくし総合相談支援事業の進捗状況について
 - ・情報交換
- b 期 日 平成30年12月10日（月）
会 場 群馬県社会福祉総合センター 203会議室
出席者 33名
内 容
 - ・県内の社会福祉法人連絡会の設置・運営状況について
 - ・群馬県ふくし総合相談支援事業の進捗状況について
 - ・法人連携の事例紹介
- ク ステップアップ研修会（群馬県内社協職員連絡協議会との共催）
- 期 日 平成30年6月26日（火）
会 場 群馬県公社総合ビル 第2会議室
出席者 27名
内 容
 - ・講義「目指すべき社協職員像とは」
　　講師 大泉町社会福祉協議会 事務局長 細田 順一 氏
- ケ パワーアップ研修会（群馬県内社協職員連絡協議会との共催）
- 期 日 平成30年12月25日（火）
会 場 群馬県社会福祉総合センター 701会議室
出席者 24名

内 容

- ・講義・演習「相談援助技術研修～社協職員に求められる相談援助の視点と技法～」

講師 駒澤大学 文学部社会学科社会福祉学専攻

教授 荒井 浩道 氏

コ 地域福祉活動研修会（群馬県内社協職員連絡協議会との共催）

期 日 平成31年3月1日（金）

会 場 群馬県社会福祉総合センター B01会議室

出席者 22名

内 容

- ・講義「支え合いの地域づくりの取り組み～震災を契機に新たな展開へ～」

講師 宮城県美里町社会福祉協議会 地域福祉課長 浅野 恵美 氏

- ・情報交換

サ 市町村社協会長セミナー（群馬県市町村社会福祉会長会との共催）

期 日 平成30年9月26日（水）～27日（木）

会 場 伊香保温泉 森秋旅館

出席者 38名

内 容

- ・基調説明「地域共生社会の実現と社協の組織基盤の強化について」

報告者 全国社会福祉協議会 地域福祉部 副部長 平井 康元 氏

- ・情報交換

シ 第55回関東ブロック郡市区町村社協職員合同研究協議会

期 日 平成30年7月12日（木）～13日（金）

会 場 甲府富士屋ホテル

出席者 20名（群馬県からの出席者）

内 容

- ・基調講演、分科会、記念講演

（4）市町村地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定支援

市町村社協地域福祉活動計画策定を支援するとともに、行政の地域福祉計画と地域福祉活動計画の一体的策定を推進した。

ア 地域福祉計画・地域福祉活動計画策定研修会（県との共催）

期 日 平成30年7月23日（月）

会 場 群馬県社会福祉総合センター 203会議室

出席者 68名

内 容

- ・講義・演習「地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定と住民参加の手法」

- ・講義・演習「地域福祉計画・地域福祉活動計画の評価と進行管理」

講師 武庫川女子大学 文学部 心理・社会福祉学科

教授 松端 克文 氏

イ 計画策定に伴う市町村及び市町村社協支援

（ア）みどり市・みどり市社会福祉協議会

期 日 平成30年9月25日（火）

会 場 みどり市役所

内 容

- ・第3期みどり市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定第1回地区別座談会実施に向けての勉強会

講義「座談会の進め方について」

講師 群馬県社会福祉協議会 参事兼地域福祉課長 中越 信一

(イ) 下仁田町社会福祉協議会

a 期 日 平成30年11月2日(金)

会 場 下仁田町公民館

内 容

- ・下仁田町地域福祉活動計画策定委員会及び説明会

講義「地域福祉活動計画について」

講師 群馬県社会福祉協議会 主幹 山田 真喜子

b 期 日 平成30年11月20日(火)

会 場 下仁田町社会福祉協議会

内 容

- ・下仁田町地域福祉活動計画打ち合わせ会議

(ウ) 長野原町・長野原町社会福祉協議会

a 期 日 平成30年8月2日(木)

会 場 長野原町老人福祉センター

内 容

- ・長野原町社会福祉協議会イノベーション専門委員会事前打ち合わせ会議

b 期 日 平成30年8月9日(木)

会 場 長野原町老人福祉センター

内 容

- ・長野原町社会福祉協議会イノベーション専門委員会

演習「地域福祉計画・地域福祉活動計画策定に向けたワークショップ」

講師 群馬県社会福祉協議会 主幹 山田 真喜子

(エ) 川場村・川場村社会福祉協議会

a 期 日 平成30年6月1日(金)

会 場 川場村役場

内 容

- ・川場村地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会及び説明会

講義「地域福祉計画及び地域福祉活動計画について」

講師 群馬県社会福祉協議会 参事兼地域福祉課長 中越 信一

b 期 日 平成31年3月28日(木)

会 場 川場村役場

内 容

- ・第4回川場村地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会

(5) 市町村社協地域福祉推進に向けた支援

社会福祉協議会が今後取組むべき課題、内容を踏まえ、地域福祉の中核的な役割を果たせるよう地域福祉推進に向けた支援を行った。

講師は、群馬県社会福祉協議会参事兼地域福祉課長中越信一、地域福祉課主幹山田真喜子及び地域福祉課主幹大山誠。

ア 川場村社会福祉協議会生活支援サービス担い手研修会

期 日 平成30年6月28日(木)

会 場 川場村文化会館

出席者 41名

内 容

- ・講義「介護保険制度と生活支援サービス担い手の役割」
 - ・講義「ボランティア活動への心がまえ」
 - ・講義「個人情報の取り扱いについて」
- イ 藤岡市社会福祉協議会支部長情報交換会
 期 日 平成30年8月23日（木）
 会 場 藤岡市総合学習センター
 出席者 13名
 内 容
 - ・講義「支部社協の機能について」
 - ・講義「生活支援体制整備事業の概要について」
- ウ 桐生市社会福祉協議会福祉のまちづくりセミナー
 期 日 平成30年10月29日（月）
 会 場 桐生市総合福祉センター
 出席者 82名
 内 容
 - ・講義「地域福祉の今と、必要なこと」
- エ 館林市社会福祉協議会館林支部・館林地区区長会研修会
 期 日 平成30年11月13日（火）
 会 場 城沼公民館
 出席者 92名
 内 容
 - ・講義「小地域ネットワークと地区役員の役割」
- オ 甘楽郡社会福祉協議会連絡協議会役職員合同会議・研修会
 期 日 平成31年1月31日（木）
 会 場 南牧村活性化センター
 出席者 10名
 内 容
 - ・講義「地域共生社会の実現に向けた地域づくりについて」

2 地域共生社会の実現に向けた連携事業の推進

（1）市町村における地域共生社会の実現に向けた取組支援

地域共生社会の実現に向けては、社会福祉法人の連携による「地域における公益的な取組」の実施が求められてくることから、県域全体で行う社会福祉法人としての地域貢献事業「群馬県ふくし総合相談支援事業」の運営や、市町村域での社会福祉法人連絡会の設置・運営に向けた支援を行った。

ア 群馬県ふくし総合相談支援事業の推進

123ページの「群馬県ふくし総合相談支援事業」の実施を参照

イ 市町村の社会福祉法人連絡会の設置・運営支援

（ア）市町村社協管内における社会福祉法人連絡会の設置運営に向けた情報交換会

a 期 日 平成30年6月21日（木）
 会 場 群馬県市町村会館501研修室
 内 容

・県内の社会福祉法人連絡会の設置・運営状況について

b 期 日 平成30年12月10日（月）

会 場 群馬県社会福祉総合センター 203会議室

内 容

- ・県内の社会福祉法人連絡会の設置・運営状況について
- ・群馬県ふくし総合相談支援事業の進捗状況について
- ・法人連携の事例紹介

(イ) 館林市社会福祉法人連絡会 設立総会

期 日 平成30年4月26日(木)

会 場 館林市社会福祉総合センター

内 容

- ・市町村社会福祉法人連絡会及び群馬県ふくし総合相談支援事業の説明

(ウ) 中之条町社会福祉法人連絡会 設立総会

期 日 平成30年7月12日(木)

会 場 中之条町役場

内 容

- ・市町村社会福祉法人連絡会及び群馬県ふくし総合相談支援事業の説明

(エ) 川場村社会福祉法人連絡会 設立総会

期 日 平成30年8月28日(火)

会 場 特別養護老人ホーム川場春光園

内 容

- ・市町村社会福祉法人連絡会及び群馬県ふくし総合相談支援事業の説明

(オ) 渋川市社会福祉法人連絡会全体会及び勉強会

期 日 平成30年12月17日(月)

会 場 渋川市社会福祉センター

内 容

- ・事業報告、会則変更にかかる協議、勉強会

(カ) 東吾妻町社会福祉法人連絡会 設立準備会

期 日 平成31年1月23日(水)

会 場 東吾妻町社会福祉協議会

内 容

- ・市町村社会福祉法人連絡会及び群馬県ふくし総合相談支援事業の説明

(キ) 中之条町社会福祉法人連絡会 研修会

期 日 平成31年2月14日(木)

会 場 中之条町役場

内 容

- ・市町村社会福祉法人連絡会及び群馬県ふくし総合相談支援事業の説明

(ク) 富岡市社会福祉法人・福祉施設による連絡会議(第1回)

期 日 平成31年2月21日(木)

会 場 あい愛プラザ

内 容

- ・市町村社会福祉法人連絡会及び群馬県ふくし総合相談支援事業の説明

(ケ) 藤岡市社会福祉法人連絡会 研修会

期 日 平成31年3月22日(金)

会 場 藤岡市総合学習センター

内 容

- ・市町村社会福祉法人連絡会及び群馬県ふくし総合相談支援事業の説明

(2) 地域共生社会推進事業助成金の実施

市町村社会福祉協議会が地域共生社会の実現に向けて取り組む「住民に身近な圏域」での地域住民の活動や場づくり、多機関の協働による取組等に対して助成事業を実施した。

- a 指定社会福祉協議会（単年度）への助成

藤岡市社会福祉協議会
榛東村社会福祉協議会
上野村社会福祉協議会
下仁田町社会福祉協議会
中之条町社会福祉協議会

3 ボランティア・市民活動の推進、福祉教育の充実

(1) ぐんまボランティア・市民活動支援センターの機能強化

ア ぐんまボランティア・市民活動支援センター運営委員会の開催

センターの適正な運営を図るため、ボランティア・市民活動団体及び識見を有する者等の関係者をもって運営委員会を設置して、意見・助言を聴取している。

(ア) 委員名簿 任期 平成29年4月1日～平成31年3月31日

氏名	所属	区分
菊地 高士	群馬県県民生活課	行政機関
橋本 雄一	群馬県健康福祉課	行政機関
五十嵐 亮二	群馬県経営者協会	企業関係
磯田 孝友	連合群馬	労働組合
北爪 克洋	東京福祉大学	学識経験者
小暮ゆみ子	群馬NPO協議会	市民活動団体
櫻井 和久	群馬県障害者情報化支援センター	当事者団体
針谷 勉	生活協同組合 コープぐんま	広域ボランティア団体
石川 俊樹	伊勢崎市社会福祉協議会	社会福祉協議会
十河 錦二	群馬県ボランティア連絡協議会	県内ボランティア団体
高桑 和彦	上毛新聞社	報道機関
中島 穂	群馬県知的障害者福祉協会	受入施設
堀井 雅明	邑楽町社会福祉協議会	社会福祉協議会
松本 賢	日本赤十字社 群馬県支部	広域ボランティア団体
樺澤 洋	群馬県住民参加型在宅福祉サービス団体連絡会	市民活動団体

委員定数=15名以内

(イ) 運営委員会

センターの適正な運営を図るため、ボランティア・市民活動団体及び識見を有する者等の関係者をもって運営委員会を設置して、意見・助言を聴取した。

[第1回]

期日 平成30年7月30日(月)
会場 群馬県社会福祉総合センター 特別会議室
出席者 16名
内容

- ・副委員長の選出について
- ・平成30年度活動計画について
- ・ぐんまボランティア・市民活動支援センターの取組について

・その他

[第2回]

期日 平成31年3月4日(月)

会場 群馬県社会福祉総合センター 特別会議室

出席者 13名

内容

- ・平成30年度事業報告について
- ・平成31年度事業実施に向けて
- ・その他

イ ボランティア活動普及・啓発事業の実施(ボランティアフォーラムの開催)

(ア) 平成30年度ぐんまボランティアフォーラムの開催

ボランティア・市民活動を地域で牽引していく団体や個人の方々に、組織づくりや活動の将来展望に対する認識を深めることを目的にフォーラムを開催した。

期日 平成31年2月24日(日)

会場 群馬県社会福祉総合センター 大ホール他

出席者 108名

内容

- ・基調講演

「ボランティア活動の視点から子どもの居場所を考える」

講師 新潟県立大学 人間生活学部 子ども学科

教授 小池 由佳 氏

- ・第1分科会「ボランティア活動の視点から子どもの居場所を考える」

事例報告者 わいわいくらぶ 代表 森田 経代 氏

荒川区社会福祉協議会ボランティアコーディネーター

鈴木 訪子 氏

コーディネーター 新潟県立大学 人間生活学部 子ども学科

教授 小池 由佳 氏

- ・第2分科会「地域子育て支援や子どもの居場所で使えるレクリエーション」

講師 群馬県レクリエーション協会 指導委員 西富 美代子 氏

ウ 大学等のボランティアセンターとの連携強化

(ア) 大学・短期大学・専門学校ボランティア担当教職員等連絡会議

期日 平成31年2月4日(月)

会場 群馬県社会福祉総合センター 701会議室

出席者 18名

内容

- ・講義・話題提供

「大学ボランティアセンターの役割と他機関連携について

～聖学院大学ボランティアセンターの事例から～」

講師 聖学院大学ボランティア活動支援センター

アドバイザー 川田 虎男 氏

コーディネーター 芦澤 弘子 氏

エ 企業の社会貢献活動の推進

(ア) 「いいいろ塗装の日」

一般社団法人日本塗装工業会群馬県支部の塗装ボランティア活動支援

対象施設 社会福祉法人 春日園

実施日 平成30年11月16日（金）

(イ) 塗装ボランティア活動支援

一般社団法人群馬県塗装工業会の塗装ボランティア活動支援

対象施設 社会福祉法人 はるな郷 さわら荘

実施日 平成30年10月29日（月）

(ウ) 企業等の社会貢献セミナーの開催

企業がもつ多様な資源が社会から求められていることを認識した上で、さらに力を発揮していただくために、どのような連携が効果的なのか、これからへの社会貢献のあり方を模索することを目的にセミナーを開催。

期日 平成31年3月18日（月）

会場 群馬県社会福祉総合センター B01研修室

出席者 24名

内容

- ・テーマ「中間支援組織等における社会貢献の取り組みについて」
- ・事例報告者

日本青年会議所 関東地区群馬ブロック協議会 会長 大平 覚 氏
生活協同組合コープぐんま 常務理事 杉本 真佐己 氏

群馬県共同募金会 係長 星野 久子 氏

群馬県社会福祉協議会 主幹 大山 誠

- ・コーディネーター

群馬県社会福祉協議会 地域福祉課 参事兼課長 中越 信一

(2) 市町村社協ボランティアセンターの活動支援

ア 平成30年度市町村社協 地域福祉・ボランティア・福祉教育等担当者会議

期日 平成30年5月10日（木）

会場 群馬県市町村会館 501研修室

出席者 35名

内容

- ・地域福祉を取り巻く状況について
- ・県社協の事業計画について
- ・情報交換「市町村社協における地域福祉・ボランティア・福祉教育関係事業の現状と課題共有について」

(3) ボランティア活動推進のための人材育成

ア ボランティアコーディネーター研修会の開催

(ア) 市町村社協ボランティアコーディネーター研修会の開催

ボランティアや福祉教育、地域福祉関係担当者のボランティアコーディネート力強化の一助とすべく開催した。なお、市町村社協と中間支援センター職員合同による内容で実施することで、双方のネットワーク強化にも寄与した。

a 平成30年度ボランティアコーディネーター研修会 I

期日 平成30年8月7日(火)

会場 群馬県市町村会館 502研修室

出席者 14名

内容

- ・講義、演習

「新たな仲間、組織を巻き込む活力あふれる組織づくり」

～コミュニティキャピタルの愛着と関係性を高める3つのコツと実務～
講師N P O 法人C R ファクトリー

代表理事 呉 哲煥 氏

b 平成30年度ボランティアコーディネーター研修会Ⅱ

期 日 平成30年8月21日(火)

会 場 群馬県社会福祉総合センター 701会議室

出席者 22名

内 容

・講義、演習

「あなたの発信は伝わっていますが？

コーディネーターに必要なコミュニケーションとチラシ作成について」

講師 合同会社 MACARON 代表 谷 浩明 氏

c 平成30年度ボランティアコーディネーター研修会Ⅲ

期 日 平成30年9月11日(火)

会 場 群馬県市町村会館 502研修室

出席者 13名

内 容

・講義、演習

「社協/地域の中間支援にとって必要なファンドレイジングと

ファンドレイジングに取り組む前に抑えておくポイント」

講師 一般社団法人 日本地域福祉ファンドレイジングネットワーク
COMMNET 久津摩 和弘 氏

d 平成30年度ボランティアコーディネーター研修会Ⅳ

期 日 平成30年10月12日(金)

会 場 群馬県社会福祉総合センター 701会議室

出席者 13名

内 容

・講義、演習

「コーディネーターが実践する前に身につける「立ち位置」と「行動指針」」

講師 地域連携ステーション フミコム

コミュニティマイスター 田邊 健史 氏

e 平成30年度ボランティアコーディネーター視察研修会

期 日 平成31年1月28日(月)

会 場 渋川市社会福祉協議会ボランティアセンター こもれび
前橋市市民活動支援センター Mサポ

出席者 11名(渋川市)、9名(前橋市)

内 容

・視察研修の実施

(イ) 『地域で活躍するために ボランティア活動のすすめ』 3, 500部作成
イ 春・秋季 関東ブロック都県・指定都市社協 組織・ボランティア会議への参加

(ア) 春季関東ブロック都県・指定都市社協 組織・ボランティア担当業務部・課長会議

期 日 平成30年6月15日(金)

会 場 相模原市

出席者 職員1名

(イ) 秋季関東ブロック都県・指定都市社協 組織・ボランティア業務担当者研究協議会

期 日 平成30年11月21日(水)～22日(木)
会 場 相模原市役所緑区合同庁舎、サン・エールさがみはら
出席者 職員1名

ウ 全国・関東ブロック等ボランティア・福祉教育関係会議等への参加

(ア) 都道府県・指定都市社協部・課・所長会議

期 日 平成30年4月25日(水)～26日(木)
会 場 全国社会福祉協議会 瀬戸ホール他
出席者 職員3名

エ 総合的なボランティア・市民活動支援体制の推進

(ア) NPOボランティアサロンぐんま及び県内の市民活動支援センターとの連携強化のため、情報交換会に参加し事業の協働に向けた意見交換等を行った。

a 第23回市民活動支援センタースタッフ情報交換会

期 日 平成30年6月15日(金)
会 場 県庁昭和庁舎 35会議室

オ ホームページ等による情報発信及び体験学習機材、ボランティアルームの貸出

(ア) ぐんまボランティア・市民活動支援センターホームページの運営

a ボランティア関係情報のメールニュースの発信

b ボランティア募集広報事業の実施

各種ボランティアイベント等の情報提供を実施

(イ) 24時間テレビ、各種民間助成事業の周知協力

助成団体等による福祉施設やボランティア団体等への助成事業について、募集推薦事務や助成要綱の配布等制度の周知促進に協力した。

a 24時間テレビ「愛は地球を救う」

車両贈呈決定先

社会福祉法人 館舎会(福祉サポート車)

社会福祉法人 伊勢崎市社会福祉協議会(入浴専用車)

社会福祉法人 あい(リフト付きバス)

社会福祉法人 三国塩原会(リフト付きバス)

社会福祉法人 昭和村社会福祉協議会(スロープ付き自動車)

社会福祉法人 清栄会(スロープ付き自動車)

(ウ) ボランティア情報・相談コーナーの設置運営

利用時間 月～金曜日(9:00～17:00)

休館日 土・日曜・祝日・年末年始

利用内容

・ボランティア・市民活動に関する相談

・車椅子、点字器、アイマスク、高齢者擬似体験用具等の貸出

(エ) 各種相談への対応と情報提供

ボランティア募集依頼件数 9件

依頼に対するマッチング件数 14件

(オ) ボランティア等活動器材貸出事業

ボランティア等の活動に必要な器材の整備・貸出を通して活動の推進を図った。

a ボランティア活動器材貸出し状況

(a) 点字練習器 10器

(b) 車椅子 174台

- (c) アイマスク 53枚
 (d) 高齢者擬似体験用具 154セット

(力) ぐんまボランティア・市民活動支援センター預託払い出し状況

a 預託・払い出し状況

(a) 物品預託

月 日	預託内容	預託者住所	預 託 者
5月15日	タオル 2,549本	高崎市栄町	生命保険ファイナンシャルアドバイザーアソシエーション・群馬県協会
7月9日	車椅子 5台	前橋市野中町	群馬カラオケ連盟
12月17日	車椅子 3台	高崎市連雀町	北関東メグミルク協会
1月16日	車椅子 7台	高崎市栄町	生命保険ファイナンシャルアドバイザーアソシエーション・群馬県協会
2月22日	DVD 500セット	前橋市上小出町	群馬テレビ株式会社

(b) 物品払い出し

月 日	払出内容	払い出し先
5月15日	タオル2,549本	桐生市社会福祉協議会 伊勢崎市社会福祉協議会 沼田市社会福祉協議会 富岡市社会福祉協議会 甘楽町社会福祉協議会 嬬恋村社会福祉協議会 高山村社会福祉協議会 片品村社会福祉協議会 邑楽町社会福祉協議会 NPO法人お互いさまネットワーク NPO法人たすけあいワーカーズ「歓(ファン)」 NPO法人わたらせライフサービス 認定NPO法人じゃんけんぽん NPO福祉法人ガンダム わんぱくひろば
7月9日	車椅子 5台	前橋市立細井小学校 伊勢崎市立赤堀小学校 太田市立東小学校 館林市立第八小学校 富岡市立東中学校
12月17日	車椅子 3台	社会福祉法人 邦知会 ユートピア広沢 社会福祉法人 伊勢崎市社会福祉協議会 社会福祉法人 片品村社会福祉協議会
1月16日	車椅子 7台	高崎市社会福祉協議会 沼田市社会福祉協議会 安中市社会福祉協議会

月 日	払出内容	払い出し先
		甘楽町社会福祉協議会 嬬恋村社会福祉協議会 N P O 福祉法人 ガンダム 群馬県社会福祉協議会
2月22日	DVD 500セット	群馬県保育協議会 群馬県児童養護施設連絡協議会 群馬県母子生活支援施設協議会 群馬県里親の会 市町村社会福祉協議会

カ ボランティアやN P O等住民活動団体の支援強化

(ア) 住民参加型在宅福祉サービス団体連絡会活動の推進支援

a 役員会の開催状況

[第1回]

期 日 平成30年5月23日（水）
会 場 群馬県社会福祉総合センター 特別会議室

[第2回]

期 日 平成31年3月28日（木）
会 場 群馬県社会福祉総合センター ボランティアルーム

b 総 会

期 日 平成30年5月23日（水）
会 場 群馬県社会福祉総合センター 特別会議室

c 個別相談会

期 日 平成30年11月30日（金）
会 場 群馬県社会福祉総合センター 203A会議室
出席者 6団体 9名

d 地域住民の生活に必要な移動・外出支援について考えるフォーラム

期 日 平成30年11月30日（金）
会 場 群馬県社会福祉総合センター ホール
出席者 205名

e 国土交通大臣認定 移送サービス運転協力者講習会

[1回目]

- (a) 期 日 平成30年9月21日（金）
会 場 群馬県勤労福祉センター 54名（講義）
- (b) 期 日 平成30年10月15日（月）
会 場 伊勢崎自動車教習所 26名（実技）
- (c) 期 日 平成30年10月29日（月）
会 場 群馬県自動車教習所 27名（実技） 修了者 54名

[2回目]

- (a) 期 日 平成30年12月18日（火）
会 場 群馬県勤労福祉センター 46名（講義）
- (b) 期 日 平成31年1月15日（火）
会 場 群馬県自動車教習所 27名（実技）
- (c) 期 日 平成31年1月21日（月）
会 場 群馬県自動車教習所 19名（実技） 修了者 46名

f 福祉サービス送迎運転者講習会

- (a) 期日 平成30年6月20日(水)
会場 桐生市総合福祉センター 修了者22名
(b) 期日 平成30年7月12日(木)
会場 群馬県勤労福祉センター 修了者26名
(c) 期日 平成30年12月10日(月)
会場 太田市福祉会館 修了者20名

g その他 講習会情報、助成金情報等をメールにて会員宛に周知

(イ) 群馬県ボランティア連絡協議会活動の推進支援

グループ同士の交流、課題解決や活動の発展、地域福祉の向上を支援

a 運営委員会の開催状況

(a) 総会

期日 平成30年6月18日(月)
会場 群馬県社会福祉総合センター 203会議室
内容

- ・平成29年度事業報告・収支決算・監査報告
- ・平成30年度事業計画・収支予算
- ・その他

(b) 第1回全体会議

期日 平成30年11月15日(木)
会場 群馬県社会福祉総合センター 201会議室
内容

- ・平成30年度群馬県ボランティア研究集会の振り返りについて
- ・平成30年度ぐんまボランティアフォーラムについて
- ・その他

(c) 役員会

[第1回]

期日 平成30年5月7日(月)
会場 群馬県社会福祉総合センター ボランティアルーム
内容

- ・平成30年度総会・運営委員会について
- ・その他

[第2回]

期日 平成31年2月14日(木)
会場 群馬県社会福祉総合センター 201会議室
内容

- ・平成30年度ぐんまボランティアフォーラムについて
- ・その他

b ボランティア研究集会

期日 平成30年9月8日(土)～9日(日)
会場 雨情の湯「森秋」
内容

- ・講義「防災の基礎知識」

講師 日本防災士会専門員 群馬県支部 防災士 福田 力氏

- ・活動報告

報告者 高崎市ボランティアグループ連絡協議会 副会長
高崎点証奉仕会 高橋 春江 氏

伊勢崎ボランティア協会 会長 小倉 良枝 氏

c ブロック別研修会

(a) 西部ブロック研修会

期 日 平成30年10月31日（水）

会 場 新島学園、有田屋、安中市文化センター、碓氷製糸株式会社
内 容

- ・新島学園・碓氷製糸株式会社視察研修会・交流会

(b) 利根沼田ブロック研修会

期 日 平成30年12月11日（火）

会 場 田園プラザ川場 研修室

内 容

- ・「防犯講話・護身術実技」

講師 沼田警察署生活安全課企画係

(c) 吾妻ブロック研修会

期 日 平成30年11月14日（水）

会 場 中之条町ツインプラザ

内 容

- ・「若返りリトミック」

講師 介護予防運動指導員

国立音楽院認定 音楽療法士 濱田 幸子 氏

日本音楽療法学会認定音楽療法士

国立音楽院認定 音楽療法士 松島 裕子 氏

(d) 東部ブロック研修会

期 日 平成31年2月4日（月）

会 場 太田市福祉センター（西部支所内）

内 容

- ・ボランティアの集い（演芸会）

講師 講談師 日向 ひまわり 氏

落語家 春風亭 柳之助 氏

（ウ） 群馬県おもちゃの図書館連絡会

県内のおもちゃの図書館の普及と活動の活性化を支援

a 群馬県おもちゃの図書館連絡会定例会

[総会・第1回]

期 日 平成30年4月16日（月）

会 場 前橋市総合福祉会館 第2作業室

内 容

- ・平成29度事業報告・決算報告について

- ・平成30年度役員について

- ・平成30年度事業計画・予算について

[第2回]

期 日 平成30年6月18日（月）

会 場 前橋市総合福祉会館 第2作業室

内 容

- ・おもちゃと写真展について

- ・ふれあい・ゆうあい交流フェスタについて

- ・30周年記念表彰及び副賞の使い方について

- ・研修会について

- ・各館近況報告

[第3回]

期 日 平成30年11月5日（月）

会 場 前橋市総合福祉会館 第2作業室

内 容

- ・ふれあい・ゆうあい交流フェスタ、おもちゃと写真展の報告
- ・講演会について
- ・リーフレットの作成について
- ・各館近況報告

[第4回]

期 日 平成31年1月23日（水）

会 場 前橋市社会福祉会館 第2作業室

内 容

- ・講演会について

[第5回]

期 日 平成31年2月18日（月）

会 場 太田市社会福祉会館 会議室2

内 容

- ・講演会の報告について
- ・リーフレットの作成について
- ・次年度の役員の選出および事業について
- ・連絡会通信について

b わくわく子どもまつり

期 日 平成30年8月18日（土）

会 場 前橋市プラザ元気21

内 容

- ・おもちゃと写真展として出展協力
- ・パネル展示
- ・出張おもちゃ図書館

c ふれあい・ゆうあい交流フェスタ

- ・フェスタ前日準備・研修会

期 日 平成30年10月13日（土）

会 場 群馬県青少年会館

内 容

- ・当日の進行について
- ・ボランティア注意事項
- ・スタッフ事前研修

- ・ふれあい・ゆうあい交流フェスタ（当日）

期 日 平成30年10月14日（日）

会 場 群馬県青少年会館

内 容

- ・おもちゃの図書館のブースを担当

d 太田市スポーツクリエーション祭

期 日 平成30年10月28日（日）

会 場 太田市運動公園

内 容

- ・おもちゃの図書館のブースを担当

e 群馬県おもちゃの図書館連絡会30周年記念講演会

期日 平成31年2月2日（土）

会場 前橋市総合福祉会館 ホール

内容

- ・群馬県内おもちゃの図書館活動紹介
- ・講演
- ・パネル・おもちゃ展示

（4）福祉教育の推進及び支援

ア 学童・生徒のボランティア活動普及事業（社会福祉協力事業）

趣旨

児童、生徒が体験学習や当事者の方からの講話、地域の人々との交流等の機会を通して、社会福祉の理解と関心を高めて、日常生活の中で相互扶助や社会連帯の思想を深め、家庭及び地域社会の啓発を図る目的で、小学校・中学校及び高等学校を対象に社会福祉協力校（単年度学校指定モデル）5校を指定し、事業を実施した。

また、連絡会議等の開催や福祉教育セミナーの開催、市町村社協における福祉体験学習の場への参加・協力等の支援を行った。

a 社会福祉協力校（単年度）への活動費補助（1校50,000円）

当該市町村社協を通じて協力校へ補助金を交付した。

b 市町村社協への連絡調整補助（共通して1校10,000円）

単年度学校指定

前橋市立細井小学校

伊勢崎市立赤堀小学校

太田市立東小学校

館林市立第八小学校

富岡市立東中学校

イ 社会福祉協力校連絡会議の開催

新規指定協力校に携わる教職員をはじめ、社協職員や教育関係者が一堂に会し、協力校について理解を深めることにより活動の円滑な推進を図った。

また、担当教職員、社協職員を対象に高齢者疑似体験会を実施し、福祉教育における疑似体験についての理解を深めた。

（ア）協力校連絡会議

期日 平成30年4月18日（水）

会場 群馬県社会福祉総合センター 701会議室

出席者 21名（教職員、県教育委員会、教育事務所、社協職員、関係者）

内容

・事業説明

「社会福祉協力校事業概要」について

「福祉教育の進め方をすすめるにあたり」

・実践発表

「一人一人の違いを認め、誰にでも思いやりの心をもち、

進んで人のために役立とうと気づき考え方行動する児童の育成」

高崎市立新町第二小学校 江城 佐和子 氏

「体験をもとにして意識して取り組む福祉教育の推進」

藤岡市立東中学校 竹村 俊夫 氏

ウ 学童・生徒のボランティア活動普及事業の指定（地域指定）

趣 旨

県内の小・中学校および高等学校の学童・生徒を対象に、ボランティア活動の体験をとおして、社会福祉への理解と関心を高め、社会連帯の精神を養うとともに、地域・学校・家庭が連携をして地域に密着した福祉教育の推進を図るため、概ね中学校区を単位とした県内3地域を指定し、事業を実施した。

(平成28年度モデル指定地域)

片品村中学校区（片品村社会福祉協議会）

(平成29年度モデル指定地域)

長野原町東中学校区（長野原町社会福祉協議会）

(平成30年度モデル指定地域)

大泉町中学校区（大泉町社会福祉協議会）

モデル指定地域への活動費補助（1地域300,000円）

当該市町村社協および管内の協力校が事業を推進する上で必要な経費を補助。

エ 福祉教育の取組

(ア) 福祉教育セミナーの開催

一方的な対象理解や知識定着のみの福祉教育ではなく、子どもたちが「社会的排除」や「社会的孤立」といった福祉課題に関心を持ち、その解決に向けて行動する実践力を養う福祉教育の展開をめざし、福祉教育のプログラムや展開方法について協議した。

期 日 平成30年8月6日（月）

会 場 群馬県市町村会館 502研修室

出席者 31名

内 容

・基調講演

「障害平等研修を通じた福祉教育の展開

～障害（課題）を見抜く力の獲得と解決に向けた行動形成～」

講師 障害平等研修（D E T） 飯島 邦敏 氏
細野 直久 氏

・情報交換

ファシリテーター D E T群馬

(イ) 市町村社会福祉協議会や社会福祉協力校、関係機関等が実施している福祉体験教室や研修、セミナー等への参加、協力を行った。

a 下仁田町社会福祉協議会「認知症サポーターへのつどい」への協力

期 日 平成30年8月1日（水）

会 場 下仁田町公民館 大会議室

内 容 講義「ボランティアの心がまえについて」

b 太田市社会福祉協議会「福祉教育セミナー」への協力

期 日 平成30年8月9日（木）

会 場 太田市福祉会館 大会議室

内 容 講義

c 嫁恋村社会福祉協議会「ボランティア入門講座」への協力

期 日 平成30年11月1日（木）

会 場 大前活性化センター

内 容 講義「ボランティアの心がまえについて」

d 群馬県共同募金会「赤い羽根教室」への協力

期 日 平成30年11月13日（火）

会 場 渋川市立小野上小学校

内 容 車椅子体験、アイマスク体験協力

e 高崎市社会福祉協議会「福祉教育について」への協力

期 日 平成30年11月28日（水）

会 場 榛名文化会館（エコール）

内 容 講義「福祉教育について」

f 群馬県共同募金会「赤い羽根教室」への協力

期 日 平成30年12月12日（水）

会 場 長野原中央小学校

内 容 点字・アイマスク体験補助

g 太田市社会福祉協議会「平成30年度福祉体験サポーター養成講座」への協力

期 日 平成31年2月12日（火）

会 場 太田市ボランティアセンター 多目的室

内 容 講義

h 沼田市社会福祉協議会「平成30年度沼田市福祉教育連絡会議」への協力

期 日 平成31年2月28日（木）

会 場 沼田保健福祉センター 多目的ホール

内 容 講義・コーディネーター

オ バリアフリー教室への協力

群馬運輸支局主催の「バリアフリー教室」ならびに「群馬運輸支局バリアフリーネットワーク会議」への参加・協力をを行い、関係機関との連携づくり、福祉教育の推進に努めた。

(ア) バリアフリー教室

a 高崎市立矢中小学校

期 日 平成30年5月30日（水）

内 容

・車いす体験・アイマスク体験の協力

高崎市社会福祉協議会職員、県社会福祉協議会職員

b 前橋市立芳賀小学校

期 日 平成30年10月24日（水）

内 容

・車いす体験・アイマスク体験の協力

前橋市社会福祉協議会職員、県社会福祉協議会職員

(イ) 群馬運輸支局バリアフリーネットワーク会議

期 日 平成30年11月7日（水）

会 場 群馬県社会福祉総合センター 203会議室

内 容 参加及び講演

カ 資料作成（3ヵ年のあゆみ・実践活動報告書）

福祉教育関係資料を作成し、協力校活動の充実に役立てた。

「福祉協力校3ヵ年のあゆみ・実践活動報告書」の作成 225部

（第13期地域指定モデル協力校、第6期単年度学校指定モデル協力校）

キ 福祉教育推進準備金

福祉協力校の指定に伴う助成金や協力校連絡会議の開催等により福祉教育の啓発・普及を図るため、「福祉教育推進準備金」を平成26年度より創設。

4 共同募金運動への協力とその推進

(1) 共同募金運動への協力とその推進

ア 「赤い羽根教室」リニューアル企画会議

〔第1回〕

期 日 平成30年5月21日（月）
会 場 群馬県社会福祉総合センター 特別会議室
出席者 11名

〔第2回〕

期 日 平成30年6月8日（金）
会 場 群馬県社会福祉総合センター 特別会議室
出席者 10名

〔第3回〕

期 日 平成30年8月8日（水）
会 場 群馬県社会福祉総合センター 特別会議室
出席者 13名

〔第4回〕

期 日 平成30年9月14日（金）
会 場 群馬県社会福祉総合センター 202会議室
出席者 10名

〔第5回〕

期 日 平成31年2月7日（木）
会 場 群馬県社会福祉総合センター 501会議室
出席者 11名

イ 「配分事業の評価基準の作成と広報への反映」についての検討会

〔第1回〕

期 日 平成30年5月28日（月）
会 場 群馬県社会福祉総合センター 特別会議室
出席者 8名

〔第2回〕

期 日 平成30年6月26日（火）
会 場 群馬県社会福祉総合センター 特別会議室
出席者 8名

ウ 「つかいみちを選べる赤い羽根募金

(ア) 「つかいみちを選べる赤い羽根募金」配分式

期 日 平成30年6月19日（火）
会 場 群馬県社会福祉総合センター 特別会議室
出席者 21名

(イ) ドナーチョイス（使途選択募金）実施委員会

期 日 平成30年7月10日（火）
会 場 群馬県社会福祉総合センター 202会議室
出席者 7名

(ウ) 「つかいみちを選べる赤い羽根募金」エントリー団体連絡会

期 日 平成30年8月17日（金）
会 場 群馬県社会福祉総合センター 701会議室
出席者 22名

(エ) 「つかいみちを選べる赤い羽根募金」エントリー団体連絡会議

期　日　　平成30年12月5日（水）
会　場　　群馬県社会福祉総合センター 701会議室
出席者　　13名

エ 平成30年度共同募金配分申請説明会
期　日　　平成30年8月1日（水）
会　場　　群馬県社会福祉総合センター 203会議室
出席者　　30名

オ 「地域の多様な課題に対応した地域配分を考える」勉強会
(ア) 「地域の多様な課題に対応した地域配分を考える」勉強会第1回
期　日　　平成30年9月12日（水）
会　場　　群馬県社会福祉総合センター 501会議室
出席者　　20名
(イ) 「地域の多様な課題に対応した地域配分を考える」勉強会第2回
期　日　　平成30年11月14日（水）
会　場　　群馬県社会福祉総合センター 501会議室
出席者　　16名

カ 社会福祉法第119条に基づく共同募金に対する意見書の提出
キ 歳末たすけあい運動の実施
期　日　　平成30年12月1日（土）～31日（月）
実　績　　県内市町村募金実績額 計94,292,616円

5 預託者からの善意に基づく就学援助金等給付事業の充実

(1) 交通遺児就学援助金給付事業の実施

父母等の交通事故により、高校進学が困難となった交通遺児を支援するため学資の一部を給付するもので昭和44年に発足した制度。昭和61年からは高校入学支度金の給付、平成2年から大学入学支度金の給付も行われている。

なお、財源は上毛新聞厚生福祉事業団の「愛の募金」に寄せられた県民の浄財で実施されている。

ア 交通遺児就学援助金総括表 合計 1,530,000円

区分	申請人	認定人	給付額(円)	備考
高校入学支度金	3	3	90,000	30,000円×3名
高校学資	14	14	840,000	月額5,000円 12ヶ月×14名
大学入学支度金	6	6	600,000	100,000円×6名

(ア) 高校学資給付内訳(市町村別)

市町村	人員	市町村	人員	市町村	人員	年別人数等
前橋市	1	高崎市	2	桐生市	1	学年別 1年生 3名 2年生 7名 3年生 4名 合計 14名
太田市	3	館林市	1	みどり市	1	
甘楽町	1	昭和村	1	玉村町	1	
板倉町	1	邑楽町	1			

(イ) 高校入学支度金給付内訳(市町村別)

市町村	人員	市町村	人員	合計
桐生市	1	太田市	1	3名
邑楽町	1			

(ウ) 大学等入学支度金給付内訳(市町村別)

市町村	人員	市町村	人員	合計
前橋市	1	高崎市	1	6名
みどり市	1	邑楽町	1	
板倉町	1	みなかみ町	1	

(2) 保護児童就学援助金給付事業の実施

保護児童（児童養護施設、肢体不自由児施設、知的障害児施設、児童自立支援施設、自立援助ホーム、ファミリーホーム、情緒障害児短期治療施設、及び母子生活支援施設入所児童並びに里親委託児童）に対し、高校の学資に要する経費の一部を給付するもので、昭和42年に発足した制度。なお、財源は上毛新聞厚生福祉事業団の「愛の募金」に寄せられた県民の浄財で実施されている。

ア 保護児童就学援助金総括表 合計 4,310,000円

区分	申請人	認定人	給付額(円)	備考
高校学資	153	153	4,310,000	2,500円×12ヶ月×133名 2,500円×11ヶ月×2名

区分	申請人	認定人	給付額(円)	備考
				2,500円×10ヵ月×1名
				2,500円×9ヵ月×3名
				2,500円×8ヵ月×2名
				2,500円×6ヵ月×7名
				2,500円×5ヵ月×1名
				2,500円×3ヵ月×1名
				2,500円×1ヵ月×3名

イ 本年度施設別給付内訳

施設等区分		人員(計)		学年別人数等	給付額
児童養護施設	地行園 フランシスコの町 東光虹の家 子持山学園 鐘の鳴る丘少年の家 希望館 希望館 八幡の家 こはるび	10 6 6 14 16 4 10 13	(79)	1学年 47名 2学年 48名 3学年 58名	
母子援生施設活設	のぞみの家	2	(2)		
肢体力児不施設自設	群馬整肢療護園 両毛整肢療護園	8 7	(15)		
知的施設障害	しきしま学園 しろがね学園	8 33	(41)		
児童相親	中央児童相談所 東部児童相談所 西部児童相談所	4 4 2	(10)		
児童支援自施立設	ぐんま学園	5	(5)		
自立・援助ム	ぐんま風の家	1	(1)		
合計		153		合計 153名	4,310,000円

(3) 保護児童高校等入学支度金支給事業の実施

本事業は、昭和62年から群馬県社会福祉振興基金の助成により、保護児童（肢体不自由児施設、知的障害児施設、児童自立支援施設、自立援助ホーム及び母子生活支援施設入所児童）に対して、高校入学支度金の一部を支給している。

ア 保護児童高校等入学支度金総括表 合計 400,000円

区分	申請人	認定人	給付額(円)	備考
高校入学支度	20	20	400,000	20,000円×20名

イ 本年度施設別給付内訳

施設等区分		人員(計)		給付額
肢由 体児 不施 自設	群馬整肢療護園 両毛整肢療護園	2 2	(4)	20,000円×20名
知児 的施 障設 害	しきしま学園 しろがね学園	3 11	(14)	
母支 子援 生施 活設	のぞみの家 虹ヶ丘園	1 1	(2)	
合計		20		400,000円

II 災害時における活動支援体制の構築

1 災害福祉支援ネットワークの構築

(1) 公民協働による包括的・継続的な支援体制の構築

ア ネットワーク推進へ向けた検討会の開催

[第9回検討会]

期日 平成30年6月5日(火)

会場 群馬県庁 昭和庁舎34会議室

出席者 31名(委員関係17名、助言者2名、県8名、県社協4名)

[第10回検討会]

期日 平成31年3月11日(月)

会場 群馬県庁 昭和庁舎34会議室

出席者 22名(委員関係16名、県3名、県社協3名)

イ ネットワーク構築へ向けた関係者会議の開催

各種別協議会での会議において、ネットワーク構築に向け、関係者間での情報の共有と課題整理を行った。

(ア) 群馬県庁担当者会議

期日 平成30年5月24日(木)

(イ) 群馬県社会福祉法人経営青年会

期日 平成30年10月6日(土)

(ウ) 群馬県精神保健福祉士会

期日 平成30年10月12日(金)

(エ) 群馬県介護福祉士会

期日 平成31年3月16日(土)

ウ 災害福祉支援ネットワーク構築セミナーへの参加

期日 平成30年11月6日(火)

会場 (株)富士通総研・セミナールーム

出席者 70名 群馬県より6名参加

エ 先進地域の視察(京都府、大阪府)

オ 北関東磐越崎・六県ネットワーク会議

[会議]

期日 平成30年12月18日(火)

会場 埼玉県危機管理防災センター 記者会見室

出席者 16名 群馬県より5名参加

(2) 施設間連携による利用者・職員・物資等の相互受入

ア 施設間連携部会の開催

[第11回施設間連携部会]

期日 平成30年6月5日(火)

会場 群馬県庁 昭和庁舎34会議室

出席者 23名(委員関係11名、助言者2名、県7名、県社協3名)

[第12回施設間連携部会]

期日 平成30年10月15日(月)

会場 群馬県社会福祉総合センター 301会議室

出席者 22名(委員関係12名、企業2名、県5名、県社協3名)

イ 相互応援に関する基本協定の実用化を図るための情報整理

(ア) 災害時の施設間相互支援協定策定に向けた情報整理シートの確認

協定締結団体会員の情報整理シートの確認

確認内容

- ・被災施設等の利用者の受入れについて
- ・被災施設への応援職員の派遣について
- ・被災施設への食料、飲料水及び生活必需品の提供について

ウ 災害時の相互応援に関する基本協定書の運用に向けた図上訓練

[事前打合会議]

期 日 平成30年5月14日（月）

会 場 群馬県健康福祉課 会議室

出席者 5名（県関係2名、県社協3名）

[第1回作業部会]

期 日 平成30年8月27日（月）

会 場 特別養護老人ホームシェステさとの花 会議室

助言者 伊勢崎土木事務所 次長 関口 洋一 氏

出席者 19名（委員関係15名、県関係1名、県社協3名）

[第2回作業部会]

期 日 平成30年9月13日（木）

会 場 障害者支援施設 第二都学園

出席者 24名（委員関係18名、企業2名、県関係1名、県社協3名）

[第1回訓練リハーサル]

期 日 平成30年11月12日（月）

会 場 群馬県社会福祉総合センター 203B会議室

出席者 9名（委員関係2名、企業2名、県関係1名、県社協4名）

[協定運用に向けた図上訓練]

期 日 平成30年11月12日（月）

会 場 群馬県社会福祉総合センター 203AB会議室

出席者 27名（委員関係13名、企業2名、県関係8名、県社協4名）

[訓練振り返り会議]

期 日 平成30年11月30日（金）

会 場 障害者支援施設 第二都学園

出席者 13名（委員関係5名、対象施設関係者3名、企業3名、県社協2名）

(3) 災害派遣福祉チーム員の登録・養成

ア 専門職支援部会の開催

[第9回専門職支援部会]

期 日 平成30年10月29日（月）

会 場 群馬県庁 141会議室

出席者 24名（委員関係15名、県6名、県社協3名）

イ 災害派遣福祉チーム員の養成等に関する検討会の開催

[ぐんまDWAT養成検討会作業部会]

期 日 平成30年12月20日（木）

会 場 群馬県社会福祉総合センター 201会議室

出席者 10名（チーム員7名、県1名、県社協2名）

[第1回検討会及びブラッシュアップ研修会]

期 日 平成31年1月31日（木）
会 場 群馬県社会福祉総合センター 201会議室
出席者 30名（チーム員26名、県2名、県社協2名）
内 容
・助言者 コミュニティ・エンパワメント・オフィスF E E L D o
代表 栗原 英文 氏
コミュニティ・4・チルドレン
福祉・防災学習コーディネーター 菅原 清香 氏
〔第2回検討会及びブラッシュアップ研修会〕
期 日 平成31年3月8日（金）
会 場 群馬県社会福祉総合センター 201会議室
出席者 27名（チーム員24名、県1名、県社協2名）
内 容
・助言者 コミュニティ・エンパワメント・オフィスF E E L D o
代表 栗原 英文 氏
コミュニティ・4・チルドレン
福祉・防災学習コーディネーター 菅原 清香 氏
ウ 群馬県災害派遣福祉チーム員登録者の募集及び各種研修の開催
〔群馬県災害派遣福祉チーム員養成研修〕
期 日 平成30年7月27日（金）～9月25日（火）
会 場 群馬県庁、他
出席者 122名
エ 群馬県災害派遣福祉チーム員登録者の募集及び研修の開催
〔群馬県災害派遣福祉チーム員登録研修〕
期 日 平成31年2月22日（金）
会 場 群馬県庁 281会議室
登録者 74名

（4）災害時の福祉支援体制づくりへの支援

ア 県内の福祉関係団体等に対する体制構築への支援及び講師協力
〔社会福祉法人希望館・職員集会〕
期 日 平成30年8月16日（木）
会 場 社会福祉法人希望館
〔群馬県精神保健福祉士会・第4回定例会〕
期 日 平成30年10月12日（金）
会 場 群馬県こころの健康センター 研修棟
〔藤岡市社会福祉協議会・教養講座〕
期 日 平成31年3月2日（土）
会 場 藤岡市総合学習センター
〔群馬県介護福祉士会・災害対策講座〕
期 日 平成30年3月16日（土）
会 場 高崎健康福祉大学8号館 205講義室
イ 県外の福祉関係団体等に対する体制構築への支援及び講師協力
〔鳥取県災害時福祉支援チーム・基礎研修〕
期 日 平成30年9月2日（日）
会 場 倉吉市 上北条公民館 第1会議室

[災害福祉広域支援ネットワーク先進府県意見交換会]

期 日 平成30年9月4日（火）

会 場 (株)富士通総研 中会議室

[長野県災害派遣福祉チーム実践研修]

期 日 平成30年10月3日（水）

会 場 塩尻市保健福祉センター 会議室

[「防災推進国民大会2018」ボランティア・セッション]

期 日 平成30年10月13日（土）

会 場 そなエリア東京

[埼玉県災害派遣福祉チーム員スキルアップ研修]

期 日 平成30年10月16日（火）

会 場 彩の国すこやかプラザ セミナーホール

[日本医療社会福祉協会・2018災害福祉支援活動基礎研修（群馬会場）]

期 日 平成30年11月3日（土）～4日（日）

会 場 国立病院機構高崎総合医療センター

[（株）富士通総研・災害福祉支援ネットワーク構築セミナー]

期 日 平成30年11月6日（火）

会 場 （株）富士通総研・セミナールーム

[全国障害者総合福祉センター「障害のある人を支援する防災研修」]

期 日 平成30年12月15日（土）

会 場 全国障害者総合福祉センター（戸山サンライズ） 大研修室

[滋賀県災害時要配慮者支援ネットワーク会議]

期 日 平成31年2月1日（金）

会 場 滋賀県危機管理センター 大会議室

[P S W首都圏災害ネット研修]

期 日 平成31年2月2日（土）

会 場 社会福祉法人山鳥の会・ワークショップやまどり

[埼玉県災害派遣福祉チーム員登録時研修]

期 日 平成31年2月4日（月）

会 場 彩の国すこやかプラザ セミナーホール

[新潟県災害福祉支援ネットワーク研修会]

期 日 平成31年2月26日（火）

会 場 新潟ユニゾンプラザ 大会議室

[災害福祉支援連絡協議会・準備会のための情報交換会]

期 日 平成31年2月28日（木）

会 場 都漁連水産会館 会議室

[障害児者の避難生活を考える研修会]

期 日 平成31年3月9日（土）

会 場 広島市南区役所別館 大研修室

（5）都道府県域における同時多発・広域災害への支援のあり方検討委員会への協力

ア 全国社会福祉協議会「都道府県域における同時多発・広域災害への支援のあり方検討委員会及び作業部会」に委員として協力

（ア）検討委員会

〔第1回〕

期　日　平成30年6月12日（火）
会　場　国際ファッションセンター 会議室
〔第2回〕
期　日　平成30年10月4日（木）
会　場　全社協 第2会議室
〔第3回〕
期　日　平成31年2月21日（木）
会　場　全社協 第2会議室
(イ) 作業部会
〔第1回〕
期　日　平成31年1月18日（金）
会　場　全社協 第2会議室

（6）JVOD福祉支援専門委員会準備会への協力

ア 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOD）における「福祉支援専門委員会」の立ち上げに向けた準備会及び作業部会委員として協力
(ア) 準備会
〔第1回〕
期　日　平成30年5月7日（月）
会　場　跡見学園女子大学 鍵屋研究室
〔第2回〕
期　日　平成30年6月28日（木）
会　場　日本NPOセンター 地下会議室
〔第3回〕
期　日　平成30年9月7日（金）
会　場　日本NPOセンター 地下会議室
〔第4回〕
期　日　平成30年11月29日（木）
会　場　日本NPOセンター 地下会議室
〔第5回〕
期　日　平成30年2月5日（火）
会　場　日本NPOセンター 地下会議室
(イ) 作業部会
〔第1回〕
期　日　平成30年12月26日（水）
会　場　日本NPOセンター 地下会議室
〔第2回〕
期　日　平成31年1月17日（木）
会　場　日本NPOセンター 地下会議室

2 市町村災害ボランティアセンターの機能強化

(1) 市町村災害ボランティアセンターの設置・運営支援
ア 市町村災害ボランティアセンター設置運営に関する支援
(ア) 災害ボランティアセンター設置運営研修会の開催

災害ボランティアセンターの設置運営等について学び、今後災害VCの中核を担う市町村社協職員の資質向上を図るため、研修会を開催した。

期 日 平成30年12月13日（木）
会 場 群馬県市町村会館 502研修室
出席者 30名
内 容

・講義・話題提供

「平成30年7月豪雨災害から考える災害VCの運営と課題について」

講師 Nukiito 代表 高山 弘毅 氏
(災害ボランティア活動支援プロジェクト会議(支援P)委員)
(全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVODA)技術系専門委員会委員)

・報告・情報交換

「平成30年7月豪雨災害に伴う災害VC運営支援における活動報告」

報告者 高崎市社会福祉協議会吉井支所 主任主事 牧野 智泰 氏
藤岡市社会福祉協議会 係長 篠原 康一 氏
渋川市社会福祉協議会 主幹 山岡 教彦 氏

コーディネーター Nukiito 代表 高山 弘毅 氏

(イ) 市町村災害ボランティアセンター設置運営に関する支援

a 上州雪かき道場への参加・協力

片品村社会福祉協議会が開催した標記事業へ参加し、災害支援のありについて学んだ。

期 日 平成31年2月6日（水）
会 場 片品村 花咲の湯
内 容

・講義

・実技演習・村内除雪

講師 中越防災フロンティア（越後雪かき道場）

b 災害に向き合うための研修への参加・協力

前橋市社会福祉協議会が開催した標記事業へ参加し、災害支援のあり方について学んだ。

期 日 平成31年3月24日（日）
会 場 前橋市かすかわ老人福祉センター
内 容

・講義

・実技・質疑応答

講師 黒澤 司 氏 (日本財団災害対策チームアドバイザー他)

小林 直樹 氏 (風組関東代表他)

高山 弘毅 氏 (Nukiito代表他)

イ 県総合防災訓練・市町村防災訓練への参加

(ア) 県総合防災訓練

藤岡市社会福祉協議会を中心に、県内社協、災害ボランティアぐんま、日赤防災ボランティア等の参加のもと、災害時を想定した具体的な災害ボランティアセンター立ち上げ及び運営訓練を実施し、関係機関の防災意識の啓発を図った。

a 第1回全体会議

期 日 平成30年5月17日（木）

- 会 場 藤岡市民ホール
- b ボランティアセンター開設訓練等打合せ会
 - 期 日 平成30年6月29日（金）
 - 会 場 藤岡市総合学習センター
 - c 第2回全体会議
 - 期 日 平成30年7月6日（金）
 - 会 場 藤岡市民ホール
 - d 第3回全体会議
 - 期 日 平成30年7月27日（金）
 - 会 場 藤岡市民ホール
 - e ボランティアセンター開設訓練等打合せ会
 - 期 日 平成30年8月1日（水）
 - 会 場 藤岡市総合学習センター
 - f ボランティアセンター開設訓練（事前訓練）
 - 期 日 平成30年8月6日（月）
 - 会 場 藤岡市総合学習センター
 - g 群馬県総合防災訓練リハーサル
 - 期 日 平成30年8月25日（土）
 - 会 場 藤岡市烏川緑地
 - 出席者 藤岡市社協、県社協の職員ならびにボランティア関係者等
 - h 群馬県総合防災訓練への参加
 - 期 日 平成30年9月1日（土）
 - 会 場 藤岡市烏川緑地
 - 出席者 藤岡市社協、県社協の職員ならびにボランティア関係者等
- (イ) 富岡市総合防災訓練
- 富岡市総合防災訓練に併せて富岡市社協が実施した訓練へ参加し防災意識の啓発を行った。
- a 第1回全体会議
 - 期 日 平成30年4月18日（水）
 - 会 場 富岡市役所 議会棟
 - b 第2回全体会議
 - 期 日 平成30年5月18日（金）
 - 会 場 富岡市役所 議会棟
 - c 富岡市総合防災訓練の参加
 - 期 日 平成30年5月27日（日）
 - 会 場 富岡市立丹生小学校
- ウ 群馬県災害ボランティア積立金による初動の活動資金助成の実施
- 災害支援ボランティア活動を実施する際、迅速な生活支援活動の推進を図るため、その初動活動資金を速やかに助成した。
- (ア) 助成先・助成金額
- | | |
|---------------------------------|----------|
| a NPO法人ふるさと再生ネットワーク（岡山県倉敷市） | 130,000円 |
| b 藤岡災害ボランティアサークル（岡山県倉敷市、愛媛県西予市） | 200,000円 |
| c 災害ボランティアぐんま（岡山県倉敷市） | 200,000円 |
| d 災害支援チームK-net（岐阜県関市、京都府綾部町） | 200,000円 |
| e 太田医療技術専門学校歯科衛生学科（岡山県倉敷市） | 200,000円 |

f 災害ボランティアネットワーク桐生（岡山県倉敷市） 200,000円
g 桐生市ボランティア協議会（岡山県倉敷市） 200,000円
残額 8,328,857円

(イ) 群馬県災害ボランティア積立金運営委員会の開催

積立金の適正な管理・運営を図るため、運営委員会を開催した。

期日 平成31年3月13日(水)

会場 群馬県社会福祉総合センター 501会議室

出席者 16名

内容

- ・これまでの運用状況及び助成実績報告について
- ・新規登録団体について
- ・群馬県災害ボランティア積立金設置運営要綱等の一部改正について

エ 東日本大震災による県内の避難者支援活動資金助成の実施

コーポぐんまからの寄付金で住民への支援活動に対する助成制度を創設し、市町村社協がボランティア等と行う活動費の一部を助成し、県内の避難者支援活動や被災地での生活支援活動等が継続して行える仕組みづくりを行い、支援の継続化を図った。

(ア) 助成先 太田市社会貢献活動連絡協議会

(イ) 助成額 50,000円

(ウ) 残額 571,007円

(2) 市町村社協の災害時の体制整備支援

ア 災害ボランティアセンター運営マニュアルの改訂

災害ボランティアセンター運営マニュアル（改訂版）策定に伴う作業委員会の開催

[第1回]

期日 平成30年12月21日(金)

会場 群馬県社会福祉総合センター 特別会議室

出席者 12名

内容

- ・委員長、副委員長の選出について
- ・災害ボランティアセンター運営マニュアルの改訂について
- ・その他

[第2回]

期日 平成31年1月28日(月)

会場 群馬県社会福祉総合センター 301会議室

出席者 10名

内容

- ・災害ボランティアセンター運営マニュアル（改訂版）の項目について
- ・その他

[第3回]

期日 平成31年2月26日(火)

会場 群馬県社会福祉総合センター 502会議室

出席者 13名

内容

- ・災害ボランティアセンター運営ガイドラインの内容（案）について
- ・その他

[第4回]

期 日 平成31年3月11日(月)
会 場 群馬県社会福祉総合センター 特別会議室
出席者 9名
内 容

- ・災害ボランティアセンター運営ガイドラインの内容（案）について
- ・その他

[第5回]

期 日 平成31年3月25日(月)
会 場 群馬県社会福祉総合センター 301会議室
出席者 10名
内 容

- ・災害ボランティアセンター運営ガイドラインの内容（案）について
- ・その他

イ 災害ボランティアセンター運営ガイドラインの策定

災害ボランティアセンター運営マニュアル（改訂版）策定に伴う作業委員会において、災害ボランティアセンター運営ガイドラインを500部策定した。

(3) 災害時における事業継続計画策定の推進

ア 市町村社協事業継続計画における事業継続計画（BCP）策定支援
(ア) 市町村社協事業継続計画（BCP）策定研修会
事業継続計画（BCP）がどのようなものなのか、防災マニュアルと何が違うのか、具体的にどのように作成すればよいのかについて講義や演習を通して理解を深めた。

期 日 平成31年2月18日(月)
会 場 群馬県社会福祉総合センター 203会議室
出席者 26名
内 容

- ・講 義
「社協における事業継続計画（BCP）の策定について」
講師 就労継続支援B型「ワークプラザすぎの木」
施設長 山本 正幸 氏
佛教大学社会福祉学部 非常勤講師
(前兵庫県宍粟市社会福祉協議会 事務局長)
- ・報告・情報交換・まとめ（15：10～16：30）
「事業継続計画（BCP）策定に向けた経過報告について」
報告者 太田市社会福祉協議会 課長補佐 金谷 典子 氏
草津町社会福祉協議会 主任 青木 啓太 氏
コーディネーター 就労継続支援B型「ワークプラザすぎの木」
施設長 山本 正幸 氏
佛教大学社会福祉学部 非常勤講師
(前兵庫県宍粟市社会福祉協議会 事務局長)

(イ) 市町村社協事業継続計画（B C P）策定支援

市町村社会福祉協議会事業継続計画（B C P）推進事業指定先の草津町社協の策定委員会に参加、太田市社協の職員研修会にB C Pについて説明。

期 日 平成30年7月19日（木）

会 場 太田市福祉会館

出席者 太田市社会福祉協議会

内 容 事業継続計画（B C P）の策定について

期 日 平成30年8月28日（火）

会 場 草津町総合保健福祉センター

出席者 草津町社会福祉協議会

期 日 平成30年11月5日（月）

会 場 草津町総合保健福祉センター

出席者 草津町社会福祉協議会

期 日 平成31年2月4日（月）

会 場 草津町総合保健福祉センター

出席者 草津町社会福祉協議会

(ウ) 市町村社会福祉協議会事業継続計画（B C P）推進事業における助成

・助成額 596,000円（合計）

・助成先 草津町社会福祉協議会 147,000円

　　渋川市社会福祉協議会 199,000円

　　藤岡市社会福祉協議会 250,000円

（4）関係機関とのネットワークづくり

ア 群馬県災害時救援ボランティア連絡会議への協力

期 日 平成30年7月2日（月）

会 場 群馬県社会福祉総合センター B01会議室

内 容

- ・直近の県内災害に対する群馬県の対応について
- ・「群馬県災害時受援・応援計画」について
- ・「群馬県災害ボランティア活動方針」について
- ・構成団体のH29年度災害支援活動及び課題等について

イ 災害支援セミナーの開催

（ア）災害支援セミナーI

期 日 平成30年7月2日（月）

会 場 群馬県社会福祉総合センターB01会議室

出席者 60名

内 容

- ・講義①

「災害時における技術系支援者（専門ボランティア）との連携・協働について～災害VCの運営の視点から～」

講師

災害支援団体 風組関東 代表

技術系災害ボランティアネットワーク（DRT-JAPAN）テクニカルアバイザー

全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVODA）技術系専

門委員会 委員 小林 直樹 氏

・講義②

「近年の災害の特徴と社協・行政との連携事例について」

講師

日本財団ソーシャルイノベーション本部 シニアオフィサー

技術系災害ボランティアネットワーク (DRT-JAPAN) 主宰

全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JVOAD) 技術系専門

委員会 アドバイザー 黒澤 司 氏

・協議・情報交換

小グループに分かれて協議・情報交換

(イ) 災害支援セミナーⅡ

期 日 平成30年12月13日 (木)

会 場 群馬県市町村会館 502研修室

出席者 54名

内 容

・講義・話題提供

「災害支援における関係機関・団体との連携・協働について」

講師 全日本仏教青年会顧問、災害ボランティア活動支援プロジェクト会議委員 米沢 智秀 氏 (曹洞宗 高雲寺 住職)

・協議・情報交換

小グループに分かれ、協議・情報交換

ウ 災害支援関係者連絡会議の開催

(ア) 市町村社協災害ボランティアセンター・災害支援担当者連絡会議

県内の市町村社協災害VC担当職員を対象に連絡会議を開催。今年度災害時における職員の連絡体制について確認を行った。

期 日 平成30年7月2日 (月)

会 場 群馬県社会福祉総合センター B01会議室

出席者 33名

内 容

・講義 「災害時における技術系支援者（専門ボランティア）との連携・協働について～災害VCの運営の視点から～」

講師 災害支援団体 風組関東 代表

技術系災害ボランティアネットワーク (D R T - J A P A N)

テクニカルアドバイザー

全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (J V O A D)

技術系専門委員会 委員 小林 直樹 氏

講師 日本財団ソーシャルイノベーション本部 シニアオフィサー

技術系災害ボランティアネットワーク (D R T - J A P A N)

主宰

全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (J V O A D)

技術系専門委員会 アドバイザー 黒澤 司 氏

・行政説明 「群馬県災害時受援・応援計画について」

講師 群馬県総務部 危機管理室 計画調整係 主任 佐藤 正樹 氏

・説明 「災害時における群馬県内社協の連絡体制について」

「群馬県災害ボランティア積立金について」

説明 群馬県社会福祉協議会 地域福祉課

(イ) 災害時の連携を考える全国フォーラムへの参加

「つながりから協働へ」をテーマに協議等を実施。

期 日 平成30年6月12日（火）～13日（水）

会 場 国際ファンションセンターKFCホール（東京都墨田区）

(ウ) 平成30年度都道府県・指定都市社会福祉協議会災害ボランティアセンター担当者連絡会議への参加

期 日 平成31年1月18日（金）

会 場 全国社会福祉協議会

(エ) 全国社会福祉協議会災害ボランティアセンター運営者研修への職員派遣

災害ボランティアセンターの運営を担う中核スタッフを育成する研修会
～本会職員を2名派遣。

期 日 平成31年1月22日（火）～24日（木）

会 場 T F Tビル（東京都江東区）

エ 日本青年会議所関東地区群馬ブロック協議会との災害時相互支援に関する協定
締結

災害時のネットワーク構築に向け、日本青年会議所関東地区群馬ブロック協議会と本
会において、災害時の相互支援に関する協定を締結した。

締結日 平成30年11月11日（日）

（5）平成30年7月豪雨災害被災地への応援職員派遣等について

ア 災害時の相互支援に関する協定に基づく派遣

岡山県社協、岡山市社協、広島県社協、広島市社協および中国ブロック幹事県
である鳥取県社協から応援要請があり、全国社会福祉協議会では、職員派遣の規
模を拡大し支援することを決定。本会では「関東甲信越静ブロック都県指定都市
社会福祉協議会災害時の相互支援に関する協定」に基づき下記被災地域へ応援職
員を派遣した。

(ア) 災害ボランティアセンター運営支援業務

・支 援 先：広島県広島市（安芸区・南区似島地区）、呉市、坂町

・派 遣 人 数：計24名（県社協8名、市町村社協16名）

・派 遣 期 間：計47日間

第4クール	8月 8日（水）～8月13日（月）	広島市	3名
-------	-------------------	-----	----

	8月 8日（水）～8月14日（火）	呉市	3名
--	-------------------	----	----

第6クール	8月17日（水）～8月23日（木）	坂町	4名
-------	-------------------	----	----

第9クール	8月30日（木）～9月 5日（木）	広島市・坂町	4名
-------	-------------------	--------	----

第12クール	9月11日（火）～9月17日（月）	広島市・坂町	4名
--------	-------------------	--------	----

第15クール	9月23日（日）～9月29日（土）	広島市・坂町	4名
--------	-------------------	--------	----

第18クール	10月 4日（木）～10月 9日（火）	広島市	2名
--------	---------------------	-----	----

(イ) 生活福祉資金（福祉資金「緊急小口資金」）特例貸付業務

・支 援 先：広島県広島市、呉市

・派 遣 人 数：計5名（県社協4名、市町村社協1名）

・派 遣 期 間：計14日間

第1クール	7月25日（水）～7月27日（金）	広島市	2名
-------	-------------------	-----	----

第2クール	7月29日（日）～8月 1日（火）	〃	2名
-------	-------------------	---	----

第3クール	8月 5日（日）～8月11日（土）	呉市	1名
-------	-------------------	----	----

イ 災害派遣福祉チーム（DWAT）派遣

平成30年7月豪雨により岡山県倉敷市真備町が大きな被害を受けたことに伴い、周辺の避難所に避難している高齢者や要配慮者等からの相談業務等に対応可能な災害派遣福祉チーム（DWAT）へ岡山県より派遣要請があり、本県よりぐんまDWATを派遣した。

・支援先：岡山県倉敷市真備町（倉敷市立菌小学校）

・派遣人数：計13名（DWAT登録者12名＋事務局1名）

・派遣期間：計14日間

第1クール 8月4日（土）～8月10日（金） 6泊7日

第2クール 8月8日（水）～8月14日（火） 6泊7日

・業務内容：避難所等における相談業務等

ウ 災害ボランティア活動支援プロジェクト会議（支援P）派遣

災害ボランティアセンターの立ち上げ支援や関係機関とのネットワーク構築支援等、災害ボランティアセンターの運営支援を行っている支援Pからの要請により、過去の災害において多くの支援経験を有する運営支援者として本会職員を派遣した。

・支援先：広島県広島市、三原市他

・派遣人数：延べ3名

・派遣期間：16日間

①7月13日（金）～7月18日（水） 5泊6日 1名

②7月27日（金）～7月31日（火） 4泊5日 1名

③8月 8日（水）～8月12日（日） 4泊5日 1名

・業務内容：災害ボランティアセンターの運営支援業務等

エ 平成30年7月豪雨災害に伴う災害ボランティアセンター運営支援者会議

平成30年7月豪雨災害に伴う災害ボランティアセンター運営支援に係る県内社協派遣職員による報告及び振り返り等を行うため、運営支援者会議を開催した。

期日 平成30年11月29日（木）

会場 群馬県社会福祉総合センター 203A会議室

出席者 30名

内容

基調報告

「平成30年7月豪雨災害支援の現状と課題について」

講師 Nukiito 代表 高山 弘毅 氏

（災害ボランティア活動支援プロジェクト会議（支援P）委員）

（全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVODA）技術系専門委員会 委員）

協議・情報交換

Ⅲ 生活困窮者等への相談支援体制の強化

1 生活困窮者自立相談支援事業における相談支援体制の強化

(1) 生活困窮者の発見と把握

ア 地域における複合的な課題を抱える生活困窮者の発見と把握
種別協議会にて生活困窮者自立相談支援事業の説明を行った。

(ア) 民児協

町村民児協定例会

(説明者) 県社協 生活支援課 神戸 麻記子、渡辺 匠海

期日・会場

	町村名	期 日	会 場
1	みなかみ町	4月18日(水)	みなかみ町保健福祉センター
2	玉村町	5月10日(木)	玉村町役場
3	明和町	5月17日(木)	明和町役場
4	片品村①	5月18日(金)	片品村役場
5	下仁田町	6月13日(水)	下仁田町役場
6	甘楽町	6月14日(木)	にこにこ甘楽
7	川場村	7月10日(火)	川場村役場
8	吉岡町	7月20日(金)	吉岡町役場
9	板倉町	8月17日(金)	板倉町中央公民館
10	千代田町	8月20日(月)	千代田町役場
11	昭和村	8月27日(月)	昭和村役場
12	邑楽町	9月 3日(月)	邑楽町役場
13	大泉町	9月10日(月)	大泉町役場
14	南牧村	9月12日(水)	南牧村役場
15	上野村	9月26日(水)	上野村役場
16	片品村②	10月19日(金)	片品村役場

イ 関係機関が主催する研修会等に参加し、事業説明を行った。

(ア) 平成30年度 下仁田町社会福祉協議会ケアマネ研修会

期 日 平成31年2月15日(金)

会 場 下仁田町社会福祉協議会

説明者 県社協 生活支援課 神戸 麻記子

下仁田町社協 相談支援員 岡部さち江

(イ) 甘楽町人権保護関係委員連絡会研修会

期 日 平成31年2月26日(火)

会 場 甘楽町公民館

説明者 県社協 生活支援課 神戸 麻記子

下仁田町社協 相談支援員 岡部 さち江

(2) 生活困窮者に対する相談支援・就労支援

ア 23町村における生活困窮者に対する相談支援体制の強化

8カ所の支所社協と県社協でコンソーシアム（共同事業体）協定を結び、群馬県より群馬県生活困窮者自立相談支援事業を受託して、県内23町村における

る生活困窮者支援のための相談支援を行った。

- (ア) 新規相談受付件数 211件
- (イ) 自立相談支援事業申込件数 45件
- (ウ) 自立支援プランの作成 21件
- (エ) 支援調整会議

	町村名	期 日	会 場	プラン数(件)			参加 人 数
				初 回	再	終 結	
1	中之条町	4/3(火)	吾妻保健福祉事務所	1			4
2	上野村	4/6(金)	上野村生活福祉センター		1		8
3	下仁田町	5/16(水)	下仁田町保健センター	1			10
4	玉村町	5/30(水)	伊勢崎公共職業安定所	1			4
5	中之条町②	6/15(金)	吾妻保健福祉事務所			1	4
6	甘楽町	6/19(火)	にこにこ甘楽	2			7
7	明和町	6/26(火)	明和町社会福祉協議会		1	2	9
8	板倉町	6/26(火)	板倉町社会福祉協議会			1	8
9	千代田町	7/17(火)	千代田町役場			1	10
10	大泉町	7/17(火)	大泉町保健福祉総合センター			1	6
11	東吾妻町	7/20(金)	東吾妻町社会福祉協議会	1		1	6
12	みなかみ町	8/ 8(水)	みなかみ町保健福祉センター	1			4
13	南牧村	8/ 9(木)	南牧村活性化センター			2	6
14	みなかみ町②	9/27(木)	群馬県庁健康福祉課内	1			4
15	中之条町③	10/1(月)	中之条町役場			1	7
16	みなかみ町③	10/24(水)	(書面開催)			1	
17	甘楽町②	11/5(月)	にこにこ甘楽	2			10
18	下仁田町②	11/14(水)	下仁田町保健センター	2			9
19	明和町②	11/27(火)	明和町社会福祉協議会			1	
20	甘楽町③	1/23(水)	にこにこ甘楽			3	6
21	上野村②	2/ 4(月)	上野村生活福祉センター			1	9
22	下仁田町③	2/ 6(水)	下仁田町保健センター			1	6
23	中之条町④	2/ 6(水)	中之条町役場六合支所	1			9
24	中之条町⑤	2/21(木)	中之条町役場	1			1
25	片品村	3/14(木)	利根沼田保健福祉事務所	1			5
26	明和町③	3/15(金)	明和町役場	1			7
27	大泉町②	3/19(火)	大泉町保健福祉総合センター	1			9
28	みなかみ町④	3/25(月)	みなかみ町社会福祉協議会			2	5
29	玉村町②	3/25(月)	伊勢崎公共職業安定所			2	4
30	吉岡町	3/26(火)	吉岡町社会福祉協議会	2		3	8
計				19	2	24	
						21	

(オ) ケース会議の開催

管内の生活困窮者についてケース会議を開催し、関係機関で情報共有を行った。

	町村名	期 日	会 場	人 数
1	上野村	4月 6日 (金)	上野村生活福祉センター	8名
2	吉岡町	5月 23日 (水)	吉岡町保健センター	8名
3	吉岡町	7月 20日 (金)	吉岡町社会福祉協議会	6名
4	吉岡町	8月 2日 (木)	吉岡町社会福祉協議会	3名
5	甘楽町	8月 3日 (金)	にこにこ甘楽	4名
6	吉岡町	8月 10日 (金)	吉岡町社会福祉協議会	5名
7	中之条町	1月 15日 (火)	中之条町役場六合支所	9名
8	邑楽町	2月 20日 (水)	邑楽町役場	6名

(カ) 主任相談支援員及び相談支援員の配置

きめ細かな相談支援事業を実施するため、県社協に主任相談支援員を2名配置し、委託管轄5保健福祉事務所圏域に、支所社協8町村社協に相談支援員を1名ずつ配置した。

北群馬・佐波郡	吉岡町社協
"	玉村町社協
甘楽・多野郡	下仁田町社協
吾妻郡	長野原町社協
"	東吾妻町社協
利根郡	みなかみ町社協
邑楽郡	大泉町社協
"	邑楽町社協

イ 主任相談支援員及び相談支援員の資質向上

相談支援員の資質向上を図ることを目的に外部研修への参加を行った。

(ア) 群馬県生活困窮者自立支援制度新任職員研修

期 日 平成30年5月29日 (火)

会 場 群馬県庁 294会議室

出席者 5名 主任相談支援員1名 支所社協相談支援員4名

内 容

- ・講義（生活困窮者自立支援制度の基本的考え方、支援員に求められる基本姿勢、個別支援の基本と相談支援の展開）、演習

講師 県健康福祉課 主幹 大澤 仁 氏

前橋市社協 主任相談支援員 星野 一郎 氏

みどり市社協 主任相談支援員 長谷川 貴哉 氏

高崎市社会福祉課 相談支援員 伊藤 岳央 氏

県社協 生活支援課 課長 青柳 素子

生活支援課 主事 渡辺 匠海

(イ) 生活困窮者自立支援制度人材養成研修の受講

期日・会場

(共通)

7月 3日 (火) ~ 5日 (木) 全社協灘尾ホール

7月 30日 (月) ~ 8月 1日 (水) 全社協灘尾ホール

(主任相談支援員)

8月 22日 (水) ~ 24日 (金) ロフォオス湘南

(相談支援員)

- 10月17日（水）～19日（金）ロフォス湘南
- 出席者　主任相談支援員1名　支所社協相談支援員2名
- 内 容　講義、演習
- ウ 相談支援員連絡会議等の開催
支所社協相談支援員の情報交換と資質向上を図ることを目的に開催した。
- (ア) 期日・会場
- (第1回) 4月24日（火）群馬県社会福祉総合センター
(第2回) 5月22日（火）群馬県社会福祉総合センター
(第3回) 6月22日（金）群馬県社会福祉総合センター
(第4回) 8月 2日（木）群馬県社会福祉総合センター
(第5回) 9月13日（木）群馬県社会福祉総合センター
(第6回) 10月12日（金）群馬県庁昭和庁舎
(第7回) 12月 3日（月）群馬県社会福祉総合センター
(第8回) 1月 8日（火）群馬県社会福祉総合センター
(第9回) 3月 4日（月）群馬県社会福祉総合センター
- (イ) 出席者 支所社協相談支援員（計8名）、県健康福祉課担当者、
県社協（生活支援課長、主任相談支援員）
- (ウ) 内 容 全体協議、事務調整、ケース検討、情報交換
- エ 一時生活支援事業の実施
- (ア) 群馬県より、県内23町村において住居のない生活困窮者に対して一定期間
宿泊場所や衣食の提供等を行う一時生活支援事業を受託した。
利用件数 1件
- (イ) 関係機関に対し、事業説明及び事業協力依頼を行った。
- a 群馬県老人福祉施設協議会 軽費老人ホーム・ケアハウス委員会
期 日 平成30年6月21日（木）
会 場 群馬県社会福祉総合センター B01会議室
- b 群馬県老人福祉施設協議会 第2回拡大養護老人ホーム委員会
期 日 平成31年3月8日（金）
会 場 群馬県社会福祉総合センター 301会議室
- オ 生活困窮者の居住支援についての考察検討
県居住支援協議会と連携し、県内の居住支援について検討を行った。
- (ア) 群馬県居住支援協議会総会への出席
期 日 平成30年6月22日（金）
会 場 昭和庁舎35会議室
- (イ) 居住支援法人研修会〈基礎コース〉への参加
期 日 平成30年12月6日（木）
会 場 航空会館702・703会議室
- カ 就労準備支援の検討
生活困窮者自立支援事業利用者が、一般就労前に就労体験する就労体験ボランティア作業の洗い出しを、支所社協に依頼し実施した。

（3）包括的な総合相談体制の強化

支援調整会議やケース会議により、町村社協担当者や町村役場担当者と困難事例等の事例共有を行い、連携して支援を行った。

(4) 関係機関との連携強化

ア 生活困窮者自立支援に係わる関係機関連絡会議の開催

(ア) 開催期日・会場

	地区名	期 日	会 場	人 数
1	中部	8月30日(木)	群馬県社会福祉総合センター	15名
2	甘楽多野	9月 6日(木)	富岡保健福祉事務所	17名
3	邑楽	9月11日(火)	館林保健福祉事務所	24名
4	吾妻	9月19日(水)	長野原町保健センター	17名
5	利根	10月 3日(水)	みなかみ町保健センター	12名

(イ) 参加対象 町村役場、町村社協、各保健福祉事務所、ハローワーク、
障害者就業・生活支援センター

(ウ) 内 容

- ・状況説明
- ・情報交換

「各機関の連携と生活困窮者自立相談支援事業の円滑な推進について」

イ 県内の生活困窮者自立相談支援機関との情報交換会を開催した。

(ア) 自立相談支援機関情報交換会

[第1回]

期 日 平成30年7月2日(月)

会 場 群馬県社会福祉総合センター 203AB会議室

出席者 37名

内 容

- ・説明「生活困窮者自立支援法の改正及び制度の推進について」
(説明者) 県健康福祉課 主幹 大澤 仁 氏
- ・説明「住宅セーフティネット法について」
(説明者) 県住宅政策課 副主幹 古郡 健吾 氏
- ・情報交換「生活困窮者自立相談支援事業の課題等について」

[第2回]

期 日 平成31年3月13日(水)

会 場 群馬県社会福祉総合センター 701会議室

出席者 36名

内 容

- ・説明「生活困窮者自立支援制度の推進について」
(説明者) 県健康福祉課 主幹 大澤 仁 氏
- ・説明「県営住宅の入居要件見直しについて」
(説明者) 県住宅政策課 主任 今成 義昭 氏
- ・説明「居住支援協議会について」
(説明者) 県住宅政策課 副主幹 古郡 健吾 氏
- ・情報交換「生活困窮者自立相談支援事業の課題等について」
(グループ別での情報交換)

ウ 関係機関との連携

(ア) 県内フードバンクと覚書を交わし、生活困窮者への緊急支援を実施した。

a N P O 法人 三松会（館林市）

緊急支援の要請を行うことにより、宅配で支所社協宛に送付し、相談支援員が対象者に届けた。 利用数 16 件

b 一般社団法人 中央ライフ・サポートセンター（前橋市）

提供可能な食糧の情報を受け、本会が希望し提供された食糧を必要に応じ対象者に届けた。 利用数 3 件

（5）生活福祉資金貸付事業との連携

生活福祉資金借入者について生活福祉資金担当と情報共有を行った。

また、県内自立支援相談機関との情報交換会に貸付担当者の出席を依頼し、連携を図った。

（6）貧困の連鎖への対応

ア 子どもの居場所づくりに関する人材養成研修を開催した。

(ア) 子どもの居場所ボランティアスキルアップセミナー（同内容・全3回）

a 中毛会場

期 日 平成30年10月11日（木）

会 場 群馬県市町村会館 501研修室

出席者 23名

b 東毛会場

期 日 平成30年10月18日（木）

会 場 太田市福祉会館 大会議室

出席者 26名

c 西毛会場

期 日 平成30年10月26日（金）

会 場 高崎市中央公民館 ホール

出席者 34名

内 容

・説明『群馬県の子どもを取り巻く環境について』

説 明：群馬県こども未来部 子育て・青少年課

・講義『コミュニケーションの上手くできない子ども達への接し方』

講 師：群馬県児童相談所

・説明『食事提供における衛生管理について』

説 明：群馬県健康福祉部 食品・生活衛生課

・講義演習『子どもの居場所づくりの具体的な運営方法・取組事例』

講 師：NPO 法人 豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク

理事長 栗林 知絵子 氏

(イ) 子どもの居場所地域コーディネーター養成研修会（全2日間）

〔1日目〕

期 日 平成30年12月25日（火）

会 場 群馬県社会福祉総合センター B01会議室

出席者 70名

内 容

- ・講義「子どもの貧困の前に：貧困の基礎的理解」
- ・講義/演習「困難を抱えた子どもの相談支援のために」
　　講 師 群馬県立女子大学教授 宮内 洋 氏
- ・講義「学校現場から見えた困難を抱えた子どもの状況」
　　講 師 群馬大学准教授 新藤 慶 氏

[2日目]

期 日 平成31年1月29日（火）

会 場 群馬県市町村会館 大研修室

出席者 64名

内 容

- ・講義「子どもたちと向き合うために～子どもの生活と声から子どもの貧困を考える」
- ・演習「支援ネットワークについて～子どもステークホルダーマップ～」
　　講 師 公益財団法人あすのば 事務局長 村尾 政樹 氏

(ウ) 子どもの居場所の「これから」を考えるセミナー

期 日 平成31年2月9日（土）

会 場 群馬会館 ホール

出席者 128名

内 容

- ・講演「子どもの居場所の「これから」を考える」
　　講 師 NPO 法人キッズドア 理事長 渡辺 由美子 氏
- ・パネルディスカッション
　　「子どもの居場所のいろいろな“かたち”と、『これから』について」

(エ) ぐんま子どもの居場所ハンドブックの作成

1,000部

内 容

- ・群馬県子どもの生活実態調査から
- ・「子どもの居場所」事例
- ・フードバンク紹介
- ・食中毒予防について
- ・関係機関・連絡先

イ こども食堂ネットワークぐんま設立大会の開催と県内でこども食堂を行う団体の情報交換会・研修会を開催した。

(ア) こども食堂ネットワークぐんま設立大会

期 日 平成30年7月15日（日）

会 場 群馬県社会福祉総合センター 大ホール

出席者 約300名

内 容

- ・講演「子どもの居場所について～こども食堂の活動から～」
　　講師 湯浅 誠 氏（社会活動家／法政大学教授）
- ・県内のこども食堂の活動紹介

(イ) こども食堂ネットワークぐんま設立準備会

開催期日 (会場:群馬県社会福祉総合センター)

	期 日	人 数
第1回	4月17日(火)	31名
第2回	5月8日(火)	21名
第3回	6月13日(水)	31名

(ウ) こども食堂ネットワークぐんま情報交換会・研修会

開催期日 (会場:群馬県社会福祉総合センター・群馬県市町村会館)

	期 日	人 数
第1回	8月21日(火)	23名
第2回・研修会	10月9日(火)	22名
第3回	12月18日(火)	23名
第4回	3月11日(月)	26名

参加対象

こども食堂実施者、実施予定の方、興味のある方等

内 容

- ・こども食堂ネットワークぐんま設立大会について
- ・こども食堂ネットワークぐんまについて
- ・こども食堂における食品衛生について

講師 群馬県健康福祉部食品・生活衛生課員

- ・群馬県内におけるこども食堂の状況についての情報交換

(エ) こども食堂ネットワークぐんま加盟団体へ寄贈品情報の提供

寄贈者	寄贈品 種類
個人	自家菜園の野菜
個人	自家菜園の野菜
Dステーション安中店	カロリーメイト 160 箱

2 生活福祉資金貸付制度における相談・債権管理体制の充実

(1) 債権管理の充実

円滑な償還に向けて「訪問活動」を実施し、192日、2,043世帯を訪問した。
65ページの別表1を参照

(2) 相談・貸付・債権管理体制の充実

市町村社協と共に貸付から償還まで支援を行った。

ア 相談の状況 65ページの別表1を参照

イ 貸付件数の状況 66～67ページの別表2・3を参照

ウ 現地調査の状況

No	市町村	要保護世帯向け					合計	不動産担保型					合計
		鑑定	契約	訪問	再鑑定	償還		鑑定	契約	訪問	再鑑定	償還	
1	前橋市		2	1			3						0
2	高崎市	1	1	2	1	1	6			2	3		5
3	桐生市			1			1						0
4	伊勢崎市				1		1						0
5	太田市	1	1				2						0
6	館林市					4	4						0
7	藤岡市				1		1						0
8	富岡市		1	2			3						0
9	玉村町	1			1		2						0
10	板倉町			1			1						0
	合計	3	5	7	4	5	24	0	0	2	3	0	5

エ 運営委員会の実施

[第1回]

期 日 平成30年11月16日（金）

会 場 群馬県庁 221会議室

出席者 15名

内 容

- ・委員長選出
- ・償還免除について

自己破産、個人再生、任意整理、相続放棄、延滞利子

件数 46件（総合29、緊急小口11、福祉費5、不動産1）

[第2回]

期 日 平成31年2月5日（火）

会 場 群馬県庁 161会議室

出席者 15名

内 容

- ・自己破産に伴う償還免除について
- 件数 23件（総合20、緊急小口3）
- ・機動的な運営委員会の運営に向けて

オ 貸付原資・欠損補填積立金の取崩

(ア) 貸付原資の取崩

事務費分 30,960,000円

豪雨災害分 3,418,068円

返還金分 17,590,500円

(イ) 欠損補填積立金の取崩

償還免除分 17,981,149円

(3) 関係機関との連携

ア 市町村社協事務局長会議

期 日 平成30年10月10日（水）

会 場 群馬県社会福祉総合センター B01会議室

出席者 52名

内 容

・生活福祉資金貸付事業の取り組み現状・課題について

・平成31年度市町村事務費の方向性について他

イ 市町村社協担当者研修会

[第1回]

期 日 平成30年4月11日（水）

会 場 群馬県社会福祉総合センター 701会議室

出席者 52名

内 容

・説明 生活福祉資金貸付事業の概要について
訪問活動について

・情報交換 貸付事務の流れについて
取組状況について

[第2回]

期 日 平成30年11月12日（月）

会 場 群馬県市町村会館 501会議室

出席者 35名

内 容

・状況説明 生活福祉資金貸付事業の状況等について
・事例説明 太田市社協の取り組み状況について
・情報交換 相談受付時の留意点

ウ 連絡会議

対 象

訪問活動を年12日以上実施する市町村社協（6ヶ所）

（前橋市、高崎市、桐生市、伊勢崎市、太田市、渋川市）

[第1回]

期 日 平成30年5月22日（火）

会 場 群馬県社会福祉総合センター 202会議室

出席者 18名

内 容

- ・貸付・相談件数について
- ・訪問活動について等

[第2回]

期 日 平成30年6月21日（木）
会 場 群馬県社会福祉総合センター 501会議室
出席者 18名

内 容

- ・訪問活動について
- ・貸付事務の協議・確認等

[第3回]

期 日 平成30年7月5日（木）
会 場 群馬県社会福祉総合センター 301会議室
出席者 15名

内 容

- ・教育支援資金について
- ・研修会について等

[第4回]

期 日 平成30年7月26日（木）
会 場 群馬県社会福祉総合センター 202会議室
出席者 16名

内 容

- ・豪雨災害に伴う特例貸付について
- ・教育支援資金・分割交付者への在学確認について等

[第5回]

期 日 平成30年9月12日（水）
会 場 群馬県社会福祉総合センター 201会議室
出席者 15名

内 容

- ・事務局長会議について
- ・市町村事務費について等

[第6回]

期 日 平成31年1月10日（木）
会 場 群馬県社会福祉総合センター 202会議室
出席者 16名

内 容

- ・意見・要望に対する検討状況等について
- ・償還に向けての取り組みについて等

エ 全国・関東ブロック

(ア) 全国

- ・生活福祉資金業務システム操作説明会
- 期 日 平成30年7月12日（木）
会 場 全国社会福祉協議会
出席者 2名
- ・全国生活福祉資金貸付事業担当職員研修会

期　日　　平成30年7月24日（火）～25日（水）

会　場　　全国社会福祉協議会

出席者　　2名

- ・全国生活福祉資金貸付事業運営研究協議会

期　日　　平成30年11月1日（木）～2日（金）

会　場　　全国社会福祉協議会

出席者　　1名

- ・全社協「市町村社協の業務内容にかかるヒアリング」

期　日　　平成31年2月14日（木）

会　場　　太田市社会福祉協議会

(イ) 関東ブロック

- ・北関東3県・生活福祉資金等担当者会議

期　日　　平成30年6月7日（木）

会　場　　群馬県社会福祉総合センター 501会議室

出席者　　17名

- ・関東ブロック都県・指定都市社会福祉協議会担当職員研究協議会

期　日　　平成30年9月21日（金）

会　場　　東京都社会福祉協議会

出席者　　1名

- ・茨城県社協・償還事務視察受入

期　日　　平成30年12月18日（火）

会　場　　群馬県社会福祉協議会

才　　関係機関との連携

事業を円滑に実施するため、生活困窮者自立相談支援機関、民生委員児童委員協議会との連携を図った。

平成30年度債権管理のための訪問活動及び年間相談件数

別表1

No	市町村	訪問活動						年間 相談件数	
		年間 日数	実績			合計	助成額 (単位:円)		
			面会	不在票	非投函				
1	前橋市	23	85	132	37	254	1,000,000	1,403	
2	高崎市	22	62	170	31	263	1,000,000	589	
3	桐生市	22	68	134	25	227	1,000,000	392	
4	伊勢崎市	22	100	159	66	325	1,000,000	470	
5	太田市	22	66	151	42	259	1,000,000	1,095	
6	沼田市	2	10	6	13	29	40,000	115	
7	館林市	9	19	52	8	79	300,000	132	
8	渋川市	23	88	178	29	295	1,000,000	111	
9	藤岡市	6	18	44	5	67	200,000	66	
10	富岡市	2	6	0	3	9	40,000	41	
11	安中市	7	25	31	5	61	200,000	143	
12	みどり市	7	20	33	11	64	200,000	49	
13	榛東村	0	0	0	0	0	0	4	
14	吉岡町	1	2	1	1	4	20,000	13	
15	上野村	0	0	0	0	0	0	0	
16	神流町	0	0	0	0	0	0	0	
17	下仁田町	1	0	2	0	2	20,000	10	
18	南牧村	0	0	0	0	0	0	0	
19	甘楽町	3	5	12	0	17	60,000	32	
20	中之条町	2	2	4	1	7	40,000	8	
21	長野原町	2	4	4	0	8	40,000	5	
22	嬬恋村	1	0	3	0	3	20,000	3	
23	草津町	2	2	3	0	5	40,000	5	
24	高山村	1	0	1	0	1	20,000	4	
25	東吾妻町	1	3	4	1	8	20,000	11	
26	片品村	1	2	0	0	2	20,000	2	
27	川場村	0	0	0	0	0	0	2	
28	昭和村	0	0	0	0	0	0	0	
29	みなかみ町	0	0	0	0	0	0	134	
30	玉村町	3	17	9	4	30	60,000	40	
31	板倉町	2	3	4	0	7	40,000	4	
32	明和町	1	0	1	0	1	20,000	45	
33	千代田町	2	1	6	1	8	40,000	12	
34	大泉町	0	0	0	0	0		105	
35	邑楽町	2	3	4	1	8	40,000	7	
—	県社協							1,067	
	合計	192	611	1,148	284	2,043	7,480,000	6,119	

平成30年度 生活福祉資金貸付状況一覧（月別）

平成30年度 生活福祉資金貸付状況一覧 (市町村別)

別表33

	総合支援資金		福祉資金		教育支援資金		不動産担保型生活資金		臨時特例つなぎ資金		合計 件数	備考
	生活支援費 件数	住宅入居費 件数	一時生活再建費 件数	福祉費 件数	緊急小口資金 件数	生活復興支援資金 件数	田園	田園	田園	田園		
前橋市	0	0	0	0	0	0	65	31,781,000	0	0	2 11,501,000	0
高崎市	0	0	0	0	7	843,000	4	234,000	0	1	8,577,000	0
桐生市	0	0	0	0	0	8	470,000	0	0	0	0	10 2,230,000
伊勢崎市	0	0	0	0	1	775,000	10	766,000	0	0	0	31 11,424,000
太田市	0	0	0	0	4	529,000	5	410,000	0	12	4,879,000	0
沼田市	0	0	0	0	0	3	190,000	0	0	0	0	3 190,000
館林市	0	0	0	0	1	93,000	1	22,000	0	4	2,044,000	0
渋川市	0	0	0	0	0	6	337,000	0	0	0	0	6 337,000
藤岡市	0	0	0	0	0	20	770,000	0	0	0	0	20 770,000
富岡市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6,150,000	0
安中市	0	0	0	0	0	11	644,000	0	3	1,009,000	0	0 14 1,653,000
みどり市	0	0	0	0	0	11	550,000	0	0	0	0	11 550,000
榛東村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
吉岡町	0	0	0	0	1	350,000	3	108,000	0	0	0	0 4 458,000
神流町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上野村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下仁田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南牧村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
甘楽町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中之条町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東吾妻町	0	0	0	0	0	2	70,000	0	0	0	0	2 70,000
長野原町	0	0	0	0	1	40,000	0	0	0	0	0	1 40,000
嬬恋村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
草津町	0	0	0	1	450,000	0	0	0	0	0	0	1 450,000
高山村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
片品村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川場村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
みなかみ町	0	0	0	1	100,000	5	240,000	0	0	0	0	6 340,000
昭和村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
玉村町	0	0	0	0	1	12,000	0	1	475,000	0	1	5,498,000 3 5,985,000
板倉町	0	0	0	1	76,000	0	0	0	0	0	1	76,000
明和町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
千代田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大泉町	0	0	0	1	424,000	4	286,000	0	4	2,549,000	0	9 3,259,000
邑楽町	0	0	0	1	86,000	1	30,000	0	0	0	0	2 116,000
合計	0	0	0	51	6,456,000	197	8,632,000	0	0	122 60,407,000	0	6 36,563,000 0 376 112,058,000

3 地域における民生委員・児童委員活動の一層の推進

(1) 民生委員・児童委員活動への支援

地域における見守り、相談支援等を通じ、「安全で安心なまちづくり」に取り組む民生委員・児童委員の活動及び市町村民児協活動の運営を支援した。

ア 活動記録・福祉票の記入についての説明

説明者 群馬県社会福祉協議会 生活支援課 主事 中島 世里奈

民児協	期 日	人 数	会 場
沼田市東部	6月8日（金）	19	沼田市保健福祉センター

(2) 民生委員・児童委員活動を支援するための研修事業の実施

ア 単位民児協会長研修会

期 日 平成30年7月5日（木）～6日（金）

会 場 伊香保温泉 福一

出席者 190名

内 容

- 行政説明「我が事・丸ごとの地域共生社会実現に向けて」

説 明 群馬県健康福祉課 地域福祉係長 橋本 雄一 氏

- 講 義「地域共生社会における民児協のあり方」

講 師 駒澤大学文学部 准教授 川上 富雄 氏

- 講義・演習「個人情報の共有・活用方法と留意点」

講 師 駒澤大学文学部 准教授 川上 富雄 氏

イ 1期目民生委員・児童委員研修会

期 日 平成30年11月1日（木）、2日（金）、8日（木）、9日（金）、
12日（月）、13日（火）、28日（水）、
29日（木）、30日（金） 計9回実施

会 場 群馬県市町村会館 大研修室、JAビル 大ホール

出席者 1,808名

内 容

- パネルディスカッション

パネリスト 県民児協役員・単位民児協会長

- グループワーク

ウ 中堅民生委員・児童委員研修会

期 日 平成30年12月10日（月）午後、11日（火）午前・午後、
12日（水）午前・午後、

平成31年1月24日（木）午後、25日（金）午前・午後

計8回実施

会 場 群馬県市町村会館 大研修室、JAビル 大ホール

出席者 1,179名

内 容

- 講義演習「民生委員の地域福祉活動と後輩民生委員の育成・指導」

講師 K T 福祉研究所 松藤 和生 氏

4 心配ごと相談事業の実施

(1) 心配ごと相談所中央センターの運営

ア 月別相談内容

相談事項 月別	1 生計	2 年金	3 職業 ・ 生業	4 住宅	5 家族	6 結婚	7 離婚	8 健康 ・ 保健 ・ 衛生	9 医療	10 人権 ・ 法律	11 財産	12 事故	13 児童 福祉	14 教育 ・ 青年 福祉	15 障害者 児童 福祉	16 母子 福祉	17 老人 福祉	18 苦情	19 その他	合 計
4月	1				1		1			2									5	
5月				1			1			1	3								6	
6月										1	1								2	
7月	1																		1	
8月											2								2	
9月					2		1			1	1								5	
10月					2	1					1								4	
11月	1						1				1	1						1	5	
12月				1	1						1							1	4	
1月				1	1						3								5	
2月	1										1								2	
3月											1	1						1	3	
計	4	0	0	3	7	1	4	0	0	6	15	1	0	0	0	0	0	3	44	

イ 心配ごと相談所巡回研修状況

No	月 日	市町村	会 場
1	4月 10日	安中市	安中市福祉会館松井田支所
2	9月 5日	沼田市	沼田市保健福祉センター
3	10月 24日	藤岡市	藤岡市総合学習センター
4	10月 31日	前橋市	前橋市総合福祉会館
5	11月 5日	邑楽町	邑楽町役場
6	2月 14日	渋川市	渋川市ほっとプラザ
7	3月 7日	沼田市	沼田市保健福祉センター

5 自立支援に向けての貸付事業の実施（新たな貸付）

（1）ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業の実施

高等職業訓練促進給付金を活用して養成機関に在学し、就職に有利な資格の取得を目指す県内のひとり親家庭の親に対し、自立を促進するため、高等職業訓練促進資金を貸与する。

平成29年度から本格実施となり、借入希望者への事業説明会、面接審査を行った。また、貸付決定者に対する契約締結、貸付金の送金及び返還債務猶予に係わる事務処理等の手続きを、市役所、保健福祉事務所との連携の下で行った。

ア 面接審査の実施

（ア）平成30年度入学準備金 面接審査

期 日 平成30年6月6日（水）～6月8日（金）

イ 貸付実績

（ア）平成30年度 入学準備金 計13件 貸付金額計 5,853,000円

ウ 事業説明会の開催

（ア）平成31年度入学準備金 説明会

期 日 平成31年3月14日（木）

会 場 群馬県社会福祉総合センター 203会議室

出席者 19人

（イ）平成31年度就職準備金 説明会

期 日 平成31年3月14日（木）

会 場 群馬県社会福祉総合センター 203会議室

出席者 9人

（2）児童養護施設退所者等自立支援資金貸付事業の実施

県内の児童養護施設等に入所中又はこれらを退所した者、また里親等に委託中、または委託を解除された者で、就職や大学等への進学をしたが、保護者からの経済的支援を受けられない等の理由により、生活基盤の確保が困難な状況である者に対し、自立を支援するための資金を貸与する。

平成29年度から本格実施となり、貸付申請者及び連帯保証人に対する面接審査を行った。また、貸付決定者に対する契約締結、貸付金の送金及び返還債務猶予に係わる事務処理等の手続き、生活や仕事に関する相談対応を行った。

ア 面接審査の実施

（ア）生活支援費 面接審査

期 日 平成30年6月19日（火）

イ 貸付実績

（ア）生活支援費貸付金

計1件 貸付契約金額 計 1,050,000円

（イ）家賃支援費貸付金

計1件 貸付契約金額 計 820,800円

（ウ）資格取得支援費貸付金

計1件 貸付契約金額 計 140,000円

IV 地域における生活支援体制の強化

1 権利擁護事業の強化

(1) 日常生活自立支援事業の推進

ア ぐんま地域福祉権利擁護センター（日常生活自立支援事業）の推進

本会が実施する認知症高齢者等福祉サービス利用支援事業（いわゆる「日常生活自立支援事業」。以下「事業」という。）の充実を図るとともに利用している者（以下「利用者」という。）が、判断能力の低下等により事業の利用の継続が困難と判断される場合又は、財産侵害や消費者被害等の権利侵害を防止するためには地域の支援体制の強化に努めた。

（ア）日常生活自立支援事業の効果的な運営を図るため、13市町社協へ一部業務委託を行った。

〔委託先社協一覧〕

基幹社協名	対象区域
前橋市社会福祉協議会	前橋市
高崎市社会福祉協議会	高崎市
桐生市社会福祉協議会	桐生市、みどり市
伊勢崎市社会福祉協議会	伊勢崎市、玉村町
太田市社会福祉協議会	太田市
沼田市社会福祉協議会	沼田市、片品村、川場村、昭和村、みなかみ町、
館林市社会福祉協議会	館林市、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町
渋川市社会福祉協議会	渋川市、榛東村、吉岡町
藤岡市社会福祉協議会	藤岡市、神流町、上野村
富岡市社会福祉協議会	富岡市、下仁田町、南牧村、甘楽町
安中市社会福祉協議会	安中市
中之条町社会福祉協議会	中之条町、東吾妻町、高山村
草津町社会福祉協議会	長野原町、嬬恋村、草津町

（イ）利用契約状況

〔基幹社協別一覧〕

基幹社協名	H30 契約 件数	累計 契約 件数	実利用 者数	障害別内訳(累計)		
				認知症 高齢者	知的 障害者	精神 障害者
前橋市社会福祉協議会	37	765	207	536	87	142
高崎市社会福祉協議会	17	449	118	334	46	69
桐生市社会福祉協議会	7	407	89	309	49	49
伊勢崎市社会福祉協議会	13	283	121	126	50	107
太田市社会福祉協議会	17	249	91	126	32	91
沼田市社会福祉協議会	13	155	60	110	24	21
館林市社会福祉協議会	27	243	80	160	42	41
渋川市社会福祉協議会	18	311	95	170	48	93
藤岡市社会福祉協議会	7	148	45	83	18	47
富岡市社会福祉協議会	7	47	25	36	8	3
安中市社会福祉協議会	22	195	76	151	28	16

基幹社協名	H30 契約 件数	累計 契約 件数	実利用 者数	障害別内訳(累計)		
				認知症 高齢者	知的 障害者	精神 障害者
中之条町社会福祉協議会	4	132	22	100	26	6
草津町社会福祉協議会	7	52	27	43	6	3
計	196	3,436	1,056	2,284	464	688

(ウ) 相談事業の概況

日常的な生活支援及び権利侵害救済のため、総合的な相談窓口を設置した。

[相談実績] (13 基幹社協)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
認知症高齢者	837	828	812	817	892	757	
知的障害者	565	520	543	571	490	466	
精神障害者	834	922	877	838	903	765	
その他	102	144	163	128	140	114	
計	2,338	2,414	2,395	2,354	2,425	2,102	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
認知症高齢者	816	783	817	742	680	782	9,563
知的障害者	459	520	592	574	509	505	6,314
精神障害者	1,005	984	944	985	844	791	10,692
その他	110	136	114	123	149	98	1,521
計	2,390	2,423	2,467	2,424	2,182	2,176	28,090

(エ) 利用料助成

住民税非課税世帯及び生活保護世帯の福祉サービス利用支援の機会を確保するため、住民税非課税世帯の者に対する利用料の助成（1時間当たり1,000円の利用料のうち500円の助成）、生活保護世帯の者に対する利用料の助成（1時間当たり1,000円の利用料全額の助成）を実施した。

※非課税世帯への助成金1時間当たり500円の内訳

：県250円、県社協125円、市町村250円

※生活保護世帯への助成金1時間あたり1,000円の内訳

：国1,000円

※非課税世帯への助成は、平成13年度県・市町村補助事業として創設

○平成30年度利用料助成金交付状況（県社協分）

基幹社協名	利用料 助成額	基幹的社協名	利用料 助成額
前橋市社会福祉協議会	2,144,500	渋川市社会福祉協議会	565,250
高崎市社会福祉協議会	968,125	藤岡市社会福祉協議会	415,125
桐生市社会福祉協議会	548,875	富岡市社会福祉協議会	112,500
伊勢崎市社会福祉協議会	1,251,250	安中市社会福祉協議会	285,375
太田市社会福祉協議会	816,000	中之条町社会福祉協議会	36,875
沼田市社会福祉協議会	222,500	草津町社会福祉協議会	89,000

基幹社協名	利用料 助成額	基幹的社協名	利用料 助成額
館林市社会福祉協議会	418,875	合 計	7,874,250

イ 契約締結審査会の開催

(ア) 契約締結審査会委員名簿 ◎委員長 ○副委員長

委員名	資格 (所属・役職名)
◎浅見 隆康	医師 (群馬大学健康支援総合センター 産業医)
○宮下 章	弁護士 (群馬弁護士会)
須藤 友博	医師 (群馬県立精神医療センター第一診療部長)
並木 千年	保健師 (安中保健福祉事務所 技師長)
大矢 和則	社会福祉士 (社会福祉士事務所はあとらんど所長)

(イ) 開催状況

[第1回]

期 日 平成30年4月11日(水)
 会 場 群馬県社会福祉総合センター 202会議室
 出席者 委員4名
 議 題
 ・平成29年度運営状況について
 ・平成30年度事業予定について
 ・その他

[第2回]

期 日 平成30年10月10日(水)
 会 場 群馬県社会福祉総合センター 特別会議室
 出席者 委員5名
 議 題
 ・平成30年度運営状況について
 ・審査案件について
 ・平成30年度事業予定について
 ・未返却預かり現金の取り扱いについて
 ・その他

ウ 専門員連絡会議の開催

(ア) 専門員連絡調整会議

実施状況の説明、各基幹社協における課題の検討や情報交換等を行った。

No.	期日	人数	会場	備考
1	平成30年4月20日(金)	22	701会議室	
2	平成30年5月17日(木)	18	202会議室	
3	平成30年7月20日(金)	18	202会議室	
4	平成30年9月20日(木)	19	501会議室	
5	平成30年11月15日(木)	17	201会議室	
6	平成31年1月17日(木)	17	203会議室	
7	平成31年3月20日(水)	17	501会議室	

(イ) 基幹社協専門員ブロック会議

基幹社協専門員をブロック毎に集め、実務的事項の検討、課題の抽出等を中心とした情報交換を行った。

ブロック	期日	会場	内容等
北・中部	平成 30 年 11 月 30 日 (金)	草津町社会福祉協議会	
	平成 31 年 3 月 1 日 (金)	渋川市社会福祉協議会	
西部	平成 30 年 11 月 16 日 (金)	高崎市社会福祉協議会	ゆうちょ銀行 ・郵便局マニ ュアルの検討
	平成 30 年 12 月 13 日 (木)	高崎市社会福祉協議会	
東部	平成 30 年 12 月 3 日 (月)	太田市社会福祉協議会	

エ 専門員研修会の開催

(ア) 研修委員会の開催

専門員による研修委員会（5名）を設置し、研修会の企画立案を行った。

No.	期日	会場	内容
1	平成 30 年 7 月 20 日 (金)	県社協内	新任研修Ⅱ、事例検討会について
2	平成 30 年 12 月 17 日 (月)	県社協内	事例検討会について

(イ) 専門員新任者研修会

a 専門員新任者研修会 I

期 日 平成 30 年 4 月 9 日 (月)

会 場 群馬県社会福祉総合センター 701 会議室

出席者 基幹社協専門員 14 名、事務局 1 名

内 容

- 概要説明、マニュアル説明

説明者 群馬県社会福祉協議会 生活支援課 主事 蜂須 誠

- 講義「先輩専門員から学ぶ実務①」

講師 渋川市社会福祉協議会 萩原 理文 氏

- 講義「先輩専門員から学ぶ実務②」

講師 高崎市社会福祉協議会 専門員 鈴木 智子 氏
太田市社会福祉協議会 専門員 須永 良一 氏

b 専門員新任者研修会 II

期 日 平成 30 年 10 月 19 日 (金)

会 場 前橋市総合福祉会館 第 3 会議室

出席者 基幹社協専門員 15 名、事務局 1 名

内 容

- 業務マニュアルについて

説明者 群馬県社会福祉協議会 生活支援課 主事 蜂須 誠

- グループワーク

講師 桐生市社会福祉協議会 専門員 吉岡 聰 氏
渋川市社会福祉協議会 専門員 萩原 理文 氏

- 先輩専門員への悩み相談

講師 桐生市社会福祉協議会 専門員 吉岡 聰 氏
渋川市社会福祉協議会 専門員 萩原 理文 氏
安中市社会福祉協議会 専門員 中山 博史 氏

- まとめ

講師 中之条町社会福祉協議会 専門員 田村 尚 氏

(ウ) 専門員等研修会

期 日 平成30年10月1日（月）
会 場 群馬県社会福祉総合センター B01会議室
出席者 基幹社協専門員29名、事務局3名
内 容
・講義1 「精神障害者の理解・特性」
　　講師 群馬県こころの健康センター 主幹 本島 たみ子 氏
・講義2 「精神障害者への具体的な支援の方法・ポイント」
　　「精神障害者へのより良い支援のために心がけること」
　　講師 群馬県こころの健康センター 署託 藤澤 都茂子 氏

(エ) 事例検討会

期 日 平成31年1月23日（水）
会 場 群馬県社会福祉総合センター 203会議室
出席者 基幹社協専門員20名、事務局2名
内 容
・事例検討①、②
・事例検討の振り返り、まとめ
　　講師 中之条町社会福祉協議会 専門員 田村 尚 氏

才 基幹管内事務担当者会議の参加

(ア) 前橋市社協

期 日 平成30年6月29日（金）
会 場 前橋市総合福祉社会館 心配ごと相談所
出席者 12名（本所7、支所4、県社協1）

(イ) 桐生市社協

期 日 平成31年3月19日（火）
会 場 桐生市総合福祉センター 会議室
出席者 6名（桐生市社協3、みどり市社協担当者2、県社協1）

(ウ) 伊勢崎市社協

期 日 平成31年3月12日（火）
会 場 伊勢崎市社会福祉協議会 会議室
出席者 5名（伊勢崎市社協3、玉村町社協1、県社協1）

(エ) 沼田市社協

期 日 平成31年3月8日（金）
会 場 沼田市保健福祉センター 会議室
出席者 10名
(沼田市社協3、片品村社協1、川場村社協1、昭和村社協1、
みなかみ町社協2、県社協2)

(オ) 館林市社協

期 日 平成31年1月9日（水）
会 場 館林市総合福祉センター ふれあい工作室
出席者 18名
(館林市社協6、板倉町社協2、明和町社協2、
千代田町社協2、大泉町社協2、邑楽町社協2、県社協2)

(カ) 渋川市社協

期 日 平成30年11月19日（月）
会 場 渋川市社会福祉協議会子持支所 大会議室
出席者 14名
(渋川市社協8、吉岡町社協2、榛東村社協2、県社協2)

(キ) 藤岡市社協

期 日 平成30年12月5日（水）
会 場 藤岡市総合学習センター 北307会議室
出席者 6名（藤岡市社協2、神流町社協1、上野村社協2、県社協1）

(ク) 富岡市社協

期 日 平成30年7月4日（水）
会 場 富岡市社会福祉協議会 会議室
出席者 7名
(富岡市社協2、下仁田町社協1、甘楽町社協1、
南牧村社協1、県社協2)

(ケ) 吾妻郡（中之条町、草津町合同開催）

期 日 平成30年11月20日（火）
会 場 草津町社会福祉協議会 介護教室
出席者 11名
(中之条町社協2、東吾妻町社協1、高山村社協1、
草津町社協3、長野原町社協1、嬬恋村社協1、県社協2)

力 生活支援員研修会の開催

(ア) 現任生活支援員研修会

生活支援員のうち、実際に援助ケースを有する方並びにケースを持つ予定の方を対象の研修会を3回に分けて実施した。

a 太田会場

期 日 平成30年9月4日（火）
会 場 太田市社会福祉協議会西部支所 大会議室
出席者 75名
内 容

- ・概要報告「日常生活自立支援事業と成年後見制度について」
報告者 群馬県社会福祉協議会 生活支援課 主事 蜂須 誠
- ・事例報告：館林市社会福祉協議会の取り組みから
～高齢者支援から～ 生活支援員 亀山 みち子 氏
～精神障害者支援から～ 生活支援員 原 賢二郎 氏
生活支援員への支援について～ 専門員 石川 千安希 氏
- ・グループトーク
テーマ「生活支援員の活動における課題について」

b 渋川会場

期 日 平成30年9月10日（月）
会 場 渋川市社会福祉協議会子持支所 大会議室
出席者 73名
内 容

- ・概要報告「日常生活自立支援事業と成年後見制度について」
報告者 群馬県社会福祉協議会 生活支援課 主事 蜂須 誠
- ・事例報告：草津町社会福祉協議会の取り組みから
～高齢者支援から（1）～ 生活支援員 黒岩 ますみ 氏
～高齢者支援から（2）～ 生活支援員 山本 麗江 氏
生活支援員への支援について～ 専門員 佐藤 知恵子 氏
- ・グループトーク
テーマ「生活支援員の活動における課題について」

c 高崎会場

期 日 平成30年9月21日（金）
会 場 高崎市市民活動センターソシアス 第1・2活動室

出席者 77名

内 容

- ・概要報告「日常生活自立支援事業と成年後見制度について」
　　報告者 群馬県社会福祉協議会 生活支援課 主事 蜂須 誠
- ・事例報告：安中市社会福祉協議会の取り組みから
　～高齢者支援から（1）～ 生活支援員 須藤 稔 氏
　～高齢者支援から（2）～ 生活支援員 中山 伸子 氏
　　生活支援員への支援について～ 専門員 大塚 美穂 氏
- ・グループトーク
　　テーマ「生活支援員の活動における課題について」

キ 全社協、関ブロ、北関東担当者会議等への参加

(ア) 平成30年度都道府県・指定都市社会福祉協議会日常生活自立支援事業所長会議

期 日 平成30年5月30日（水）

会 場 全国社会福祉協議会 第3～5会議室

出席者 2名

内 容 行政説明、基調説明、グループ討議

(イ) 平成30年度北関東三県等社協 日常生活自立支援事業担当者会議

期 日 平成30年7月27日（金）

会 場 栃木県社会福祉協議会 とちぎ福祉プラザ 会議室

出席者 2名

内 容 各県の実施状況の報告、質疑・応答、情報交換等

(ウ) 平成30年度関東甲信越静プロック都県社協成年後見担当職員連絡会議

期 日 平成30年10月30日（火）

会 場 全国社会福祉協議会 会議室

出席者 2名

内 容 各県の実施状況の報告、質疑・応答、情報交換等

ク 事業実施体制の検討

全市町村型移行検討会を設置し、事業実施体制の検討を行った。

検討会構成社協（11ヶ所）

基幹社協（5ヶ所）	前橋市社協、沼田市社協、館林市社協、中之条町社協、草津町社協
一般社協（4ヶ所）	下仁田町社協、川場村社協、玉村町社協、大泉町社協
県・県社協	

[第1回]

期 日 平成30年8月29日（水）

会 場 群馬県社会福祉総合センター 特別会議室

出席者 15名（市町村社協10、県2、県社協3）

内 容

- ・趣旨説明
- ・スケジュール（案）説明
- ・事例報告「一般社協からの基幹化について」
　　説明者 草津町社会福祉協議会 主事 佐藤 知恵子
- ・意見交換「基幹社協及び一般社協の抱える課題」

[第2回]

期 日 平成30年11月27日（火）

会 場 群馬県社会福祉総合センター 特別会議室

出席者 13名（市町村社協9、県1、県社協3）

内 容

- ・意見交換
 - 工程表（案）について、委託料（案）について
 - ・その他

[第3回]

期 日 平成31年1月31日（木）

会 場 群馬県社会福祉総合センター 特別会議室

出席者 13名（市町村社協9、県1、県社協3）

内 容

- ・意見交換
 - 工程表（案）について、委託料（案）について
 - ・その他

（2）成年後見制度との連携

ア 成年後見制度に関する実態把握調査の実施

県内における成年後見制度のニーズ、関係機関の取り組み状況及び現在の制度利用状況の把握をするため、県と共同で調査を行った。

(ア) 内 容

a 制度利用に対するニーズ把握を目的とした調査

（a）社会福祉施設・事業所等における成年後見制度に関する実態把握調査
対象：県内の高齢関係施設・事業所、障害者関係施設・事業所、
地域包括支援センター、精神科病院、救護施設

（計1, 757ヶ所）

回答数：917（回答率52.2%）

（b）日常生活自立支援事業利用者における成年後見制度への要移行状況調査
対象：県内の日常生活自立支援事業における基幹的社会福祉協議会
(13ヶ所)

回答数：13

b 制度に関する関係機関の取り組み状況把握を目的とした調査

（a）専門職後見人の活動状況に関する調査
対象：群馬弁護士会、群馬司法書士会、群馬県社会福祉士会
回答数：3

（b）社会福祉協議会における法人後見実施状況調査

対象：県内の市町村社会福祉協議会（35ヶ所）

回答数：35

（c）成年後見制度利用支援事業等実施状況調査

対象：県内の市町村（35ヶ所）

回答数：35

（d）制度の利用状況把握を目的とした調査

- ・成年後見事件に関する実態把握調査

対象：前橋家庭裁判所

回答数：1

イ 市町村社協における法人後見専門員養成研修会の開催

[第1日目]

期 日 平成30年7月3日（火）

会 場 群馬県社会福祉総合センター 701会議室

出席者 17名

内 容

	研修テーマ	科目	講師
開講式・オリエンテーション			
I 成年後見制度の基礎	成年後見制度概論		群馬弁護士会 高齢者・障害者支援センター 委員長 板橋 俊幸 氏
	成年後見制度各論 I 法定後見制度		
	成年後見制度各論 II 任意後見制度		
	成年後見制度と市町村責任		

[第2日目]

期 日 平成30年7月11日（水）
 会 場 (AM) 群馬県社会福祉総合センター 501会議室
 (PM) 前橋家庭裁判所
 出席者 13名
 内 容

	研修テーマ	科目	講師
II 成年後見の実務①～⑥	成年後見の実務①	申立手続書類の作成	前橋家庭裁判所 訟廷事件係長 富澤 英美子 氏 書記官 高橋 和司 氏
	成年後見の実務②	財産目録の作成	
	成年後見の実務③	後見計画・収支予定の作成	
	成年後見の実務④	報告書の作成	
	成年後見の実務⑤	報酬付与申立の実務	
	成年後見の実務⑥	後見事務終了時の手続き 死後事務	
III 家庭裁判所の役割	家庭裁判所見学 家庭裁判所の実際	前橋家庭裁判所 主任書記官 三友 哲也氏	

[第3日目]

期 日 平成30年7月23日（月）
 会 場 群馬県社会福祉総合センター 201会議室
 出席者 13名
 内 容

	研修テーマ	科目	講師
IV 民法の基礎	家族法		小渕弁護士事務所 弁護士 小渕 喜代治 氏
	財産法		
V 成年後見の実務⑦	社会福祉協議会における法人後見マニュアルについて		

[第4日目]

期 日 平成30年7月30日（月）
 会 場 群馬県社会福祉総合センター 501会議室
 出席者 14名
 内 容

	研修テーマ	科目	講師
VI 成年後見人実践報告	成年後見人の取組	社会福祉士 大矢 和則氏 (はあとらんど 所長)	
VII 法人後見の実践報告	法人後見実践社協の取組	鶴ヶ島市社会福祉協議会 事務局次長 菊本 圭一氏	
まとめ・閉講式			

ウ 成年後見制度利用促進に向けた市町村研修会

期 日 平成30年9月3日（月）

会 場 群馬県社会福祉総合センター 大ホール

出席者 139名

（家裁7、専門職団体26、市町村行政67、市町村社協25、
NPO法人4、群馬県6、県社協4）

内 容

- ・講義「成年後見制度の基礎」

　　講師：前橋家庭裁判所 主任書記官 金子 恵 氏

- ・報告・提案

「成年後見制度に関する調査結果報告と今後の取り組みについての提案」

　　説明者：群馬県健康福祉課地域福祉推進室 主事 梅村 薫 氏

　　群馬県社会福祉協議会生活支援課 主事 蜂須 誠

- ・講演「成年後見制度利用促進に向けて」

　　講師：中央大学教授・一般社団法人日本成年後見法学会理事長

　　新井 誠 氏

- ・実践報告

「成年後見支援センター設置と体制整備に向けた取り組み」

　　講師：愛知県豊田市福祉部福祉総合相談課 主査 安藤 亨 氏

「成年後見センター立ち上げに向けた広域的な取り組み」

　　講師：長野県伊那市社会福祉協議会 上伊那成年後見センター

　　所長 矢澤 秀樹 氏

- ・説明「成年後見制度利用促進に向けた市町村の体制整備」

　　講師：厚生労働省社会・援護局地域福祉課成年後見制度利用促進室

　　室長補佐 栗原 拓也 氏

エ 成年後見制度利用促進事業の実施

（ア）成年後見制度利用促進に向けた地域別検討会

県内5地区において、市町村行政、市町村社協、専門職団体、家裁、県、県社協による成年後見制度利用促進に向けた地域別検討会を設置し、検討を行った。

内 容 ※内容は全回共通

- ・説明①「成年後見制度利用促進に向けた群馬県内の今後の進め方について」

　　説明者：群馬県健康福祉課 主幹 大澤 仁 氏

- ・説明②「成年後見制度に関する実態把握調査について」

　　説明者：群馬県社会福祉協議会生活支援課 主事 蜂須 誠

- ・情報交換「各市町村における成年後見制度利用促進に向けた取り組みについて」

a 中部ブロック

期 日 平成30年10月16日（火）

会 場 群馬県庁 294会議室

出席者 44名

（市町村行政13、市町村社協8、専門職団体12、家裁3、
県5、県社協3）

b 西部ブロック

期 日 平成30年10月24日（水）

会 場 高崎市総合保健センター 第4会議室

出席者 46名

（市町村行政17、市町村社協7、専門職団体12、家裁3、

県4、県社協3)

c 東部ブロック

期日 平成30年10月29日(月)
会場 太田市福祉会館 大会議室
出席者 45名
(市町村行政17、市町村社協7、専門職団体11、家裁4、
県3、県社協3)

d 吾妻ブロック

期日 平成30年11月6日(火)
会場 中之条町役場 大会議室
出席者 35名
(市町村行政11、市町村社協7、専門職団体9、家裁3、
県3、県社協2)

e 利根沼田ブロック

期日 平成30年11月7日(水)
会場 沼田市白沢創作館 研修室
出席者 31名
(市町村行政7、市町村社協7、専門職団体11、家裁2、
県1、県社協3)

(イ) 成年後見制度利用促進に向けた検討会

市町村行政、専門職団体、家裁、県、県社協による成年後見制度利用促進に
向けた検討会を開催した。

期日 平成31年3月6日(水)
会場 男女共同参画センター 大研修室
出席者 84名
(市町村行政56、専門職団体13、家裁7、県5、県社協3)

内 容

- ・説明①「診断書の改訂と本人情報シートについて」
説明者：前橋家庭裁判所 主任書記官 金子 恵 氏
- ・説明②「市町村における成年後見制度利用促進の取り組みについて」
説明者：群馬県健康福祉課地域福祉推進室 主幹 大澤 仁
- ・情報交換「各市町村で地域連携ネットワークをどのように整備するか」

オ 成年後見制度普及啓発セミナーの開催

成年後見制度の利用促進を図るため、県内2地域においてセミナーを開催した。

(ア) 渋川会場

期日 平成31年2月12日(火)
会場 渋川市子持社会体育館 サブアリーナ
出席者 300名

内 容

- ・成年後見落語「後見爺さん」 落語家 桂 ひな太郎 氏
- ・座談会
 - 司会：落語家 桂 ひな太郎 氏
 - 登壇者：弁護士 倉崎 淳一 氏
 - 社会福祉士 山崎 孝 氏

※セミナー終了後に個別相談会を実施

(イ) 伊勢崎会場

期日 平成31年2月14日(木)
会場 伊勢崎市民プラザ 多目的ホール
出席者 326名

内 容

- ・成年後見落語「後見爺さん」 落語家 桂 ひな太郎 氏
- ・座談会

司 会：落語家 桂 ひな太郎 氏

登壇者：弁護士 板橋 俊幸 氏

社会福祉士 内山 恵子 氏

※セミナー終了後に個別相談会を実施

カ 成年後見関係団体連絡会議の開催

期 日 平成30年12月19日（水）

会 場 群馬県市町村会館 502研修室

出席者 21名

（前橋家裁5、群馬弁護士会3、リーガルサポート群馬3、
ばあとなあ群馬3、群馬県4、事務局3）

内 容

- ・情報交換

「成年後見制度利用促進に向けた地域別検討会について」

「県内の権利擁護、成年後見制度の利用促進体制の構築について」

キ 平成30年度市町村社会福祉協議会成年後見推進事業

今後、法人後見を推進していくための基盤整備を行う予定の市町村社協に対して、1カ所あたり10万円の助成金を交付した。

助成社協 3ヶ所

館林市社会福祉協議会、安中市社会福祉協議会、中之条町社会福祉協議会

（3）関係機関・団体との連携と啓発

ア 関係機関連絡会議の開催

期 日 平成31年1月17日（木）

会 場 群馬県社会福祉総合センター 203会議室

出席者 45名

（関係機関・団体関係者28、基幹社協専門員13、事務局4）

内 容

- ・日常生活自立支援事業の事業概要及び実施状況について
- ・事業運営における情報交換
- ・事業課題についてのご意見・ご要望等

イ 金融機関情報交換会の開催

県内金融機関の担当者を集めて、日常生活自立支援事業における課題の検討や情報交換を行った。

期 日 平成31年2月27日（水）

会 場 群馬県社会福祉総合センター 501会議室

出席者 10名（金融機関担当者8、事務局2）

内 容

- ・事業概要及び実施状況について
- ・事例紹介
- ・事業運営における情報交換、事業課題についてのご意見・ご要望等

ウ 運営監視部会への協力

県内4（前橋、桐生、伊勢崎、富岡）基幹社協訪問調査の実施に伴う連絡調整を行った。

V 福祉人材の充実と定着支援の強化

1 福祉人材確保の安定化・定着化

(1) 群馬県福祉マンパワーセンターの管理・運営

ア 県福祉マンパワーセンター運営委員会の開催

(ア) 運営委員会の開催

期 日 平成31年2月7日(木)

会 場 群馬県社会福祉総合センター B01会議室

出席者 20名(委員14名・県社協6名)

NO	区分	氏 名	所 属 ・ 役 職 名
1	学識経験者	◎久田信行	群馬医療福祉大学社会福祉学部特任教授
2	需 要 者	信澤 真由美	群馬県老人福祉施設協議会副会長(高齢福祉部会)
3	需 要 者	佐藤 憲秀	群馬県社会福祉協議会 子ども福祉部会長
4	需 要 者	中塚 美子	群馬県社会福祉協議会 障害福祉部会副部会長
5	需 要 者	中島 穂穂	群馬県知的障害者福祉協会会长
6	需 要 者	小暮 明彦	群馬県精神障害者社会復帰協議会理事長
7	需 要 者	恩田 初男	群馬県地域密着型サービス連絡協議会会长
8	需 要 者	井田 泉	群馬県社会福祉法人経営者協議会理事
9	需 要 者	松橋 亮	群馬県市町村社会福祉協議会会长
10	従 事 者	高田 裕史	群馬県福祉施設従事者会会长
11	従 事 者	山田 剛	群馬県内社協職員連絡協議会会长
12	職 能 団 体	新木 恵一	群馬県社会福祉士会会长
13	職 能 団 体	小池 昭雅	群馬県介護福祉士会会长
14	職 能 团 体	大澤 誠	群馬県介護支援専門員協会会长
15	供 給 者	○鈴木 利定	群馬県介護福祉士養成校協議会会长
16	供 給 者	石井 學	育英短期大学学長
17	群馬労働局	吉田 修一郎	群馬労働局職業安定部職業対策課長
18	関 係 団 体	矢嶋 美恵子	群馬県看護協会専務理事
19	関 係 团 体	上野 晴二	介護労働安定センターワーク支所長
20	群 馬 県	武藤 幸夫	群馬県健康福祉部健康福祉課長
21	群 馬 県	島田 和之	群馬県健康福祉部介護高齢課介護人材確保対策室長
22	群 馬 県	村山 義久	群馬県教育委員会高校教育課長
23	市 町 村	高田 剛志	太田市福祉こども部社会支援課長(県市長会)
24	市 町 村	佐藤 好美	昭和村保健福祉課長(県町村会)

◎：委員長 ○：副委員長

内 容

- 平成30年度事業実施状況報告について
- 平成31年度群馬県福祉マンパワーセンター事業方針について
- キャリアパス対応生涯研修課程への移行について

イ 高崎市・太田市福祉人材バンクとの連携強化

(ア) 連絡会議開催状況

	期 日	会 場	内 容	出席者
第1回	平成30年5月18日(金)	群馬県社会福祉総合センター203B会議室	・平成29年度事業報告について ・平成30年度事業計画について ・介護福祉士修学資金等貸付事業運営要領の一部改正について ・認証評価の求人票への記載方法について ・その他	9名
第2回	平成30年12月11日(火)	群馬県社会福祉総合センター202会議室	・平成30年度事業進捗について ・平成30年度関東ブロック会議協議内容について ・その他	9名
第3回	平成31年3月15日(金)	群馬県社会福祉総合センター602研修室	・平成30年度事業進捗について ・平成31年度以降の事業について ・その他	7名

(イ) 大学、短大、専門学校等への出張説明会

県内の専門学校・大学・介護職員養成研修実施機関等に出向き、最近の求人・求職の動向や施設の状況・就職者の意識・勤務状況等福祉職場の内容を説明し、学校や生徒、受講者に就職に対する認識を新たにしていただき、福祉従事者の確保に努めた。

福祉人材センター・バンク	期 日	会 場	人 数
群馬県福祉マンパワーセンター	平成30年5月8日(火)	群馬医療福祉大学 社会福祉学部 子ども専攻	29名
	平成30年5月8日(火)	群馬医療福祉大学 社会福祉学部 社会福祉専攻	55名
	平成30年5月15日(火)	群馬医療福祉大学短期大学部 医療事務・秘書コース	14名
	平成30年5月16日(水)	群馬医療福祉大学短期大学部 介護福祉士コース	11名
	平成30年5月23日(水)	群馬パース大学福祉専門学校 保育学科	19名
	平成30年6月27日(水)	介護労働安定センター	30名
	平成30年9月5日(水)	群馬社会福祉専門学校 介護福祉専攻科	21名
	平成30年12月19日(水)	さくらカルチャー渋川校 初任者研修受講生	19名
	平成31年2月21日(木)	学校法人大原学園	14名

福祉人材センター・バンク	期　日	会　場	人数
高崎市 福祉人材 バンク	平成30年6月21日（木）	認定NPO法人じゃんけんぽん 初任者研修受講生	4名
	平成30年8月2日（木）	ケアサポートセンターようざん 初任者研修受講生	19名
	平成30年11月8日（木）	群馬県立安中総合学園高等学校	1名
	平成30年11月8日（木）	群馬県立吉井高等学校	1名
	平成30年11月9日（金）	認定NPO法人じゃんけんぽん 初任者研修受講生	9名
	平成30年11月13日（火）	グランツようざん 介護未経験者等講習支援事業	4名
	平成30年11月19日（月）	群馬県立万場高校	1名
	平成30年12月21日（金）	群馬県立藤岡北高等学校	1名
	平成31年2月8日（金）	グランツようざん 初任者研修受講生	11名
	平成31年3月8日（金）	ケアピース 介護事務研修受講生	8名
太田市 福祉人材 バンク	平成31年3月26日（火）	認定NPO法人じゃんけんぽん 初任者研修受講生	8名
	平成30年6月5日（火）	大泉保育福祉専門学校	1名
	平成30年6月5日（火）	太田医療技術専門学校	1名
	平成30年6月5日（火）	さくらカルチャーセンター	1名
	平成30年12月12日（水）	プライマリー 介護職員初任者養成校	1名
	平成31年2月19日（火）	太田市勤労会館 (定住外国人等の日本語研修)	13名

(ウ) 他機関が実施する就職面接会等への協力

他の機関が実施する就職面接会へ出席し、介護・福祉分野の就職に関する相談コーナーの相談員として求職者の相談に対応し、福祉従事者の確保に努めた。

福祉人材 センター・ バンク	名　称	主　催	期　日	会　場	人数（登 録人数）
群馬県 福祉 マンパワー センター	東京福祉大学 学内合同就職 面接会	東京福祉大学	平成30年 7月14日（土）	東京福祉大学 伊勢崎 キャンパス	9名 (2名)

福祉人材センター・バンク	名 称	主 催	期 日	会 場	人数（登録人数）
群馬県福祉マンパワーセンター	ふくしの仕事合同面接会・説明会	渋川市社会福祉法人連絡会	平成30年9月15日（土）	渋川ほっとプラザ	1名（0名）
	介護と福祉のおしごと就職相談会	上毛新聞社	平成30年9月28日（金）	ビエント高崎	8名（4名）
	介護と福祉のおしごと就職相談会	上毛新聞社	平成30年12月1日（土）	上毛新聞社本社	8名（3名）
	介護と福祉のおしごと就職相談会	上毛新聞社	平成31年2月2日（土）	ビエント高崎	8名（8名）
高崎市福祉人材バンク	事業所見学会	ハローワーク安中	平成31年1月24日（木）	小規模多機能ホームごうばら	3名（0名）
	ハローワーク高崎マザーズ就職面接会	ハローワーク高崎マザーズ	平成31年2月22日（金）	高崎市総合保健センター	4名（0名）
太田市福祉人材バンク	太田市保育園連絡協議会就職説明会	太田市保育園連絡協議会	平成30年7月22日（日）	ティアラグリーンパレス太田	1名（0名）
	おおた子育て支援就職面接会2019	群馬県太田市ハローワーク太田	平成31年2月8日（金）	マリエール太田	1名（1名）

（2）次代の福祉人材の育成と福祉・介護分野のイメージアップ

ア 福祉の仕事・魅力発見セミナー専門員派遣事業の実施

小・中・高校生のうちから福祉分野の魅力を知ることで、関心を高め、将来的に職業として進路選択に繋げ、福祉分野を支える人材の裾野を広げることを目的とし、専門員を小・中・高校の授業に派遣した。

期 日	会 場	出席者数
平成30年8月10日（金）	館林市総合福祉センター	10名
平成30年11月14日（水）	千代田町立千代田中学校	99名
平成31年2月1日（金）	館林市立第一中学校	165名

イ 高校生のための福祉セミナーの開催

福祉課程を有する県内高等学校の生徒を対象に、福祉職への理解を深めるとともにイメージアップを図ることを目的とし、出前型講座形式で実施した。

（ア）期 日：平成31年1月15日（火）

会 場：県立安中総合学園高等学校 生活文化系列福祉系（1年生）

出席者：14名
(イ) 期日：平成31年3月4日（月）
会場：県立藤岡北高等学校 園芸福祉コース（2年生）
出席者：17名

ウ 福祉・介護の職場見学バスツアーの開催

福祉・介護分野への就職希望者や福祉の仕事に关心のある方を対象に、実際に福祉施設や事業所を見学して、現場の雰囲気を知ることで福祉の仕事への理解を深めてもらう事を目的にバスツアーを開催した。

期日：平成30年12月5日（水）
会場：社会福祉法人すてっぷ
社会福祉法人視覚障害者福祉会
出席者：10名

エ 福祉従事者養成校に対する情報提供

福祉従事者養成校の就職指導担当者との情報交換会を開催することにより、養成校と県福祉マンパワーセンター相互の理解を深め、今後の人材確保に資するため就職指導担当者情報交換会を開催した。

期日：平成30年6月27日（水）
会場：県社会福祉総合センター B01会議室
出席者：25名
内容：

- ・群馬県福祉マンパワーセンターの活用について
- ・介護福祉士等修学資金貸付制度の一部変更について
- ・各養成校就職状況等について
- ・意見交換

オ あらゆる媒体を介した積極的な広報活動の展開し、介護職のイメージアップを図るとともに、県福祉マンパワーセンターを広く一般県民に周知した。

(ア) 上毛新聞「テレナイン」における広告掲載
(イ) 「施設で過ごすお年寄りの生活」フォト作品展：PR用ティッシュ配布

主催：群馬県老人福祉施設協議会
(a) 期日：平成30年8月4日（土）
会場：ジョイフル本田 新田店
利用者：約2,400名
(b) 期日：平成30年9月17日（月）
会場：イオンモール高崎
利用者：約2,600名

(ウ) 「ぐんま介護フェス2018」：求職者への相談対応。
主催：群馬県

(a) 期日：平成30年11月10日（土）
会場：けやきウォーク前橋
利用者：約1,300名

[高崎市人材バンク]

「第18回福祉ふれあいまつり2018」：求職者への相談対応。

主催：安中市社会福祉協議会
期日：平成30年9月16日（日）
会場：安中市スポーツセンター

「第32回高崎ふれあいの広場」：求職者への相談対応。

主催：高崎市社会福祉協議会
期日：平成30年10月27日（土）

会 場：もてなし広場（高崎市）
「フクシアツソ」：求職者への相談対応。
主 催：群馬県老人福祉施設協議会西毛ブロック
期 日：平成30年11月3日（土）
会 場：ヤマダ電機 LABI1 高崎イベントホール

（3）福祉人材無料職業紹介所の利用促進

ア 福祉人材無料職業紹介所の運営

福祉人材センター・バンク	群馬県 福祉マンパワー センター	高崎市 福祉人材バンク	太田市 福祉人材バンク	合 計
新規求人・件数	3, 068人 1, 621件	4, 423人 2, 141件	1, 787人 909件	9, 278人 4, 671件
新規求職	968人	596人	284人	1, 848人
紹介数	104件	150件	23件	277件
応募数	7件	13件	0件	20件
採用数	63件 (COOL システム以外 10件)	87件 (COOL システム以外 8件)	21件 (COOL システム以外 1件)	171件 (COOL システム以外 19件)
求人・求職相談件数	求人相談 1, 544件 求職相談 1, 374件	求人相談 1, 086件 求職相談 1, 368件	求人相談 616件 求職相談 497件	求人相談 3, 246件 求職相談 3, 239件
求職者窓口利用状況	563人	631人	188人	1, 382人

注 1) 紹介数：センター・バンクが求人事業所に対し紹介した求職者数

応募者数：求職者がシステムを通して受け取った応募用紙の件数と、モバイル版で応募ボタンが押された回数の合計

イ インターネット職業紹介システム（COOLシステム）の効果的運用

（ア）内 容

全国で統一のプログラムを開発し、現在47都道府県及び支所としている福祉人材バンクで活用している。

（イ）COOLシステム内容

- a 開発業者：ディーアイエスソリューション株式会社
- b 所 有 権：各都道府県センター及び中央センターの共同所有
中央センターが一括管理

（ウ）COOLシステム管理

中央福祉人材センターがサーバを管理し、インターネット回線を使い各都道府県センターが情報を管理する。

（エ）インターネット職業紹介システムの運用

インターネットによる全国統一の職業紹介システムを運用している。平成29年度4月からシステム改修に伴い、求人の受付・修正・抹消の申請に加えて、求職者もパソコンやスマートフォンから登録が可能となった。求人事

業所・求職者に対する迅速な対応が可能。

(4) 福祉人材の確保・育成・定着対策の充実・強化

ア 福祉人材確保相談事業の実施

社会福祉事業経営者に対して、社会福祉法の基本指針に基づく人材確保相談事業を実施し、福祉人材の確保に役立てた。

項目	実績	
相談件数 (内訳)	3,246件 ・来所相談 279件 ・郵送相談 330件 ・メール相談 61件	・電話相談 2,041件 ・FAX相談 535件 ・職場説明会 0件

(ア) 求人開拓

施設を訪問し、求人開拓を行う

求人開拓内容 求人実績がない事業所を中心に、求人開拓を行った。

128 施設訪問 (専門相談員による就業支援事業66件+マッチング支援事業62件)

イ 「離職した介護福祉士の届出制度」の周知

(ア) 内容

社会福祉法等の一部を改正する法律（平成28年法律第21号）が平成29年4月に施行された。これにより、介護福祉士が離職した場合、社会福祉事業等に従事しなくなった場合、または介護福祉士の登録を受けた後、社会福祉事業等に直ちに従事する見込みがない場合は、都道府県福祉人材センターに届け出るよう努めなければならないこととなっている。そのため制度の周知に取り組んだ。

(イ) 登録者数

120名

(ウ) 周知方法

求職登録者への広報

就職面接会等での広報

インターネットホームページ上への掲載

ウ 専門相談員による就業支援事業の実施

(ア) 特別養護老人ホーム等における介護職員及び看護職員の確保対策の一環として専門相談員の配置など求人開拓業務を実施した。

項目	実績(延べ数)	内訳(延べ数)
a. 専門相談員による特別養護老人ホームを中心とした求人・求職開拓の実施	(a) 求人先開拓 66件	特養等訪問 66件
	(b) 求職者開拓 8件	養成校訪問 3件 高校訪問 3件 初任者研修実施事業所訪問 2件
	(c) 新規就労支援に向けた活動 30件	就職面接会出席 17件 相談面談回数 13件

項目	実績（延べ数）	内訳（延べ数）
b. 関係先機関訪問 ・協議	58件	ハローワーク等 12件 福祉人材バンク 24件 介護人材確保対策室 22件 老施協 0件
c. ホームページ の更新	(a) 介護職員等 P R サイト (ホームページ開設及び運営)	13回更新

エ 福祉ハートフルフェアの開催

福祉施設等との就職面接会をとおして、福祉関係への就職を希望する学生や一般の方々に対して福祉職場への就職を促進した。

(共催) 群馬労働局、ハローワーク、群馬県、介護労働安定センタ一群馬支所
 (ア) 期　　日：平成30年7月7日（土）
 会　　場：ヤマダグリーンドーム前橋
 参加対象：福祉の職場に就職を希望する一般県民
 出席者：101名（採用内定者14名）
 内　　容
 • 就職面接会
 参加事業所 92法人 221事業所
 • 就職相談コーナー

オ 地区別ミニ就職面接会の開催

福祉関係への就職を希望する学生や一般の方々に対して、福祉施設等との就職面接会をとおして福祉職場への就職を促進した。また、効果的なマッチングを図るために地区別に就職面接会を開催した。

主 催	名 称	期 日	会 場	出席法人	出席者
群馬県 福祉マン パワーセ ンター	地区別ミニ就職 面接会（中毛会 場）	平成30年 10月28日（日）	前橋市総合福 祉会館	22法人	12名
	地区別ミニ就職 面接会（北毛会 場）	平成30年 11月29日（木）	渋川市子育て 総合支援セン ター	11法人	20名
高崎市 福祉人材 バンク	夕方からの就職 面接会 in たかさ き	平成30年 6月13日（水）	高崎市労使会 館	22法人	26名
	夕方からの就職 面接会 in たかさ き	平成30年 10月16日（火）	高崎市労使会 館	18法人	12名

主 催	名 称	期 日	会 場	出席法人	出席者
太田市 福祉人材 バンク	地区別ミニ就職 面接会（太田）	平成30年 7月28日（土）	太田市社会教 育総合センタ ー	15法人	24名
	地区別ミニ就職 面接会（桐生）	平成30年 12月1日（土）	桐生市総合福 祉センター	15法人	20名

カ 福祉の就職ガイダンスの開催

求職登録者等で、なかなか就職に結びつかない方や介護職等の未経験者を対象にガイダンスを実施することにより円滑な就職活動を支援した。

主催	内 容	期 日	会 場	出席者
群馬県福祉 マンパワー センター	実践に役立つ就活 準備と面接時のコ ミュニケーション ～自分を知り、働く 事業所を知ろう～	平成30年 10月15日（月）	群馬県社会福祉総 合センター	10名
高崎市福祉 人材バンク	福祉現場が求める 人材とは	平成30年 7月24日（火）	高崎市労使会館	19名
	高齢者介護体験 ～あなたの一步が 地域に役立つ～	平成30年 11月14日（水）	高崎市労使会館	13名
	「介護の仕事を はじめません か！」～働く前 に労働法につい て考えよう！～	平成31年 3月8日（金）	高崎市労使会館	10名
太田市福祉 人材バンク	「福祉の現場で求 められる人材と 心構え」	平成30年 10月12日（金）	太田市福祉会館	11名
	「福祉の現場で求 められる人材と 心構え」 「現場での出来 事、感じたこと」	平成31年 2月18日（月）	太田市福祉会館	14名

キ 出張相談会の実施

福祉・介護人材マッチング機能強化事業と連携し、県内ハローワーク等において福祉・介護分野に就職を希望する求職者に対し、相談会を実施した。

主 催	会 場	相談日	相談件数 (延べ数)
群馬県福祉 マンパワー センター	ハローワーク渋川	毎月第3水曜日	12件
	ハローワーク中之条	毎月第4月曜日	9件
	ハローワーク沼田	毎月第1火曜日	11件
	職業支援センターいせさき	毎月第4木曜日	12件
	伊勢崎市社会福祉協議会境支所	奇数月第4金曜日	6件
高崎市福祉 人材バンク	ハローワーク藤岡	毎月第4火曜日	12件
	ハローワーク安中	毎月第3火曜日	12件
	ハローワーク富岡	毎月第4水曜日	12件
太田市福祉 人材バンク	ハローワーク桐生	毎月第2水曜日	10件
	ハローワーク館林	毎月第3火曜日	12件

ク 福祉・介護人材定着支援セミナーの開催

福祉・介護分野の人材確保は、引き続き喫緊の課題となっている。施設・事業所と求職者との直接面談の場である「福祉ハートフルフェア2018」には大きな期待が寄せられています。

そこで、セミナーでは、本フェアを通して優秀な人材を1人でも多く確保するとともに定着支援を推進するため、各施設・事業所が職場の魅力や特徴を最大限に表現し理解をしていただくためのブースの作り方や、福祉・介護分野が取り組むべき採用活動のポイント等について学ぶことを目的に開催した。

- (ア) 期 日 平成30年5月30日（水）
 会 場 群馬県市町村会館 大研修室
 出席者 115名
 内 容
 　・講義「職員採用活動から始まる定着支援」
 　　講師 らしさ研究所 代表 門野 友彦 氏

ケ 福祉のお仕事「就活応援セミナー」の実施

社会福祉施設等への就職を希望される者及び平成31年3月末の大学・専門学校等の卒業予定者を対象として、自分に合う職場の見つけ方と福祉職場の理解を一層深めていただくとともに、就職活動の支援に資することを目的に開催した。

- (ア) 期 日 平成30年7月7日（土）
 会 場 ヤマダグリーンドーム前橋 104会議室
 出席者 32名
 内 容
 　・第1部（講演）
 　　テーマ 「自分に合う職場の見つけ方」
 　　講 師 らしさ研究所 代表 門野 友彦 氏

・第2部（トークセッション）
 テーマ 「この仕事を選んだきっかけと魅力」
 話し手 ○高齢者分野
 　　社会福祉法人梅田福祉会 特別養護老人ホームきざきの郷
 　　津田 翔多 氏
 ○障害者分野
 　　社会福祉法人赤城会 障害者支援施設しきしま
 　　角田 裕一 氏
 進行 ○らしさ研究所 代表 門野 友彦 氏

コ 求職者に対する情報提供

(ア) 「福祉マンパワーニュース」紙面等を利用して、求人情報、各種イベント情報を探して、6回発行、1回当たり発行部数 約630部

サ インターネットホームページの積極的活用

群馬県社会福祉協議会ホームページ上に、新規求人情報を掲載し、求職者並びに一般県民に対して情報を提供した。

また併せて、県福祉マンパワーセンター・福祉人材バンクをPRするとともに、実施する各種事業の紹介を行った。

(ア) 内容

- ・名称 新規求人情報
- ・掲載日 毎月20日前後

シ 福祉・介護人材マッチング機能強化事業の実施・施設見学会の開催、ミニ就職説明会の開催

福祉・介護分野での質の高い人材を確保するため、福祉・介護に関する専門知識をもつキャリア支援専門員を配置し、個々の求職者にふさわしい職場を開拓するとともに働きやすい職場づくりに向けた指導・助言を行い、円滑な就労・定着を図った。

(ア) 福祉・介護人材マッチング機能強化事業の実施状況

a キャリア支援専門員による施設・事業所への訪問実施

福祉人材センター・バンク	施設・事業所(延べ数)	内訳(延べ数)
群馬県福祉マンパワーセンター	89施設・事業所	高齢者関係分野 64施設・事業所
		障害関係分野 20施設・事業所
		児童関係分野 5施設・事業所
高崎市福祉人材バンク	125施設・事業所	高齢者関係分野 123施設・事業所
		障害関係分野 2施設・事業所
		児童関係分野 0施設・事業所
太田市福祉人材バンク	27施設・事業所	高齢者関係分野 23施設・事業所
		障害関係分野 4施設・事業所
		児童関係分野 0施設・事業所

b キャリア支援専門員による福祉従事者養成校等への訪問実施

- ・県福祉マンパワーセンター 18件
- ・高崎市福祉人材バンク 19件
- ・太田市福祉人材バンク 3件

c キャリア支援専門員による県内ハローワークへの訪問実施（出張相談以外）

- ・県福祉マンパワーセンター 32件
- ・高崎市福祉人材バンク 24件
- ・太田市福祉人材バンク 16件

d キャリア支援専門員による求職相談の実施

福祉人材センター・ バンク	施設・事業所（延べ数）	内訳（延べ数）
群馬県福祉マンパワーセンター	相談件数 1, 219件	来所相談 210件
		電話相談 591件 出張相談 418件 (ハローワーク、ハローワーク以外、マッチング事業等)
高崎市福祉人材 バンク	相談件数 257件	採用件数 51件 coolシステム以外 10件
		来所相談 52件 電話相談 87件 出張相談 118件 (ハローワーク、ハローワーク以外、マッチング事業等)
太田市福祉人材 バンク	相談件数 24件	採用件数 23件 coolシステム以外 8件
		来所相談 6件 電話相談 3件 出張相談 15件 (ハローワーク、ハローワーク以外、マッチング事業等)
	採用件数 22件	coolシステム以外 1件

e キャリア支援専門員による就労後相談の実施

福祉人材センター・ バンク	相談件数（延べ数）	内訳
群馬県福祉マンパワーセンター	相談件数 28件	来所相談 10件
		電話相談 18件
		訪問相談 0件
高崎市福祉人材 バンク	相談件数 31件	来所相談 16件
		電話相談 15件
		訪問相談 0件

福祉人材センター・ バンク	相談件数（延べ数）	内訳
太田市福祉人材 バンク	相談件数 0 件	来所相談 0 件
		電話相談 0 件
		訪問相談 0 件

f キャリア支援専門員連絡会議の開催

回 数	期 日	会 場	出席者数
第 1 回	平成 30 年 5 月 31 日 (木)	群馬県社会福祉総合センター 602 研修室	7 名
第 2 回	平成 30 年 7 月 30 日 (月)	群馬県社会福祉総合センター 602 研修室	9 名
第 3 回	平成 30 年 10 月 19 日 (金)	群馬県社会福祉総合センター 602 研修室	6 名
第 4 回	平成 30 年 12 月 6 日 (木)	群馬県社会福祉総合センター 602 研修室	8 名
第 5 回	平成 31 年 1 月 31 日 (木)	群馬県社会福祉総合センター 602 研修室	6 名
第 6 回	平成 31 年 3 月 12 日 (火)	群馬県社会福祉総合センター 602 研修室	8 名

(イ) 施設見学会の開催

主 催	期 日	会 場	出席者数
群馬県福祉マンパ ワーセンター	平成 30 年 4 月 25 日 (水)	社会福祉法人おおぎだ	5 名
	平成 30 年 5 月 23 日 (水)	社会福祉法人永寿会	5 名
	平成 30 年 8 月 22 日 (水)	社会福祉法人永光会	6 名
	平成 30 年 11 月 16 日 (金)	社会福祉法人とね虹の会	3 名
	平成 31 年 3 月 6 日 (水)	社会福祉法人薰英会	9 名
高崎市福祉人材 バンク	平成 30 年 4 月 27 日 (金)	N P O 法人じゃんけんぽん	3 名
	平成 30 年 5 月 25 日 (金)	社会福祉法人恒星会 医療法人社団水火会	14 名
	平成 30 年 6 月 22 日 (金)	社会福祉法人マグノリア 2000	10 名
	平成 30 年 8 月 27 日 (月)	医療法人社団美心会	32 名

主 催	期 日	会 場	出席者数
太田市福祉人材 バンク	平成30年 6月8日 (金)	社会福祉法人まつ葉の会	8名
	平成30年 6月21日 (木)	医療法人社団ふじあく医院	10名
	平成30年 11月6日 (火)	社会福祉法人梅田福祉会	7名
	平成30年 11月22日 (木)	株式会社三栄	3名
	平成31年 2月6日 (水)	NPO法人HOME	9名

(ウ) ハローワーク等における出張相談（平成24年7月から実施）

主 催	会 場	相談日	相談件数 (延べ数)
群馬県福祉マン パワーセンター	ハローワーク渋川	毎月第3水曜日	12件
	ハローワーク中之条	毎月第4月曜日	9件
	ハローワーク沼田	毎月第1火曜日	11件
	職業支援センターいせさき	毎月第4木曜日	12件
	伊勢崎市社会福祉協議会境支所	奇数月第4金曜日	6件
高崎市福祉人材 バンク	ハローワーク藤岡	毎月第4火曜日	12件
	ハローワーク安中	毎月第3火曜日	12件
	ハローワーク富岡	毎月第4水曜日	12件
太田市福祉人材 バンク	ハローワーク桐生	毎月第2水曜日	10件
	ハローワーク館林	毎月第3火曜日	12件

(エ) 地区別ミニ就職面接会の開催

主 催	名 称	期 日	会 場	出席 法人数	出席者数
群馬県福祉 マンパワー センター	福祉の仕事 ミニ就職面接会	平成31年 3月2日 (土)	けやきウォー ク前橋 多目的ホール	17法人	28名
高崎市福祉 人材バンク	地区別ミニ就職 面接会 (福祉職 の就職面接会)	平成30年 9月12日 (水)	高崎市 労使会館	16法人	30名

主 催	名 称	期 日	会 場	出席 法人数	出席者数
高崎市福祉人材バンク	地区別ミニMin i 就職面接会①	平成30年6月20日(水)	高崎市吉井福祉センター	4 法人	2名
	地区別ミニMin i 就職面接会②	平成30年7月18日(水)	榛名公民館	4 法人	1名
	地区別ミニMin i 就職面接会③	平成30年8月29日(水)	高崎市群馬福祉社会館	5 法人	9名
	地区別ミニMin i 就職面接会④	平成30年9月19日(水)	高崎市群馬福祉社会館	4 法人	8名
	地区別ミニMin i 就職面接会⑤	平成30年10月17日(水)	高崎市総合福祉センター	3 法人	4名
	地区別ミニMin i 就職面接会⑥	平成30年11月21日(水)	高崎市総合福祉センター	4 法人	9名
	地区別ミニMin i 就職面接会⑦	平成30年12月19日(水)	高崎市総合福祉センター	4 法人	17名
	地区別ミニMin i 就職面接会⑧	平成31年1月16日(水)	高崎市総合福祉センター	4 法人	7名
	地区別ミニMin i 就職面接会⑨	平成31年2月20日(水)	高崎市総合福祉センター	3 法人	3名
	地区別ミニMin i 就職面接会⑩	平成31年3月20日(水)	高崎市総合福祉センター	4 法人	3名
太田市福祉人材バンク	地区別ミニ就職面接会(館林)	平成31年3月3日(日)	館林市文化会館	15 法人	6名

ス 介護支援専門員実務研修受講試験の実施

群馬県指定試験実施機関として介護支援専門員実務研修受講試験を実施した。

(ア) 試験係員説明会の実施

[第1回]

期 日 平成30年10月2日(火)

会 場 群馬県社会福祉総合センター 701会議室

内 容

- ・試験係員心得について

[第2回]

期 日 平成30年10月5日(金)

会 場 群馬県社会福祉総合センター 701会議室

内 容

- ・試験係員心得について

(イ) 試験実施概要

期 日 平成30年10月14日(日)

会 場 群馬県立県民健康科学大学
前橋医療福祉専門学校

a 出願者数 888名

b 受験者数 770名

c 合格者数 91名

d 合格率 11.8%

(ウ) 試験合格発表

期 日 平成30年12月4日(火)

方 法 県庁県民センター・各県保健福祉事務所・本会事務室掲示板及び
本会ホームページで発表。

セ 福利厚生センター(ソウェルクラブぐんま)事業の実施

(ア) 加入状況(平成30年10月1日現在)

契約法人 102法人、236事業所 加入職員数 4,392人

(イ) 「ソウェルクラブぐんま」企画委員会の開催

a 企画委員15名

(任期 平成30年4月1日～平成32年3月31日)

NO	氏 名	所 属
1	◎内藤浩一郎	母子生活支援施設 のぞみの家
2	○松下公子	認定こども園 はなぞの
3	福島馨	綿打保育園
4	柴宮佑介	Kids Island うちがしま
5	狩野浩之	みずべの杜デイサービスセンター
6	新井佳子	特別養護老人ホーム 船尾苑
7	眞藤秀樹	障害者支援施設 つつじヶ丘光の園
8	鈴木達也	ルンビニー苑
9	綾谷亮子	特別養護老人ホームひかりの里
10	立木裕也	沼田市社会福祉協議会
11	川田英里香	邑楽町社会福祉協議会
12	芝崎満由子	指定障害者支援施設 第二天啓園
13	遠藤弘美	介護老人保健施設 いづみの里
14	山後秀明	県社会福祉協議会
15	岡田正敏	県社会福祉協議会

◎：委員長 ○：副委員長

- b 企画委員会
- 期 日 平成30年4月26日（木）
 会 場 群馬県社会福祉総合センター 特別会議室
 出席者 12名
 内 容
 - ・正副委員長の選出について
 - ・平成29年度会員交流事業実施報告について
 - ・平成30年度会員交流事業の実施について
 - ・その他
- (ウ) 「ソウェルクラブぐんまだより」の発行
 県内のソウェルクラブ会員施設等に対し情報提供を行った。
 ・第43号 平成30年7月発行
- (エ) 余暇支援事業
- a 会員交流事業
- (a) 「G B G B ロックコンサート」
 期 日 平成30年5月4日（金）
 会 場 高崎アリーナ
 出席者 65名
- (b) 「グルメでリフレッシュ第1弾『レストランスワン』お食事券」
 期 日 平成30年7月1日（日）～9月30日（日）
 会 場 欧州料理 レストラン「ヴォレ・シニユ」
 現代仏蘭西料理「朔詩舎」
 新欧州料理「ル・シニユ」
 出席者 334名
- (c) 「東京ディズニーランドツアー」
 期 日 平成30年7月7日（土）
 会 場 東京ディズニーシー
 出席者 286名
- (d) 「巨人VS中日戦（東京ドーム）観戦ツアー」
 期 日 平成30年8月19日（日）
 会 場 東京ドーム
 出席者 45名
- (e) 「夏休み思い出づくりツアー」
 期 日 平成30年8月25日（土）
 会 場 グリーンピア津南、原田農園
 出席者 42名
- (f) 「劇団四季『ソング&ダンス65』前橋公演」
 期 日 平成30年9月6日（木）
 会 場 前橋市民文化会館
 出席者 100名
- (g) 「東京ディズニーシーツアー」
 期 日 平成30年12月27日（木）
 会 場 東京ディズニーシー
 出席者 180名
- (h) 「新春浅草歌舞伎ツアー」
 期 日 平成31年1月12日（土）
 会 場 浅草公会堂
 出席者 45名
- (i) 「グルメでリフレッシュ第2弾『炭火だいにんぐ燈・しゃぶしゃぶランチ山下さんち』お食事券」

期　日	平成31年2月9日（土）～3月9日（土）
会　場	炭火だいにんぐ「燈」 しゃぶしゃぶランチ「山下さんち」
出席者	216名
b その他の事業（福利厚生センター事業）	として下記の事業を実施した。
(a) 健康管理	健康生活用品給付、生活習慣病予防健診費用助成、電話健康相談等
(b) 慶事お祝い	結婚祝、出産祝、入学祝、資格取得記念品、永年勤続記念品
(c) 資質向上	メンタルヘルス講習会、接遇講習会、広報講習会等
(d) 余暇活用	クラブ・サークル活動助成、国内・海外旅行、レンタカー等

2 福祉職をめざす人への支援

(1) 介護福祉士修学資金等貸付事業の実施

ア 介護福祉士修学資金等貸付事業

介護福祉士修学資金等貸付事業は、介護福祉士修学資金貸付事業、実務者研修受講資金貸付事業、離職した介護人材の再就職準備金貸付事業を実施し、貸付決定をした。

また、平成29年9月に在留資格「介護」が創設されたことに伴い、外国人留学生まで貸付対象を拡大するほか、連帯保証人を法人とすることができるよう規程の改正を行い、留学生13名に対し貸付決定をした。

(ア) 貸付実績

a 介護福祉士修学資金貸付事業

貸付決定者

新規貸付者 44名（H31年度入学予定者8名含む。）

貸付決定額 64,770,880円

b 介護福祉士実務者研修受講資金貸付事業

貸付決定者 56名

貸付決定額 5,267,312円

c 離職した介護人材の再就職準備金貸付事業

貸付決定者 15名

貸付決定額 2,980,000円

(イ) 周知方法

a 介護福祉士修学資金貸付事業

（養成施設）

- ・ 募集案内を県内養成施設10校に加え、近隣県の養成施設21校に募集案内を送付した。

（高校）

- ・ 県内高校83校に募集案内を送付した。

- ・ 福祉関係を学べる高校7校に訪問し、生徒への周知を依頼した。

（平成30年7月2日（月） 新田暁高校、大間々高校

平成30年7月6日（金） 森名高校、安中総合高校、

万場高校、藤岡北高校

平成30年7月9日（月） 渋川青翠高校）

- ・ 県マンパワーセンター実施の「高校生のための福祉セミナー」に同行し、生徒に直接広報を行った。

(平成31年1月15日(火) 安中総合高校 1年生14名
平成31年3月4日(月) 藤岡北高校 2年生17名)

- b 実務者研修受講資金貸付事業
 - ・県内実務者研修施設10校に、募集案内を送付した(年間2回)。
- c 再就職準備金貸付事業
 - ・本会が実施する共済事業の退職者あての通知にチラシを同封した(約1400通)。
 - ・県マンパワーセンターが実施する求職者向けイベントや窓口において、対象者に直接PRを行うとともに、求職者あて通知にチラシを同封した。

(ウ) 猶予・免除・償還等指導状況

- a 猶予状況
 - ・今年度猶予対象者335名のうち、修学資金の対象者で介護福祉士未登録者1名を除いて全員より猶予申請が提出された。
- b 免除状況
 - ・当然免除 77名 108,554,000円
 - ・裁量免除 4名 2,599,999円
- c 償還等指導状況

平成30年9月4日(火)

県介護高齢課と共同で、前橋市の償還を滞納している修学生1名を訪問。

平成30年12月19日(水)

高崎市及び藤岡市の手続が滞っている修学生2名を訪問。後日両名より手続書類が送付された。

平成31年3月18日(月)

介護福祉士未登録者が勤務する施設を訪問し、登録手続及び猶予手続を行うよう指導した。

(2) 保育士修学資金貸付事業の実施

ア 保育士修学資金貸付事業

保育士修学資金貸付事業として、平成31年度に保育士養成施設に入学予定の者を対象に募集し、貸付決定した。

貸付決定者

- ・新規決定者 31名(内早期貸付者10名)
- ・継続貸付者 92名(退学者8名、休学者2名)

貸付決定額(新規決定者の早期貸付分含む) 82,488,000円

VI 研修事業の充実による人材育成

1 研修機能の強化

(1) 研修体系の見直しと体制整備の充実

ア キャリアパス指導者養成派遣事業の実施（福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程移行のための準備）

全社協中央福祉学院が開発した「福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 標準研修プログラム」に基づき実施する研修会へ段階的に移行するため検討を行った。

（ア）指導者養成研修会修了者連絡会議の開催

[第1回]

期 日 平成30年7月12日（木）

会 場 群馬県社会福祉総合センター 特別会議室

出席者 15名（委員11名・県社協4名）

内 容

・指導者養成研修会について

・福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程への移行について

[第2回]

期 日 平成30年11月22日（木）

会 場 群馬県社会福祉総合センター 特別会議室

出席者 16名（委員12名・県社協4名）

内 容

・講師グループ分け（案）について

・講師グループと担当するセッションについて

・平成31年度初任者コースの開催時期について

[第3回]

期 日 平成31年3月22日（金）

会 場 群馬県社会福祉総合センター B01会議室

出席者 18名（委員14名・県社協4名）

内 容

・初任者コースの実施について

・来年度の指導者養成研修会の開催について

イ 階層別研修の開催

104ページの研修事業実績参照

ウ 自主研修（福祉施設キャリアパス管理者研修、福祉施設OJT担当者研修）の開催

104ページの研修事業実績参照

エ 介護支援専門員研修の充実・強化（介護支援専門員実務者・専任者研修の実施）

104ページの研修事業実績参照

（ア）介護支援専門員研修の質の向上

介護保険法に基づく介護支援専門員の研修の質の向上を図るため、群馬県介護支援専門員研修向上委員会を開催した。

（イ）群馬県介護支援専門員研修向上委員会の開催

No.	氏名	区分	所属
1	◎山後 秀明	指定研修実施機関	群馬県社会福祉協議会
2	○中沢 かよ子	群馬県介護支援専門員協会	居宅介護支援事業所 あいりプランニング
3	新津 稔美子	群馬県健康福祉部介護高齢課	群馬県健康福祉部介護高齢課

No.	氏名	区分	所属
4	宮田 昌弘	県内保険者（市）	伊勢崎市長寿社会部高齢政策課地域包括支援センター
5	石原 美佐子	県内保険者（町村）	玉村町地域包括支援センター やくば
6	山田 圭子	群馬県地域包括・在宅介護支援センター協議会	前橋市地域包括支援センター 西部
7	伊藤 慎一	群馬県地域密着型サービス連絡協議会	グループホームおおいど
8	村上 忠明	群馬県老人福祉施設協議会	特別養護老人ホーム永光荘
9	新井 健五	群馬県老人保健施設協議会	介護老人保健施設ミドルホーム富岡
10	永田 理香	学識経験者	高崎健康福祉大学
11	河村 俊一	講師委員	街の相談室 アンクル

◎：委員長 ○：副委員長

研修向上委員会

期 日 平成31年3月12日（火）

会 場 群馬県社会福祉総合センター 301会議室

出席者 16名（委員10名・県社協等6名）

内 容

- ・平成30年度介護支援専門員法定研修実施状況報告
- ・平成31年度実施にあたっての課題整理

才 群馬県教育・保育のキャリアアップ研修の受託運営

保育士等が、職務内容に応じた専門性の向上を図るため、群馬県より研修を受託し実施した。なお、本研修は、2022年度を目途に必須化を目指すとされている処遇改善等加算IIの要件に該当する研修となる。

実施状況 114～122ページを参照

カ 福祉従事者の自己啓発促進

キ 「研修事業のご案内」の送付

福祉マンパワーセンターの実施する研修をまとめた案内を、県内の社会福祉施設・事業所等2,521カ所に送付

(ア) 群馬県福祉マンパワーセンター研修実績

直営研修 13コース

実施状況 104ページを参照

平成30年度群馬県福祉マンパワーセンター研修実績総括表

区分		研修名	研修対象	定員	出席人数	日数	回数	延べ日数
OFF-JT(職務を離れての集合研修)	階層別研修	1 福祉施設等新任職員研修	採用後2年未満の施設職員等	80	282	3	4	12
		2 福祉施設等中堅職員研修Ⅰ	中堅施設等職員(概ね3~6年)	80	173	3	2	6
		3 福祉施設等中堅職員研修Ⅱ	中堅施設等職員(概ね7~10年)	80	172	3	2	6
		4 チームリーダーキャリアアップ研修	チームリーダー的施設職員	72	136	2	2	4
		5 福祉施設等施設長・管理者研修 (群馬県社会福祉法人経営者協議会と共催)	施設長、管理者等	250	238	1	1	1
	現任研修	6 介護支援専門員専門研修課程Ⅰ・Ⅱ、 更新(実務未経験者)・再研修	介護支援専門員としての資格の更新をする者	1,500	1,129	専門研修Ⅰ 7 ※(12)	1	12
		7 主任介護支援専門員研修	介護支援専門員として5年以上の実務に携わっている者等			専門研修Ⅱ 5 ※(17)	1	17
		8 主任介護支援専門員更新研修	主任介護支援専門員			更新・再研修 10 ※(12)	1	12
	専任者研修	9 群馬県教育・保育のキャリアアップ研修 (第1~3期)	県内の以下の施設に勤務する職員 公立:保育所(八ヶ岳保育所、保育所型認定こども園を含む) 私立:保育園、幼保連携型認定こども園、幼稚園(幼稚園型認定こども園を含む)、地方裁量型認定こども園、地域型保育事業	140~ 200	3,430	3	24	72
		10 福祉施設キャリアパス管理者研修	人事、人材育成、研修計画担当するリーダーや管理者			2	1	2
		11 福祉施設OFF-JT担当者研修	人材育成、職場内研修担当者			2	1	2
SDS(自己啓発援助制度)	専任者研修	12 介護支援専門員実務研修	県内介護支援専門員試験合格者	500	93	16	1	16
		13 介護支援専門員法定研修に係るファシリテータースキルアップ研修	介護支援専門員法定研修のファシリテーター(従事希望者)	150	59	2	1	2

※()内の数字はコース別全ての研修開催日数です。

項目	コース数	参加人数	延べ日数
合計	13	6,215	184

平成30年度 群馬県福祉マンパワーセンター研修事業実績

研修事業名	研修目的	対象・出席人員	開催期日	研修内容
1. 福祉施設等 新任職員研修	採用後2年未満の福祉施設等職員を対象に、職場における基本的態度やコミュニケーション技術、チームワーク等職業生活の基本を学ぶ。	採用後2年未満の 福祉施設、社会福祉 協議会等職員(福祉 施設等の経験年数2 年未満) ・定員 80名×4回 320名 ・受講者 282名	A日程 5/10 5/14 6/25 B日程 5/11 5/21 6/26 C日程 5/24 5/28 7/9 D日程 5/25 6/4 7/10 3日間 4回	講義I ・「社会福祉における仕事の意義～価値・倫理・専門性～」 〈演習〉 ・「社会福祉実践の意義を確認する～自らの実践を振りかえる～」 東洋大学社会学部社会福祉学科 教授 高山 直樹 講義II ・「社会人としての基本的マナー」 株式会社群馬銀行 法人部 ・「よりよい援助者になるために～援助的コミュニケーション技法の基礎～」 グループインサイト心理教育研究所所長 臨床心理士 加藤 昌弘 講義III ・「社会福祉の動向と福祉専門職の役割：入職後5カ月の業務の振りかえりを踏まえて」 和泉短期大学 児童福祉学科 教授 鈴木 敏彦
2. 福祉施設等 中堅職員研修 I	福祉施設及び社会福祉協議会の職員として、概ね3~6年程度の勤務経験を有する中堅職員を対象に、自律的実践力の向上や、職場における中堅職員としての役割等についての理解を深める。	福祉施設及び社会 福祉協議会における勤務経験が、概ね 3~6年の中堅職員 ・定員 80名×2回 160名 ・受講者 173名	A日程 7/19 7/31 8/20 B日程 7/26 8/1 8/21 3日間 2回	・「職場の問題解決～対人トラブルの心理学～」①② 日本ケア・カウンセリング研究所所長 臨床心理士 品川 博二 ・「福祉サービスの理念・動向と中堅職員に求められる基本的役割」 和泉短期大学 児童福祉学科 教授 鈴木 敏彦 ・「職場における効果的なコミュニケーション」①② 高崎健康福祉大学健康福祉学部社会福祉学科 教授 松沼 記代
3. 福祉施設等 中堅職員研修 II	福祉施設及び社会福祉協議会の職員として、概ね7~10年程度の勤務経験を有する中堅職員を対象に、自律的実践力の向上や、職場における中堅職員としての役割等についての理解を深める。	福祉施設及び社会 福祉協議会における勤務経験が、概ね 7~10年の中堅職員 ・定員 80名×2回 160名 ・受講者 172名	A日程 7/5 8/6 8/9 B日程 7/6 8/7 8/10 3日間 2回	・「福祉サービスの理念・動向」①② 東洋大学社会学部 社会福祉学科 教授 高山 直樹 ・「相談技術研修」 グループインサイト心理教育研究所所長 臨床心理士 加藤 昌弘 ・「職場のチームワーク」 C&P, etc. (シー・アンド・ピー、エトセトラ)代表 尾崎 真三

研修事業名	研修目的	対象・出席人員	開催期日	研修内容
4. チームリーダー－キャリアアップ研修(福祉施設指導的職員研修)	チームリーダー職員として役割を遂行するための能力を段階的に体系的に習得し、チームリーダーとしてのキャリアアップの方針性を示唆するとともに、資質の向上及び職場における指導力の一層の向上を図る。	福祉施設・社会福祉協議会においてチームリーダーにあたる職員（主任～係長の役職） ・定員 72名×2回 144名 ・受講者 A67名 B69名 136名	A日程 9/26 9/27 B日程 10/3 10/10 2日間 2回	A日程 ・福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 「チームリーダー－キャリアアップ研修」 泉恵造研修企画工房 代表社員 泉 恵造 B日程 ・福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 「チームリーダー－キャリアアップ研修」 日本女子大学人間社会学部 教授 久田 則夫
5. 福祉施設等施設長・管理者研修	福祉職場の管理者等としての役割や運営管理全般に関する知識、技術等の再確認や社会福祉法人を取り巻く内外の環境変化・組織課題等に対し必要な判断力と管理能力の向上を図る。	社会福祉法人の理事長他役員（施設長を含む）、社会福祉協議会役員及び事務局長等 ・定員 250名 ・受講者 238名	9/10	・「人材の育成と定着 －キャリアパスと人が定着する職場－」 和洋女子大学 学長 岸田 宏司
6. 介護支援専門員専門・更新研修	介護保険法改正に伴い、介護支援専門員の資格管理、研修等について見直しがなされ、5年ごとの更新制が導入されました。それに伴い、介護支援専門員が、継続的に研修を受講することにより、ソーシャルワーカーとして必要な知識やケアマネジメント技能を習得し、介護支援専門員としての資質の向上が図られることを目的とする。	研修課程は次の区分を基本とする。 ■ 専門研修 課程Ⅰ ケアマネジメントの仕事に就いて6か月以上の方を対象に、様々な専門的分野の知識・技術を習得し、より資質の向上を図っていくための研修 受講者 共通日程 7/13 7/20 コース別日程 <1組> 8/3 8/24 受講者 共通日程 7/13 7/20 249名 249名 9/3 9/7 9/10	■ 専門研修 課程Ⅰ 受講者 共通日程 7/13 7/20 コース別日程 <1組> 8/3 8/24 受講者 共通日程 7/13 7/20 249名 249名 9/3 9/7 9/10	【共通日程】 ①「介護保険制度及び地域包括ケアシステムの現状」 群馬県介護高齢課担当職員 ②「対人個別援助技術及び地域援助技術」 大泉保育福祉専門学校 福祉課主任講師 根岸 昭人 ③「個人での学習及び介護支援専門員相互間の学習」 介護老人保健施設若宮苑 副施設長 安藤 繁 ④「ケアマネジメントの実践における倫理」 居宅支援あいりプランニング 中沢 かよ子 ⑤「ケアマネジメントに必要な医療との連携及び他職種協働の実践」 群馬県看護協会訪問看護ステーション 居宅介護支援事業所 管理者 金井 敏江 医療法人あづま会大井戸診療所 理事長・院長 大澤 誠 ⑥「ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の設定」 前橋川原ケースマネジメント 管理者 坂井 崇

研修事業名	研修目的	対象・出席人員	開催期日	研修内容
介護支援専門員の習熟度に応じて「専門研修課程Ⅰ」「専門研修課程Ⅱ」に区分するとともに、演習課程等に「居宅コース」「施設コース（特別養護老人ホーム、老人保健施設、グループホーム）の選択科目を設け、実際のサービスや施策の状況を踏まえた研修内容で実施する。	コース別日程 <1組> 8/3 8/24 9/3 9/7 9/10 <2組> 8/8 8/27 9/4 9/11 9/18 9/4 9/11 9/18 ・受講者 ・修了者 (繰越者含)	122名 123名 123名 123名 122名 127名 125名 126名 125名 126名 251名 250名	8/8 8/27 9/4 9/11 9/18 8/8 8/27 9/4 9/11 9/18 10/5	<p>【演習科目一覧】</p> <p>⑦「リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例」 介護老人保健施設ミドルホーム富岡 副施設長 作業療法士 新井 健五</p> <p>⑧「認知症に関する事例」 介護老人保健施設ミドルホーム富岡 副施設長 作業療法士 新井 健五</p> <p>⑨「社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例」 認定NPO法人じやんけんぽん生活支援室 管理者 須田 和也</p> <p>⑩「状態に応じた多様なサービス（地域密着型サービス、施設サービス等）の活用に関する事例」 特別養護老人ホーム永光荘 施設長 村上 忠明 介護老人保健施設ミドルホーム富岡 副施設長 作業療法士 新井 健五 認定NPO法人じやんけんぽん生活支援室 管理者 須田 和也</p> <p>⑪「看取り等における看護サービスの活用に関する事例」 NPO法人在宅福祉かんわヶ大地 居宅介護支援事業所さくら 新井 薫</p> <p>⑫「入退院時等における医療との連携に関する事例」 NPO法人在宅福祉かんわヶ大地 居宅介護支援事業所さくら 新井 薫</p> <p>⑬「家族への支援の視点が必要な事例」 居宅介護支援 元助 小沼説雄</p> <p>⑭「ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の設定」 介護老人保健施設若宮苑 副施設長 安藤 繁 居宅支援あいりプランニング 中沢 かよ子</p> <p>⑮「ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の設定」 群馬県介護支援専門員研修指導班</p> <p>⑯研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り 群馬県介護支援専門員研修指導班</p> <p>■専門研修課程Ⅱ ケアマネジメントの仕事に就いて、3年以上の方を対象に、事例への対応技術などを身につけ、中堅ケアマネジャーとしての役割を担うための研修</p> <p>受講者 共通日程 10/5</p> <p>■専門研修課程Ⅱ 【共通日程】 ①「介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開」 群馬県介護高齢課</p> <p>②「最新の高齢者消費者被害の実態とその対処」 弁護士法人龍馬おこのぎ法律事務所 舟木 諒</p> <p>③「課題整理総括表及び評価表の活用」 居宅支援あいりプランニング 中沢 かよ子</p> <p>【演習科目一覧】</p> <p>④「認知症に関する事例」 介護老人保健施設若宮苑 副施設長 安藤 繁</p>
	受講者 共通日程 10/5	672名		

研修事業名	研修目的	対象・出席人員	開催期日	研修内容
		コース別日程 －1組－ 10/16 165名 10/24 165名 11/7 164名 12/3 168名	コース別日程 －1組－ 10/16 10/24 11/7 12/3	⑤「リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例」 介護老人保健施設若宮苑 副施設長 安藤 繁 ⑥「入退院時等における医療との連携に関する事例」 NPO 法人在宅福祉かんわヶ大地 居宅介護支援事業所さくら 新井 薫 ⑦「看取り等における看護サービスの活用に関する事例」 NPO 法人在宅福祉かんわヶ大地 居宅介護支援事業所さくら 新井 薫
		－2組－ 10/17 170名 10/25 170名 11/8 169名 12/7 170名	－2組－ 10/17 10/25 11/8 12/7	⑧「社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例」 認定 NPO 法人じんけんほん生活支援室 管理者 須田 和也 ⑨「状態に応じた多様なサービス（地域密着型サービス、施設サービス等）の活用に関する事例」 特別養護老人ホーム永光荘 施設長 村上 忠明
		－3組－ 10/22 171名 11/1 171名 11/14 172名 12/11 169名	－3組－ 10/22 11/1 11/14 12/11	⑩「家族への支援の視点が必要な事例」 介護老人保健施設若宮苑 副施設長 安藤 繁 居宅介護支援 元助 小沼 説雄 ⑪「研修の振り返り」 介護老人保健施設若宮苑 副施設長 安藤 繁 居宅介護支援 元助 小沼 説雄
		－4組－ 10/23 165名 11/5 165名 11/15 167名 12/12 165名	－4組－ 10/23 11/5 11/15 12/12	【演習科目一覧】 ※1組④～⑪に同じ
	・受講者 ・修了者	673名 672名		
	【内訳】 ・居宅コース ・医療コース ・福祉コース	471名 54名 148名		

研修事業名	研修目的	対象・出席人員	開催期日	研修内容
	■更新・再研修 (実務未経験者更新研修) 群馬県に登録され、介護支援専門員証有効期間が1年以内に満了する方で、実務に従事した経験を有しない方を対象とした研修 (再研修) 介護支援専門員証の更新を行なわなかつた方で、再度実務に従事するための介護支援専門員証の交付を希望される方を対とした研修 (実務未経験者更新研修) ・受講者 148名 ・修了者 145名 (再研修) ・受講者 57名 ・修了者 52名 H31年 12/21①②③ 204名 12/26④⑤ 204名 1/9⑥※希望制 56名 1/22⑦※希望制 37名 2/7⑧ 201名 2/12⑨⑩ 199名 2/14⑪ 199名 2/19⑫ 200名 2/21⑬ 199名 2/22⑭ 198名 2/26⑮ 200名 2/28⑯ 199名	■ 更新 研修 (実務未経験者) 12/21 ①②③ 12/26 ④⑤ 1/9 ⑥※希望制 H31 年 ⑦※希望制 1/22 2/7 ⑧ 2/12 ⑨⑩ 2/14 ⑪ 2/19 ⑫ 2/21 ⑬ 2/22 ⑭ 2/28 ⑯	【講義】 ①「介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント」 ②「ケアマネジメントに係る法令等の理解」 ③「人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理」 一般社団法人認知症予防&サポート研究所アンクル 代表理事 河村 傑一 ④「地域包括ケアシステム及び社会資源」 邑楽町社会福祉協議会 事務局長 堀井 雅明 ⑤「ケアマネジメントに必要な医療との連携及び 多職種協働の意義」 群馬県医療ソーシャルワーカー協会副会長 老年病研究所附属病院地域医療福祉連携室・相談室 ソーシャルワーカー 狩野 寛子 ⑥「介護保険認定調査員研修」 群馬県介護高齢課担当職員 ⑦「アセスメントによる居宅サービス計画の作成手法について」 アセスメントツール開発団体講師 〈インターライ〉 地域包括支援センター和合 山下いづみ 〈全 社 協 〉 前橋市地域包括支援センター西部 山田圭子 〈訪 問 看 護 〉 県看護協会訪問看護ステーション 近江康子 〈社会福祉士会〉 群馬県社会福祉士会 吉野 崇 〈三 団 体 〉 小規模多機能 しょうわ 永井庫人 ⑧「自立支援のためのケアマネジメントの基本」 前橋市地域包括支援センター西部 山田 圭子 ⑨「介護支援専門員に求められるマネジメント（チームマネジメント）」 ⑩「ケアマネジメントの展開・基礎理解」 前橋市地域包括支援センター西部 山田 圭子 ⑪「ケアマネジメントの展開・看取りに関する事例」 県看護協会訪問看護ステーション居宅介護支援事業所 金井 敏江 ⑫「ケアマネジメントの展開・認知症に関する事例」 群馬医療福祉大学 山口 智晴 ⑬「ケアマネジメントの展開・脳血管疾患に関する事例」 高崎健康福祉大学 保健医療学部理学療法学科 田中 聰一 ⑭「ケアマネジメントの展開・内臓の機能不全に関する事例」 高崎健康福祉大学 保健医療学部理学療法学科 田中 聰一 ⑮「ケアマネジメントの展開・筋骨格系疾患及び廃用症候群に関する事例」 群馬大学 医学部保健学科准教授 山路 雄彦 ⑯「アセスメント及び居宅サービス計画等作成の総合演習」 前橋市地域包括支援センター西部 山田 圭子	

研修事業名	研修目的	対象・出席人員	開催期日	研修内容
7. 主任介護支援 専門員研修	介護保険サービスや他の保健・医療・福祉サービスを提供する者との連絡調整、他の介護支援専門員に対する助言・指導などのケアマネジメントが適切かつ円滑に提供されるために必要な業務に関する知識及び技術を習得する事を目的とする。	主に専任の介護支援専門員の実務経験が5年(60ヶ月)以上他 ・定員 ・受講者 ・修了者	第1回 6/6 第2回 6/11 第3回 6/12 第4回 6/13 第1回 6/6 第2回 6/11 第3回 6/12 第4回 6/13 第5回 6/20 第6回 6/27 第7回 7/4 第8回 7/11 第9回 7/17 第10回 7/18 第11回 7/24 第12回 7/25	第1回 ・主任介護支援専門員の役割と視点 (地域包括支援センターの運営を含む) 前橋市地域包括支援センター西部 山田 圭子 第2回 ・対人援助者監督指導 1 駒沢大学文学部社会学科 教授 荒井 浩道 第3回 ・対人援助者監督指導 2 駒沢大学文学部社会学科 教授 荒井 浩道 第4回 ・対人援助者監督指導 3 駒沢大学文学部社会学科 教授 荒井 浩道 第5回 ・地域援助技術 駒沢大学文学部社会学科 教授 荒井 浩道 第6回 ・ケアマネジメントに必要な医療との連携及び他職種 協働の実現 ケアマネジメントセンター老研管理者 野中 和英 第7回 ・人材育成及び業務管理 前橋市地域包括支援センター西部 山田 圭子 ・ケアマネジメントの実践における倫理的な課題に対する支援 ケアマネジメントセンター老研管理者 野中 和英 第8回 ・ターゲルケア 群馬看護協会訪問看護ステーション 梨木 恵美子 ・運営管理におけるリスクマネジメント 伊勢崎市地域包括支援センター殖蓮管理者 根岸 信貴 第9回 ・個別事例を通じた介護支援専門員に対する指導・支援の展開 1 前橋市地域包括支援センター西部 山田 圭子 第10回 ・個別事例を通じた介護支援専門員に対する指導・支援の展開 2 前橋市地域包括支援センター西部 山田 圭子 第11回 ・個別事例を通じた介護支援専門員に対する指導・支援の展開 3 前橋市地域包括支援センター西部 山田 圭子 第12回 ・個別事例を通じた介護支援専門員に対する指導・支援の展開 4 前橋市地域包括支援センター西部 山田 圭子

研修事業名	研修目的	対象・出席人員	開催期日	研修内容
8. 主任介護支援専門員更新研修	主任介護支援専門員に対して、主任介護支援専門員に係る有効期限の更新時に併せて、研修の受講を課すことにより、継続的な資質向上を図るための定期的な研修受講の機会を確保し、主任介護支援専門員の役割を果たしていくために必要な能力の保持・向上を図ることを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・介護支援専門員に係る研修の企画、講師やファシリテーターの経験がある者 ・地域包括支援センターや職能団体等が開催する法定外の研修等に年4回以上参加した者他 ・定員 160名 ・受講者 218名 ・修了者 218名 	H30年 1日目 5/9 2日目 5/15 3日目 5/16 4日目 5/22 5日目 6/5 6日目 6/12 7日目 6/18 8日目 6/22	<p>1日目 ・研修の進め方について 前橋市地域包括支援センター西部 山田 圭子 ①介護保険制度及び地域包括ケーシステムの今後の動向 群馬県介護高齢課担当職員</p> <p>2日目 ②認知症に関する事例 駒澤大学文学部社会学科 教授 荒井 浩道</p> <p>3日目 ③家族への支援の視点が必要な事例 駒澤大学文学部社会学科 教授 荒井 浩道</p> <p>4日目 ④リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例 群馬県POS連絡協議会 高麗 寿史</p> <p>5日目 ⑤看取り等における看護サービスの活用に関する事例 県看護協会訪問看護ステーション居宅介護支援事業所 金井 敏江</p> <p>6日目 ⑥社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例 邑楽町社会福祉協議会 事務局長 堀井 雅明</p> <p>7日目 ⑦入退院時等における医療との連携に関する事例 群馬県医療ソーシャルワーカー協会会長 中井 正江</p> <p>8日目 ⑧状態に応じた多様なサービス（地域密着型サービス、施設サービス等）の活用に関する事例 群馬県地域密着型サービス連絡協議会 会長 恩田 初男 監事 櫻場 一典</p>
9. 介護支援専門員実務研修	介護支援専門員実務研修受講試験合格者に対し、介護支援専門員として必要な知識、技能の習得を図ることを目的とする。	■介護支援専門員実務研修受講試験合格者 【前期】 ・受講者 93名 ・修了者 89名 【前期】 1日目 12/21①②③ 2日目 12/26④⑤ 3日目 1/8⑥⑦⑧ 	■実務研修 【前期】 1日目 12/21 ①②③ 2日目 12/26 ④⑤ 3日目 1/8 ⑥⑦⑧ 90名 90名 90名 90名	<p>【前期： 講義】</p> <p>①介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント ②ケアマネジメントに係る法令等の理解 群馬県介護高齢課担当職員</p> <p>③人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理 一般社団法人認知症予防&サポート研究所アンクル 代表理事 河村 俊一</p> <p>④地域包括ケーシステム及び社会資源 邑楽町社会福祉協議会 事務局長 堀井 雅明</p> <p>⑤ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の意義 群馬県医療ソーシャルワーカー協会副会長 老年病研究所附属病院地域医療福祉連携室・相談室 ソーシャルワーカー 狩野 寛子</p> <p>⑥相談援助の専門職としての基本姿勢及び相談援助技術の基礎 ⑦利用者、多くの種類の専門職等への説明及び合意 ⑧ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術「受付及び相談並びに契約」 駒澤大学文学部社会学科 教授 荒井 浩道</p>

研修事業名	研修目的	対象・出席人員	開催期日	研修内容
				【前期： 講義・演習】 ⑨介護保険認定調査員研修 群馬県介護高齢課担当職員 ⑩ケアマネジメントのプロセス ⑪実習オリエンテーション 前橋市地域包括支援センター西部 山田 圭子 ⑫自立支援のためのケアマネジメントの基本 前橋市地域包括支援センター西部 山田 圭子 ⑬ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術「アセスメント及びニーズの把握の方法」 前橋市地域包括支援センター西部 山田 圭子 ⑭アセスメントツールによる居宅サービス計画の作成手法について －アセスメントツール開発団体講師－ ⑮ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術「サービス担当者会議の意義及び進め方」 前橋市地域包括支援センター西部 山田 圭子 群馬県介護支援専門員実務研修指導班 ⑯ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術「居宅サービス計画等の作成」 前橋市地域包括支援センター西部 山田 圭子 ⑰介護支援専門員に求められるマネジメント(チームマネジメント) ケアプランセンター老研管理者 野中 和英 〈インターライ〉地域包括支援センター和合 山下いづみ 〈全社協〉前橋市地域包括支援センター西部 山田圭子 〈訪問看護〉県看護協会訪問看護ステーション 近江康子 〈社会福祉士会〉群馬県社会福祉士会 吉野 崇 〈三团体〉小規模多機能 しょうわ 永井庫人 ⑯ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術「モニタリング及び評価」 ⑯ケアマネジメントの基礎技術に関する実習
			【実習期間】 (約 3 週間の中で、概ね 3 日間) ⑯ ◆ 2/5～3/19 ◇ 2/5～2/18	【実習】 利用者への居宅訪問を行い、アセスメントの実施、居宅サービス計画の作成、サービス担当者会議の準備・同席、モニタリングの実施、給付管理業務の方法など一連のケアマネジメントプロセスの実習を行う。 ◆居宅介護支援事業所見学・観察実習 ◇ケアプラン作成実習
			【後期】 10 日目 ⑰ 3/1 90 名 11 日目 ⑱ 3/5 90 名 12 日目 ⑲ 3/6 91 名	【後期： 講義・演習】 アセスメント及び居宅サービス計画書作成の総合演習 ⑳ケアマネジメントの展開「認知症に関する事例」 群馬医療福祉大学 山口 智晴 ㉑ケアマネジメントの展開「脳血管疾患に関する事例」 高崎健康福祉大学 保健医療学部理学療法学科 田中 聰一 ㉒ケアマネジメントの展開「看取りに関する事例」 県看護協会訪問看護ステーション居宅介護支援事業所 金井 敏江

研修事業名	研修目的	対象・出席人員	開催期日	研修内容
		<p>13 日目 ㉓ 3/8 93 名</p> <p>14 日目 ㉔ 3/11 91 名</p> <p>15 日目 ㉖ 3/20 92 名</p> <p>16 日目 ㉗㉘ 3/25 91 名</p>	<p>13 日目 ㉓ 3/8</p> <p>14 日目 ㉔ 3/11</p> <p>15 日目 ㉖ 3/20</p> <p>16 日目 ㉗㉘ 3/25</p>	<p>㉓ケアマネジメントの展開「筋骨格系疾患及び廃用症候群に関する事例」 群馬大学医学部保健学科 準教授 山路 雄彦</p> <p>㉔ケアマネジメントの展開「内臓の機能不全に関する事例」 高崎健康福祉大学 保健医療学部理学療法学科 田中 聰一</p> <p>㉕実習振り返り 前橋市地域包括支援センター西部 山田 圭子</p> <p>㉖ケアマネジメントの展開「基礎理解」 群馬県介護支援専門員実務研修指導班</p> <p>㉗アセスメント及び居宅サービス計画等作成の総合演習 群馬県介護支援専門員実務研修指導班</p> <p>㉘研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り 群馬県介護支援専門員実務研修指導班</p>
10. 介護支援専門員法定研修に係るファシリテータースキルアップ研修	介護支援専門員法定研修のファシリテーターを対象に、ファシリテーション技術の向上とケアプラン指導のポイントを学び、ファシリテーターとしての資質の向上と養成を図る。	<p>現在介護支援専門員業務に従事している主任介護支援専門員で次の①又は②に該当する方</p> <p>①平成28年度介護支援専門員法定研修の講師又はファシリテーターとして従事した方 ②新たに、介護支援専門員法定研修のファシリテーターとして従事することを希望する方</p> <p>定員 受講者 160 名 修了者 59 名 59 名</p>	<p>1 日目 8/25</p> <p>2 日目 8/26</p>	<p>1 日目 ・ファシリテーション技術を学ぶ 駒沢大学文学部社会学科 教授 荒井 浩道</p> <p>2 日目 ・ファシリテーション技術を学ぶ 駒沢大学文学部社会学科 教授 荒井 浩道 ・ケアプラン指導のポイント ～ファシリテーション技術を使って実践する～ 前橋市地域包括支援センター西部 山田 圭子</p>

研修事業名	研修目的	対象・出席人員	開催期日	研修内容
1 1 . 群馬県教育・保育 のキャリアアップ 研修（第1期）	保育士等が、日々の教育・保育業務に加え、多様な課題への対応や若手の指導等を含めた職務を行っていることを鑑み職務内容に応じた専門性の向上を図る。 なお、本研修は、2022年度を目途に必須化を目指すとされている処遇改善等加算IIの要件に該当する研修となる。	県内の以下の施設に勤務する職員 公立：保育所（へき地保育所、保育所型認定こども園を含む） 私立：保育園、幼保連携型認定こども園、幼稚園（幼稚園型認定こども園を含む）、地方裁量型認定こども園、地域型保育事業		<p>1日目 • 幼児教育の意義 東京福祉大学・大学院 保育児童学部長 教授 関口 はつ江</p> <p>2日目 • 幼児教育の環境 東京福祉大学・大学院 保育児童学部 講師 河合 光利 • 幼児教育の指導計画、記録及び評価 東京福祉大学・大学院 保育児童学部 講師 矢野 景子</p> <p>3日目 • 幼児の発達に応じた保育内容 東京福祉大学・大学院 保育児童学部 教授 岡野 雅子 • 小学校との接続 東京福祉大学・大学院 保育児童学部 教授 岡野 雅子</p>
2 1 幼児教育		1日目 8/1 194名 2日目 8/8 193名 3日目 8/17 191名 修了 191名	1日目 8/1	
1 2 . 群馬県教育・保育 のキャリアアップ 研修（第1期）		1日目 8/7 173名 2日目 8/22 173名 3日目 8/29 172名 修了 172名	1日目 8/7	<p>1日目 • 障害の理解 育英短期大学 保育学科 教授 栗山 宣夫</p> <p>2日目 • 障害児保育の環境 育英短期大学 保育学科 教授 栗山 宣夫</p> <p>3日目 • 障害児の発達の援助 育英短期大学 保育学科 教授 栗山 宣夫</p>
3 1 障害児保育			2日目 8/22	<p>3日目 • 家庭及び関係機関との連携 育英短期大学 保育学科 教授 栗山 宣夫</p> <p>• 障害児保育の指導計画、記録及び評価 育英短期大学 保育学科 教授 栗山 宣夫</p>
1 3 . 群馬県教育・保育 のキャリアアップ 研修（第1期）		1日目 8/11 160名 2日目 8/18 160名	1日目 8/11	<p>1日目 • 保護者支援・子育て支援の意義 関東短期大学 こども学科 教授 木村 たか子</p> <p>2日目 • 保護者に対する相談援助 関東短期大学 学長 渡辺 敏正</p>
6 1 保護者支援・ 子育て支援			2日目 8/18	

研修事業名	研修目的	対象・出席人員	開催期日	研修内容
		3日目 9/1 160名 修了 157名	3日目 9/1	・地域における子育て支援 関東短期大学 こども学科 教授 森 静子 3日目 ・虐待予防 関東短期大学 こども学科 教授 岩崎 裕一 ・関係機関との連携、地域資源の活用 関東短期大学 こども学科 教授 森 静子
14. 群馬県教育・保育 のキャリアアップ 研修（第1期） 4 1 食育・アレル ギー対応		1日目 8/16 176名 2日目 8/24 176名 3日目 8/31 175名 修了 173名	1日目 8/16 2日目 8/24 3日目 8/31	1日目 ・栄養に関する基礎知識 明和学園短期大学 生活学科 栄養専攻教授 神保 京子 2日目 ・食育計画の作成と活用 明和学園短期大学 生活学科 栄養専攻専任講師 尾上 治子 ・アレルギー疾患の理解 高崎健康福祉大学健康福祉学部 社会福祉学科 特任教授 田島 貞子 3日目 ・保育所におけるアレルギー対応ガイドライン 高崎健康福祉大学健康福祉学部 社会福祉学科 特任教授 田島 貞子 ・保育所における食事の提供ガイドライン 明和学園短期大学 生活学科 栄養専攻教授 神保 京子
15. 群馬県教育・保育 のキャリアアップ 研修（第1期） 5 1 保健衛生・安 全対策		1日目 9/12 175名 2日目 9/18 175名 3日目 9/26 175名 修了 175名	1日目 9/12 2日目 9/18 3日目 9/26	1日目 ・保健計画の作成と活用 群馬パース大学福祉専門学校 非常勤勤務 小室 浩子 2日目 ・事故防止及び健康安全管理 群馬パース大学福祉専門学校 非常勤勤務 小室 浩子 ・保育所における感染症対策ガイドライン 群馬パース大学福祉専門学校 非常勤勤務 小室 浩子 3日目 ・保育の場において血液を介して感染する病気を防止 するためのガイドライン 群馬医療福祉大学 看護学部 教授 西山 智春 ・教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時 の対応のためのガイドライン 群馬医療福祉大学 看護学部 教授 西山 智春
16. 群馬県教育・保育 のキャリアアップ 研修（第1期） 1 1 乳児保育		1日目 9/27 148名 2日目 10/4 148名	1日目 9/27 2日目 10/4	1日目 ・乳児保育の意義 高崎健康福祉大学人間発達学部 子ども教育学科 助教 今井 麻美 2日目 ・乳児保育の環境

研修事業名	研修目的	対象・出席人員	開催期日	研修内容
		3日目 10/15 148名 修了 148名	3日目 10/15	高崎健康福祉大学人間発達学部 子ども教育学科 准教授 今井 邦枝 ・乳児保育の適切な関わり 高崎健康福祉大学人間発達学部 子ども教育学科 講師 内田 祥子 3日目 ・乳児の発達に応じた保育内容 高崎健康福祉大学人間発達学部 子ども教育学科 教授 千葉 千恵美 ・乳児保育の指導計画、記録及び評価 高崎健康福祉大学 教職支援センター長 高梨 瑞子
17. 群馬県教育・保育 のキャリアアップ 研修（第2期） 22 幼児教育		1日目 10/1 147名 2日目 10/10 149名 3日目 10/17 149名 修了 149名 ※1期からの振替を含む。	1日目 10/1 2日目 10/10 3日目 10/17	1日目 ・幼児教育の意義 群馬パース大学福祉専門学校 保育学科 専任講師 田子 文子 2日目 ・幼児教育の環境 高崎健康福祉大学人間発達学部 子ども教育学科 助教 富田 純喜 ・幼児の発達に応じた保育内容 新島学園短期大学 コミュニティ子ども学科 准教授 八幡 真由美 3日目 ・幼児教育の指導計画、記録及び評価 群馬パース大学福祉専門学校 保育学科 専任講師 田子 文子 ・小学校との接続 新島学園短期大学 コミュニティ子ども学科 准教授 八幡 真由美
18. 群馬県教育・保育 のキャリアアップ 研修（第2期） 62 保護者支援・ 子育て支援		1日目 10/5 140名 2日目 10/15 140名 3日目 10/22 141名 修了 142名 ※1期からの振替を含む。	1日目 10/5 2日目 10/15 3日目 10/22	1日目 ・保護者支援・子育て支援の意義 大泉保育福祉専門学校 保育科 主任講師 香川 順子 2日目 ・保護者に対する相談援助 大泉保育福祉専門学校 保育科 学科長 八十田 晶子 ・地域における子育て支援 大泉保育福祉専門学校 保育科 主任講師 香川 順子 3日目 ・虐待予防 大泉保育福祉専門学校 保育科 学科長 八十田 晶子 ・関係機関との連携、地域資源の活用 大泉保育福祉専門学校 保育科 学科長 八十田 晶子
19. 群馬県教育・保育 のキャリアアップ 研修（第2期） 52 保健衛生・安 全対策		1日目 10/12 115名 2日目 10/19 115名	1日目 10/12 2日目 10/19	1日目 ・保健計画の作成と活用 東京福祉大学・大学院 保育児童学部 准教授 佐野 葉子 2日目 ・事故防止及び健康安全管理 東京福祉大学・大学院

研修事業名	研修目的	対象・出席人員	開催期日	研修内容
		3日目 10/20 114名 修了 113名	3日目 10/20	保育児童学部 准教授 佐野 葉子 ・保育所における感染症対策ガイドライン 東京福祉大学・大学院 社会福祉学部 教授 植地 正文 3日目 ・保育の場において血液を介して感染する病気を防止するためのガイドライン 東京福祉大学・大学院 社会福祉学部 教授 植地 正文 ・教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン 東京福祉大学・大学院 社会福祉学部 教授 橋本 由利子
20. 群馬県教育・保育 のキャリアアップ 研修（第2期） 32障害児保育		1日目 10/29 172名 2日目 10/30 171名 3日目 10/31 171名 修了 169名 ※1期からの振替を含む。	1日目 10/29 2日目 10/30 3日目 10/31	1日目 ・障害の理解 群馬医療福祉大学 社会福祉学部 助教 川端 奈津子 2日目 ・障害児保育の環境 群馬医療福祉大学 社会福祉学部 助教 川端 奈津子 ・障害児の発達の援助 群馬医療福祉大学 社会福祉学部 助教 川端 奈津子 3日目 ・家庭及び関係機関との連携 群馬医療福祉大学 社会福祉学部 助教 川端 奈津子 ・障害児保育の指導計画、記録及び評価 群馬医療福祉大学 社会福祉学部 助教 川端 奈津子
21. 群馬県教育・保育 のキャリアアップ 研修（第2期） 71マネジメント		1日目 11/1 137名 2日目 11/16 137名 3日目 11/19 137名 修了 137名	1日目 11/1 2日目 11/16 3日目 11/19	1日目 ・マネジメントの理解 東京福祉大学・大学院 保育児童学部 非常勤講師 大木 俊則 2日目 ・リーダーシップ 東京福祉大学・大学院 保育児童学部 教授 太田 節子 ・組織目標の設定 東京福祉大学・大学院 社会福祉学部 准教授 佐々木 貴雄 3日目 ・人材育成 東京福祉大学・大学院 保育児童学部 教授 関口はづ江 ・働きやすい環境づくり 東京福祉大学・大学院 保育児童学部 教授 岡野 雅子

研修事業名	研修目的	対象・出席人員	開催期日	研修内容
22. 群馬県教育・保育のキャリアアップ研修（第2期） 42 食育・アレルギー対応		1日目 11/21 149名 2日目 11/28 149名 3日目 11/29 149名 修了 150名 ※1期からの振替を含む。	1日目 11/21 2日目 11/28 3日目 11/29	1日目 ・栄養に関する基礎知識 高崎健康福祉大学 健康福祉学部健康栄養学科 教授 村松 芳多子 2日目 ・食育計画の作成と活用 高崎健康福祉大学 健康福祉学部健康栄養学科 講師 高梨 美穂 ・保育所における食事の提供ガイドライン 高崎健康福祉大学 健康福祉学部健康栄養学科 教授 木村 典代 3日目 ・アレルギー疾患の理解 高崎健康福祉大学健康福祉学部 社会福祉学科 特任教授 田島 貞子 ・保育所におけるアレルギー対応ガイドライン 高崎健康福祉大学健康福祉学部 社会福祉学科 特任教授 田島 貞子
23. 群馬県教育・保育のキャリアアップ研修（第2期） 12 乳児保育		1日目 11/22 143名 2日目 11/26 145名 3日目 11/27 145名 修了 143名	1日目 11/22 2日目 11/26 3日目 11/27	1日目 ・乳児保育の意義 大原簿記情報ビジネス医療福祉保育専門学校 こども保育学科 講師 町田 美佐枝 2日目 ・乳児保育の環境 大原簿記情報ビジネス医療福祉保育専門学校 こども保育学科 講師 町田 美佐枝 ・乳児保育の適切な関わり 大原簿記情報ビジネス医療福祉保育専門学校 こども保育学科 講師 町田 美佐枝 3日目 ・乳児の発達に応じた保育内容 大原簿記情報ビジネス医療福祉保育専門学校 こども保育学科 講師 町田 美佐枝 ・乳児保育の指導計画、記録及び評価 大原簿記情報ビジネス医療福祉保育専門学校 こども保育学科 講師 町田 美佐枝
24. 群馬県教育・保育のキャリアアップ研修（第2期） 72 マネジメント		1日目 12/4 141名 2日目 12/13 141名 3日目 12/20 142名 修了 138名	1日目 12/4 2日目 12/13 3日目 12/20	1日目 ・マネジメントの理解 東京福祉大学・大学院 保育児童学部 非常勤講師 大木 俊則 2日目 ・リーダーシップ 東京福祉大学・大学院 保育児童学部 教授 太田 節子 ・組織目標の設定 東京福祉大学・大学院 社会福祉学部 准教授 佐々木 貴雄 3日目 ・人材育成 東京福祉大学・大学院 保育児童学部 教授 関口はつ江 ・働きやすい環境づくり 東京福祉大学・大学院 保育児童学部 教授 岡野 雅子

研修事業名	研修目的	対象・出席人員	開催期日	研修内容
25. 群馬県教育・保育のキャリアアップ研修（第2期） 13乳児保育		1日目 12/7 132名 2日目 12/18 132名 3日目 12/21 131名 修了 131名	1日目 12/7 2日目 12/18 3日目 12/21	1日目 ・乳児保育の意義 大泉保育福祉専門学校 保育科 講師 半田 美千子 2日目 ・乳児保育の環境 大泉保育福祉専門学校 保育科 主任講師 香川 順子 ・乳児保育の適切な関わり 大泉保育福祉専門学校 保育科 主任講師 香川 順子 3日目 ・乳児の発達に応じた保育内容 大泉保育福祉専門学校 保育科 主任講師 香川 順子 ・乳児保育の指導計画、記録及び評価 大泉保育福祉専門学校 保育科 講師 半田 美千子
26. 群馬県教育・保育のキャリアアップ研修（第2期） 53保健衛生・安全対策		1日目 12/14 145名 2日目 12/26 144名 3日目 12/27 147名 修了 145名 ※1期からの振替を含む。	1日目 12/14 2日目 12/26 3日目 12/27	1日目 ・保健計画の作成と活用 東京福祉大学・大学院 保育児童学部 准教授 佐野 葉子 2日目 ・事故防止及び健康安全管理 東京福祉大学・大学院 保育児童学部准教授 佐野 葉子 ・保育所における感染症対策ガイドライン 東京福祉大学・大学院 社会福祉学部教授 植地 正文 3日目 ・保育の場において血液を介して感染する病気を防止するためのガイドライン 東京福祉大学・大学院 社会福祉学部教授 植地 正文 ・教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン 東京福祉大学・大学院 社会福祉学部教授 橋本 由利子
27. 群馬県教育・保育のキャリアアップ研修（第3期） 43食育・アレルギー対応		1日目 1/10 140名 2日目 1/17 139名 3日目 1/22 139名 修了 140名 ※2期からの振替を含む。	1日目 1/10 2日目 1/17 3日目 1/22	1日目 ・栄養に関する基礎知識 明和学園短期大学 生活学科 栄養専攻教授 神保 京子 2日目 ・食育計画の作成と活用 明和学園短期大学 生活学科 栄養専攻専任講師 尾上 治子 ・保育所における食事の提供ガイドライン 明和学園短期大学 生活学科 栄養専攻教授 神保 京子 3日目 ・アレルギー疾患の理解 高崎健康福祉大学健康福祉学部 社会福祉学科 特任教授 田島 貞子 ・保育所におけるアレルギー対応ガイドライン 高崎健康福祉大学健康福祉学部 社会福祉学科 特任教授 田島 貞子

研修事業名	研修目的	対象・出席人員	開催期日	研修内容
28. 群馬県教育・保育 のキャリアアップ 研修（第3期） 63保護者支援・ 子育て支援		1日目 1/17 99名 2日目 1/18 100名 3日目 1/25 98名 修了 99名 ※2期からの振替を含む。	1日目 1/17 2日目 1/18 3日目 1/25	1日目 ・保護者に対する相談援助 関東短期大学 学長 渡辺 敏正 2日目 ・保護者支援・子育て支援の意義 関東短期大学 こども学科 教授 木村 たか子 ・虐待予防 関東短期大学 こども学科 教授 岩崎 裕一 3日目 ・地域における子育て支援 関東短期大学 こども学科 教授 森 静子 ・関係機関との連携、地域資源の活用 関東短期大学 こども学科 教授 森 静子
29. 群馬県教育・保育 のキャリアアップ 研修（第3期） 33障害児保育		1日目 1/21 129名 2日目 1/28 133名 3日目 2/26 132名 修了 134名 ※2期からの振替を含む。	1日目 1/21 2日目 1/28 3日目 2/26	1日目 ・障害の理解 新島学園短期大学 コミュニケーション子ども学科 専任講師 小菅 ゆみ 2日目 ・障害児保育の環境 関東短期大学 こども学科 准教授 布施 由起 ・障害児の発達の援助 関東短期大学 こども学科 准教授 布施 由起 3日目 ・家庭及び関係機関との連携 新島学園短期大学 コミュニケーション子ども学科 専任講師 小菅 ゆみ ・障害児保育の指導計画、記録及び評価 群馬医療福祉大学 社会福祉学部 助教 川端 奈津子
30. 群馬県教育・保育 のキャリアアップ 研修（第3期） 23幼児教育		1日目 2/6 123名 2日目 2/13 122名 3日目 2/21 120名 修了 120名	1日目 2/6 2日目 2/13 3日目 2/21	1日目 ・幼児教育の意義 新島学園短期大学 コミュニケーション子ども学科 准教授 八幡 真由美 2日目 ・幼児教育の環境 新島学園短期大学 コミュニケーション子ども学科 准教授 八幡 真由美 ・幼児の発達に応じた保育内容 新島学園短期大学 コミュニケーション子ども学科 准教授 八幡 真由美 3日目 ・幼児教育の指導計画、記録及び評価 新島学園短期大学 コミュニケーション子ども学科 准教授 八幡 真由美 ・小学校との接続 新島学園短期大学 コミュニケーション子ども学科 准教授 八幡 真由美

研修事業名	研修目的	対象・出席人員	開催期日	研修内容
3 1. 群馬県教育・保育 のキャリアアップ 研修（第3期）	1 4 乳児保育	1 日目 2/12 137名 2 日目 2/22 132名 3 日目 2/28 132名 修了 134名 ※2期からの振替を含む。	1 日目 2/12 2 日目 2/22 3 日目 2/28	1 日目 • 乳児保育の意義 明和学園短期大学 生活学科 こども学専攻専任講師 藤生 瞳恵 2 日目 • 乳児保育の環境 群馬パース大学福祉専門学校 保育学科 専任講師 剣持 佐智子 • 乳児保育の適切な関わり 群馬パース大学福祉専門学校 保育学科 専任講師 剑持 佐智子 3 日目 • 乳児の発達に応じた保育内容 関東短期大学 こども学科 教授 森 静子 • 乳児保育の指導計画、記録及び評価 関東短期大学 こども学科 教授 森 静子
3 2. 群馬県教育・保育 のキャリアアップ 研修（第3期）	3 4 障害児保育	1 日目 2/18 87名 2 日目 3/1 84名 3 日目 3/8 87名 修了 84名 ※2期からの振替を含む。	1 日目 2/18 2 日目 3/1 3 日目 3/8	1 日目 • 障害の理解 高崎健康福祉大学 人間発達学部子ども教育学科 助教 村田 美和 2 日目 • 障害児保育の環境 群馬パース大学福祉専門学校 保育学科 専任講師 井上 晓子 • 障害児の発達の援助 群馬パース大学福祉専門学校 保育学科 専任講師 井上 晓子 3 日目 • 家庭及び関係機関との連携 高崎健康福祉大学人間発達学部 子ども教育学科 准教授 野田 敦史 • 障害児保育の指導計画、記録及び評価 高崎健康福祉大学人間発達学部 子ども教育学科 准教授 野田 敦史
3 3. 群馬県教育・保育 のキャリアアップ 研修（第3期）	5 4 保健衛生・安 全対策	1 日目 2/25 116名 2 日目 3/11 118名 3 日目 3/18 113名 修了 115名 ※2期からの振替を含む。	1 日目 2/25 2 日目 3/11 3 日目 3/18	1 日目 • 保健計画の作成と活用 群馬パース大学福祉専門学校 非常勤勤務 小室 浩子 2 日目 • 事故防止及び健康安全管理 群馬パース大学福祉専門学校 非常勤勤務 小室 浩子 • 保育所における感染症対策ガイドライン 群馬パース大学福祉専門学校 非常勤勤務 小室 浩子 3 日目 • 保育の場において血液を介して感染する病気を防止 するためのガイドライン 群馬パース大学福祉専門学校 非常勤勤務 小室 浩子 • 教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン 群馬パース大学福祉専門学校 非常勤勤務 小室 浩子

研修事業名	研修目的	対象・出席人員	開催期日	研修内容
34. 群馬県教育・保育 のキャリアアップ 研修（第3期） 73マネジメント		1日目 2/27 107名 2日目 3/1 107名 3日目 3/6 106名 修了 108名 ※2期からの振替を含む。	1日目 2/27 2日目 3/1 3日目 3/6	1日目 ・マネジメントの理解 東京福祉大学・大学院 保育児童学部 非常勤講師 大木 俊則 2日目 ・リーダーシップ 東京福祉大学・大学院 保育児童学部 教授 太田 節子 ・組織目標の設定 東京福祉大学・大学院 社会福祉学部 准教授 佐々木 貴雄 3日目 ・人材育成 東京福祉大学・大学院 学保育児童学部 教授 関口はつ江 ・働きやすい環境づくり 東京福祉大学・大学院 保育児童学部 教授 岡野 雅子
35. 福祉施設キャリアパス管理者研修	事業所における人材育成とキャリアアップ制度の重要性を理解し、職員がやりがいをもって働き続けられる事業所の構築を目的とする。 また、事業所の特性に合わせたキャリアパスを構築し、段階ごとの役割や使命を明確にするとともに、事業所での研修体系を作成するためには必要な知識と具体的な策定方法を習得する。	事業所等の人材、人材育成、研修計画担当するリーダーや管理者 定員 80名 受講者 78名 1日目 12/14 73名 2日目 2/15 59名	1日目 12/14 2日目 2/15	1日目 ・福祉の人材育成における課題と現状 ～キャリアパスの基本的理解～ ・事業所に合わせたキャリアパスを構築する～段階の設定と役割の明確化 高崎健康福祉大学 健康福祉学部 社会福祉学科 教授 永田 理香 2日目 ・各事業所のキャリアパスについての意見交換・課題抽出 ・キャリアパスに対応した研修カリキュラムづくりに向けて 高崎健康福祉大学 健康福祉学部 社会福祉学科 教授 永田 理香
36. 福祉施設OJT担当者研修	職場研修の基本であるOJT研修の理解と方法、効果的な実践と具体的な指導方法を学ぶ。	事業所等の人材育成、職場内研修担当者 定員 80名 受講者 80名 1日目 12/21 78名 2日目 2/13 70名	1日目 12/21 2日目 2/13	1日目 ・人材育成におけるOJTの考え方と方法 ・OJT計画の策定 和洋女子大学 学長 岸田 宏司 2日目 ・OJT計画の評価と見直し ・職場全体への取り組みと実践 和洋女子大学 学長 岸田 宏司

Ⅶ 社会福祉法人への支援と福祉サービスの質の向上への取組

1 社会福祉法人・施設等への支援と連携強化

(1) 地域における公益的な取組の実施に向けた支援

ア 「群馬県ふくし総合相談支援事業」の実施

改正社会福祉法により社会福祉法人の責務となった「地域における公益的な取組」を推進するため、高齢、障害、児童、社協等の社会福祉法人で構成される16の県域団体で協議を重ね、平成30年7月24日より本格的に事業開始となった。

(ア) 全体会議

期 日 平成30年7月24日（火）
会 場 群馬県社会福祉総合センター 大ホール
出席者 238名
内 容

- ・事業説明「群馬県ふくし総合相談支援事業の実施について」
説明者：群馬県ふくし総合相談支援事業 事務局
(群馬県社会福祉協議会 施設福祉課)
- ・記念講演「今、社会福祉法人に求められる役割とは
～社会福祉法人の地域化と地域における公益的な取組～」
講師：文京学院大学人間学部人間福祉学科 准教授 中島 修 氏

(イ) 研修会

a なんでも福祉相談員研修会I（基礎編） ※A・B日程で開催

〔A日程〕

期 日 平成30年8月13日（月）
会 場 群馬県市町村会館 大研修室
出席者 126名

〔B日程〕

期 日 平成30年9月7日（金）
会 場 群馬県市町村会館 大研修室
出席者 112名
内 容

- ・講義①「社会福祉制度を取り巻く県内の情勢について」
講 師：群馬県健康福祉部健康福祉課 地域福祉推進室
- ・講義②「なんでも福祉相談員マニュアルの説明と事業内容の確認について」

説明者：群馬県ふくし総合相談支援事業 事務局
(群馬県社会福祉協議会 施設福祉課)

- ・講義③「相談支援の基本的事項について」
- ・講義④「事例検討・情報交換」

講 師：東京福祉大学社会福祉学部 准教授 北爪 克洋 氏

b なんでも福祉相談員研修会II（実践編） ※A・B日程で開催

〔A日程〕

期 日 平成30年11月2日（金）
会 場 群馬県勤労福祉センター 第1・2会議室
出席者 132名

[B 日程]

期 日 平成30年12月14日（金）

会 場 群馬県勤労福祉センター 第1・2会議室

出席者 93名

内 容

- ・講義①「社会福祉分野の主な社会資源を知る（行政説明）」

講師【高齢】群馬県健康福祉部介護高齢課 福祉施設係

【障害】群馬県健康福祉部障害政策課 支援調整係

【児童】群馬県こども未来部子育て・青少年課 保育係

- ・講義②「社会福祉分野の主な社会資源を知る（マニュアル説明等）」

説明者 群馬県ふくし総合相談支援事業 事務局

（群馬県社会福祉協議会 施設福祉課）

- ・講義③「社会資源の活用と調整・開発」

- ・講義④「事例検討・情報交換」

講師 東京福祉大学社会福祉学部 准教授 北爪 克洋 氏

(ウ) 参加社会福祉法人・なんでも福祉相談員・相談件数

a 参加社会福祉法人数 141法人

b なんでも福祉相談員数 242名

c なんでも福祉相談件数

報告月	新規受付件数	相談のべ件数	支援終結件数
6月末	—	—	—
9月末	26	29	11
12月末	65	69	46
3月末	53	140	43
合 計	144	238	100

イ 関係団体との連携

県社協部会・分科会構成団体の代表者や社会福祉法人で構成される団体とが協働し、社会福祉の情勢について課題を共有したり、解決に向けての協議を行う場として勉強会を開催した。また、地域における公益的な取組を推進するため、群馬県社会福祉法人連絡会による協議を行った。

(ア) 群馬県社協部会・分科会構成団体代表者会議・勉強会

期 日 平成31年2月19日（火）

会 場 群馬県公社総合ビル 西研修室

出席者 39名（県社協部会・分科会構成の団体、県行政 他）

内 容

- ・講演「福祉人材の確保・育成における課題と今後の展望について」

講師 全社協「福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程運営委員会」委員長

日本福祉大学 福祉経営学部 教授 田島 誠一 氏

(イ) 群馬県社会福祉法人連絡会の運営

昨年度、連絡会作業部会である地域公益活動部会での協議を経て創設、開始となった「群馬県ふくし総合相談支援事業」の運営等にかかる協議を行った。

月 日	事 業 内 容	会 場
6月27日	第4回群馬県社会福祉法人連絡会	県公社総合ビル
3月 1日	群馬県ふくし総合相談支援事業運営委員会	県社会福祉総合センター

(ウ) 社会福祉法人役員等講習会（県と共催）

期 日 平成30年12月13日（木）

会 場 群馬県公社総合ビル 多目的ホール

出席者 227名

内 容

・講演

テーマ「社会福祉法人制度改革施行2年目の実態と今後の経営戦略」

講師 独立行政法人福祉医療機構経営サポートセンター
シニアリサーチャー 千葉 正展 氏

(エ) 社会福祉法人の地域公益活動推進セミナー（県経営協 共催、県 後援）

期 日 平成31年3月13日（水）

会 場 前橋市総合福祉会館 多目的ホール

出席者 143名

内 容

・講演

テーマ「群馬県ふくし総合相談支援事業を検証する」

講師 東京福祉大学社会福祉学部 准教授 北爪 克洋 氏

・パネルディスカッション

テーマ「なんでも福祉相談員の活動を振り返る」

パネラー なんでも福祉相談員4名（高齢、障害、児童、社協）

コーディネーター 東京福祉大学社会福祉学部 准教授
北爪 克洋 氏

ウ 群馬県社会福祉法人経営者協議会との連携

県内社会福祉法人・施設の実践力強化に向けたセミナーを、県経営協及び県と連携して開催した。

(ア) 社会福祉法人等の労務管理セミナー

期 日 平成30年6月27日（水）

会 場 群馬県公社総合ビル 多目的ホール

出席者 230名

内 容 「福祉事業所における労務管理のチェックポイントについて」「群馬県ふくし総合相談支援事業の実施について」

(イ) 社会福祉法人の地域公益活動推進セミナー

期 日 平成31年3月13日（水）

会 場 前橋市総合福祉会館 多目的ホール

出席者 143名

内 容 「群馬県ふくし総合相談支援事業を検証する」

（2）福祉施設経営相談事業の実施

社会福祉法人及び社会福祉施設の適正かつ安定的な経営と適切な利用者待遇の向上を目指して、県社会福祉法人経営者協議会と連携のもとに情報提供、人

材確保・育成、経営相談事業等を次のように実施した。

ア 福祉施設経営相談事業

(ア) 対 象 県内の社会福祉法人

(イ) 実施主体 群馬県社会福祉協議会、群馬県社会福祉法人経営者協議会

※ 福祉施設経営指導員の配置状況は次のとおりである。

経営指導員	兼 任		備 考
	会計経理 (税理士)	労 務 (社会保険労務士)	
2	1	1	

・相談事項の内容別件数

内 容	訪問相談	来所相談	電話相談	その他	計
1 入所者処遇	0	0	0	0	0
2 施設経営一般	0	4	9	2	15
3 職員処遇	0	0	5	2	7
4 会計・税務	0	0	41	0	41
5 安全・防災	0	0	0	0	0
6 衛生管理	0	0	0	0	0
7 施設整備	0	0	1	0	1
8 人材確保対策	0	0	0	0	0
9 労使問題	0	0	0	0	0
10 預り金	0	0	0	0	0
11 地域交流	0	0	0	0	0
12 その他	0	0	0	0	0
合 計	0	4	56	4	64

(3) 社会福祉法人の機能強化への支援

ア 全国経営協・災害福祉支援体制構築助成事業

群馬県災害福祉支援ネットワーク構成団体に声かけを行い、災害派遣福祉チームの組織強化の一助として、先遣隊のブラッシュアップ研修を行った他、経営青年会と共にモデルB C P策定検討会を立ち上げ、社会福祉法人・福祉施設の防災力向上の一助とした。

(ア) 災害派遣福祉チーム員（先遣隊）のブラッシュアップ研修 30名

(イ) モデルB C P策定検討会の開催（年2回）

(ウ) 社会福祉法人・福祉施設の防災力向上のための勉強会の開催（年1回）

(エ) 災害派遣福祉チーム員の登録 74名

(4) 青年経営者として求められる知識と実践的能力の取得

ア 「群馬県社会福祉法人経営青年会」の支援

(ア) 総会

期 日 平成30年5月30日（水）

会 場 群馬県社会福祉総合センター B01会議室

出席者 出席者27名 委任状24名

内 容

- ・議案 平成29年度事業報告について
平成29年度収支決算について
平成30年度事業計画について
平成30年度収支予算について

(イ) 勉強会

[第1回] ※総会後に開催

期 日 平成30年5月30日（水）
会 場 群馬県社会福祉総合センター B01会議室
出席者 33名（会員28名、非会員5名）
内 容

- ・テーマ「働き方改革を福祉現場の視点から考える」
講師 講師：社会保険労務士 中野事務所
所長 中野 秀人 氏
- ・意見交換会「オフサイトミーティング 顔の見える関係作り」

[第2回]

期 日 平成30年10月5日（金）～6日（土）
会 場 伊香保温泉 ホテル天坊
出席者 19名（会員19名）
内 容

- ・テーマ「広報ツールの効果的な活用について
～人が集まるホームページのつくり方・見せ方～」
講師 株式会社グリーゼ 取締役 福田 多美子 氏
- ・全体会議「今後の社会福祉法人としての取り組みについて」

[第3回]

期 日 平成31年3月15日（金）
会 場 群馬県公社総合ビル 東研修室
出席者 30名（会員22名、非会員8名）
内 容

- ・講義I 「外国人技能実習制度
～選抜試験から入国、そして帰国まで～」
講師 国際ビジネス協同組合 常務理事 和田 明伸 氏
- ・講義II 「働き方改革と働き方改革関連法について」
講師 ブランケット社会保険労務士・行政書士事務所
所長 金井 雄吾 氏

（5）積極的な情報発信のための支援

群馬県ふくし総合相談支援事業の専用ホームページの開設や、本会の広報誌である福祉ぐんまへの記事掲載を通じた発信をし、県内の社会福祉法人の各種取組や事業の「見える化」を行った。

2 障害者福祉施策への取組

（1）障害者の就労・自立への支援

- ア「群馬県社会就労センター協議会」の支援
(ア) 群馬県障害者施設等共同受注窓口の運営支援

障害者施設等共同受注窓口の運営支援をすることにより、障害者の就労機会を増やし、工賃水準の向上、社会参加と自立促進に努めた。

- a 総 会 年 1 回
- b 臨時施設長会 年 1 回
- c 理事会 年 4 回
- d 役員会 年 6 回
- e 推進・評価委員会 年 2 回
- f あつたかぐんまのハートバザール(障害者施設等製品共同販売会) 年 2 回
- g SELP SHOP 年 2 回

3 社会福祉法人・社会福祉施設への支援

(1) 群馬県社会福祉協議会民間社会福祉施設等職員共済事業の実施

ア 民間社会福祉施設等職員共済制度

(ア) 加入状況(H31.3.31現在) 453 法人・1,148 施設／18,461 人

- a 老人福祉施設等関係施設 496 施設／7,235 人
- b 児童・障害福祉関係施設 266 施設／4,290 人
- c 保育園関係施設 342 施設／5,987 人
- d 社会福祉団体 44 団体／949 人

(イ) 退職手当支払資金・福利厚生給付金決定状況

- | | |
|----------------|------------------------|
| a 退職手当支払資金 | 1,510 件／114,369,864 円 |
| b 福利厚生給付金 | 19,299 件／164,667,507 円 |
| ・死亡弔慰金 | 47 件／6,860,000 円 |
| ・傷病見舞金 | 156 件／3,522,000 円 |
| ・結婚祝金 | 424 件／12,720,000 円 |
| ・災害見舞金 | 4 件／320,000 円 |
| ・出産祝金 | 557 件／13,925,000 円 |
| ・入学祝金 | 1,487 件／12,948,000 円 |
| ・長期勤続者慰労金 | 734 件／12,530,000 円 |
| ・退職慰労金 | 1,597 件／69,537,000 円 |
| ・特例退職慰労金 | 403 件／3,993,000 円 |
| ・障害厚生年金見舞金 | 0 件／0 円 |
| ・遺児育英資金 | 7 件／1,400,000 円 |
| ・厚生保養費 | 150 件／150,000 円 |
| ・生活習慣病予防検診助成金 | 6,040 件／20,608,107 円 |
| ・レクリエーション事業助成金 | 7,693 件／6,154,400 円 |
| c 福利厚生資金貸付事業 | 2 件／1,600,000 円 |

(ウ) 運営委員会の開催

a 運営委員 11 名 (任期 平成 29 年 11 月 1 日～平成 31 年 10 月 31 日)

NO	氏 名	職 名
1	○ 真下 誠治	県社協経営者部会代表
2	須田 啓美	県社協社会的養護分科会代表
3	高井 弘仁	県社協高齢福祉部会代表
4	佐藤 憲秀	県社協子ども福祉部会代表
5	中島 穂穂	県社協障害福祉部会(知的障害福祉分科会)代表
6	吉田 典子	県保協保育士分科会代表

NO	氏 名	職 名
7	高田 裕史	県福祉施設従事者会代表
8	小渕 香代子	県身体障害者施設協議会代表
9	◎ 永田 智彦	永田会計事務所長
10	武藤 幸夫	県健康福祉部健康福祉課長
11	山後 秀明	県社協常務理事

◎委員長 ○副委員長

b 開催状況

[第1回]

期 日 平成30年12月6日（木）
 会 場 群馬県社会福祉総合センター 特別会議室
 出席者 10名
 内 容

- ・県単共済の事業概要について
- ・資金管理要綱の改正について
- ・社会福祉法人会計基準の改正に伴う県単共済会計等の取扱について

(エ) 全国会議・ブロック会議等

関東ブロック民間社会福祉従事者共済制度情報連絡会(当番県 神奈川県)
 期 日 平成30年10月26日（金）
 会 場 横浜市健康福祉総合センター 大会議室
 出席者 26名
 内 容

- ・協議・意見交換、情報交換、全体会

(2) 福祉医療機構社会福祉施設職員等退職手当共済事業の実施

ア 退職届等提出書類の確認及び委託元への送付

イ 実務研修会の開催

期 日 平成30年10月19日（金）
 会 場 群馬県社会福祉総合センター 大ホール
 出席者 129名
 内 容

- ・社会福祉施設職員等退職手当共済制度の概要について

(3) 教員免許特例法による介護等体験事業の推進

ア 教員免許特例法による介護等体験事業

「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」により、小学校及び中学校の教諭の普通免許状取得希望者に社会福祉施設等での介護等体験が義務づけられていることから、社会福祉施設等での円滑な受け入れを推進するため、本会において受入調整事業を行った。

(ア) 申込状況

学校区分	申込大学等数	体験実施者数
大 学	29	564
短 期 大 学	2	16
合 計	31	580

(イ) 受入状況

種別	施設種	施設数	体験者数
保護施設	救護施設	2	5
	計	2	5
高齢者	養護老人ホーム	4	9
	特別養護老人ホーム	52	101
	老人デイサービスセンター	123	318
	有料老人ホーム	8	15
	介護老人保健施設	28	64
	計	215	518
障 傷	障害者支援施設	3	3
	知的障害者更生施設	2	2
	知的障害者授産施設	2	2
	生活介護事業	13	23
	就労移行支援事業	2	2
	就労継続支援事業	8	16
	地域活動支援センター	1	6
	身体障害者療護施設	1	2
	計	32	58
児 童	乳児院	0	0
	児童養護施設	1	1
	児童デイサービス	0	0
	知的障害児通園施設	0	0
	重症心身障害児施設	1	1
	計	2	2
合 計		251	580

(ウ) 介護体験事業事前説明会

- a 期 日 平成30年7月27日（金） 高崎健康福祉大学
対 象 各大学の学生（教員免許取得希望者）及び担当職員
内 容
 - ・介護等体験の概要、意義、心構え、注意事項等
- b 期 日 平成30年10月15日（月） 関東学園大学
対 象 各大学の学生（教員免許取得希望者）及び担当職員
内 容
 - ・介護等体験の概要、意義、心構え、注意事項等
- c 期 日 平成30年11月7日（水） 高崎商科大学
対 象 各大学の学生（教員免許取得希望者）及び担当職員
内 容
 - ・介護等体験の概要、意義、心構え、注意事項等

4 福祉サービスの質の向上への取組強化

(1) 第三者評価機関並びに評価調査者の確保

ア 評価機関連絡会議の開催

期 日 平成30年6月20日（水）
会 場 群馬県社会福祉総合センター 301会議室
出席者 15名
内 容
・第三者評価受審促進に向けた受審率の目標設定について
・保育所及び認定こども園版の評価の試行状況について
・評価調査者養成研修について
・評価機関の抱える課題、問題点等について

イ 評価調査者養成研修の開催

(ア) 基礎研修会

- a 福祉サービスにおける第三者評価の基礎
期 日 平成30年7月25日（水）
会 場 群馬県社会福祉総合センター 602研修室
出席者 6名
内 容
・福祉サービス第三者評価についての基本的な考え方について
- b 老人福祉施設の基礎
期 日 平成30年7月31日（火）
会 場 群馬県社会福祉総合センター 602研修室
出席者 6名
内 容
・老人福祉施設の基礎について（施設経営、サービスの内容等）
- c 保育所の基礎
期 日 平成30年8月1日（水）
会 場 群馬県社会福祉総合センター 602研修室
出席者 6名
内 容
・保育所の基礎について（施設経営、サービスの内容等）

(イ) 養成研修会

- a 養成研修Ⅰ
期 日 平成30年8月4日（土）
会 場 群馬県庁昭和庁舎 26会議室
出席者 14名
内 容
・群馬県内の福祉サービスの概要
・推進センターぐんまにおける第三者評価の流れ
・推進センターぐんまにおける第三者評価の基本的な視点
- b 養成研修Ⅱ
期 日 平成30年8月5日（日）
会 場 群馬県庁昭和庁舎 26会議室
出席者 14名
内 容
・群馬県版共通評価基準の解釈
- c 養成研修Ⅲ
期 日 平成30年8月18日（土）
会 場 群馬県社会福祉総合センター 602研修室
出席者 14名

内 容

- ・実地研修の流れ
- ・評価、訪問調査の基本的な姿勢、具体的な方法について
- ・グループワーク

d 養成研修IV

(a) 実地研修①

期 日 平成30年8月29日（水）
会 場 あけぼのホーム、めぐみの里（渋川市）
出席者 4名

(b) 実地研修②

期 日 平成30年8月31日（金）
会 場 永光荘（渋川市）
出席者 3名

(c) 実地研修③

期 日 平成30年9月3日（月）
会 場 愛老園（伊勢崎市）
出席者 4名

(d) 実地研修④

期 日 平成30年9月5日（水）
会 場 エンゼル保育園（大泉町）
出席者 3名

e 養成研修V

期 日 平成30年9月15日（土）
会 場 群馬県社会福祉総合センター 602研修室
出席者 14名
内 容

- ・実地研修、ヒアリング振り返り
- ・まとめと今後の方向性について
- ・レポート

（ウ）フォローアップ研修会

a ヒアリングの視点

期 日 平成30年11月23日（金）
会 場 恵の園（渋川市）
出席者 14名
内 容

- ・ヒアリングから報告書作成について
- ・模擬ヒアリングに向けて
- ・ヒアリングのポイント
- ・模擬ヒアリング
- ・講評、振り返り

b 報告書作成の視点

期 日 平成30年11月24日（土）
会 場 群馬県社会福祉総合センター 602研修室
出席者 14名
内 容

- ・報告書作成について
- ・報告書の作成

- ・模擬報告、講評振り返り
- ・まとめ（システム評価について）
- ・レポート

(2) 第三者評価事業の受審促進

ア 福祉サービス評価推進センターぐんまの運営

(ア) 運営委員会の開催

期 日 平成31年3月12日（火）

会 場 群馬県社会福祉総合センター 特別会議室

出席者 委員7名

内 容

- ・第三者評価受審率の目標設定について
- ・第三者評価（認定こども園版等）の試行結果について
- ・群馬県版共通評価基準判断マニュアル（高齢者版）の見直しについて
- ・群馬県版共通評価基準判断マニュアル（救護施設版）の策定しについて
- ・評価調査者養成研修会・継続研修及び更新時研修について

[運営委員会名簿]

No.	職	区分	氏名	所属・役職
1	委員長	学識経験者	細井 雅生	高崎経済大学教授
2	副委員長	学識経験者	高橋 勝男	群馬弁護士会所属弁護士 (高橋三兄弟法律事務所)

No.	職	区分	氏名	所属・役職
3	委員	経営者	茂木 和拡	群馬銀行県庁支店長
4	委員	消費者	八田 直樹	群馬県消費者団体連絡会事務局長
5	委員	報道機関	金井 辰美	上毛新聞社経理局長
6	委員	行政	武藤 幸夫	群馬県健康福祉課長
7	委員	認証・公表専門委員会	松田 直	高崎健康福祉大学教授
8	委員	調査・研究専門委員会	佐藤 達全	育英短期大学教授
9	委員	研修企画専門委員会		

(イ) 委員長連絡会議

a 第1回連絡会議

期 日 平成30年5月2日（水）

会 場 群馬県社会福祉総合センター 602研修室

出席者 7名（各委員長等2名、県2名、県社協3名）

内 容

- ・平成30年度の事業計画について
- ・評価基準の見直し等について
- ・評価調査者の研修について
- ・評価の試行について
- ・評価機関連絡会議について

イ 群馬県版共通評価基準の策定・見直し

(ア) 群馬県版共通評価基準（高齢分野）判断マニュアルの見直し検討会の開催

[第3回]

期 日 平成30年5月9日（水）
会 場 群馬県社会福祉総合センター 203A会議室
出席者 4名
内 容
・高齢分野の見直し

[第4回]

期 日 平成30年5月23日（水）
会 場 群馬県社会福祉総合センター 602研修室
出席者 4名
内 容
・高齢分野の見直し

[第5回]

期 日 平成30年6月20日（水）
会 場 群馬県社会福祉総合センター 301会議室
出席者 4名
内 容
・高齢分野の見直し

[第6回]

期 日 平成30年12月7日（金）
会 場 群馬県社会福祉総合センター 501会議室
出席者 4名
内 容
・高齢分野の見直し

[第7回]

期 日 平成31年1月7日（月）
会 場 群馬県社会福祉総合センター 602研修室
出席者 4名
内 容
・高齢分野の見直し

[第8回]

期 日 平成31年2月8日（金）
会 場 群馬県社会福祉総合センター 602研修室
出席者 4名
内 容
・高齢分野の見直し

[第9回]

期 日 平成31年3月20日（水）
会 場 群馬県社会福祉総合センター 203B会議室
出席者 3名
内 容
・こども園版、新・保育所保育指針対応版の修正

ウ 第三者評価事業の啓発

(ア) 説明会等の開催

群馬県児童養護施設連絡協議会	平成30年4月27日（金）
群馬県社会福祉法人経営者協議会	平成30年5月11日（金）
群馬県身体障害者施設協議会	平成30年12月5日（水）

(イ) 個別出張相談

11 法人・23 事業所 (高齢者: 14、障害者: 5、児童: 4)	
(社福) 桃源会	平成30年4月12日 (木)
(社福) 吉祥会	平成30年9月12日 (水)
(社福) マグノリアニセン	平成30年11月14日 (水)
(社福) 大平台会	平成30年11月14日 (水)
(社福) 群馬県社会福祉事業団	平成30年11月14日 (水)
(学法) 花園学園	平成30年11月28日 (水)
(社福) 鐘の鳴る丘愛誠会	平成30年12月25日 (火)
(社福) タービュランス福祉会	平成31年1月17日 (木)
(社福) 春風会	平成31年2月14日 (木)
(社福) 崇山会	平成31年2月14日 (木)
(社福) 萌希の丘	平成31年2月14日 (木)

(ウ) 自己評価研修会 (高齢版) の開催

期 日 平成31年2月27日 (水)
会 場 群馬県社会福祉総合センター 203B会議室
出席者 16名
内 容
・講義、体験報告、演習

エ 評価機関・評価調査者の資質向上及び事業所への支援

(ア) 評価機関連絡会議の開催

[第1回]

期 日 平成30年6月20日 (水)
会 場 群馬県社会福祉総合センター 301会議室
出席者 15名
内 容

- ・第三者評価受審促進に向けた受審率の目標設定について
- ・保育所及び認定こども園版の評価の試行状況について
- ・評価調査者養成研修について
- ・評価機関の抱える課題、問題点等について

[第2回]

期 日 平成31年2月20日 (水)
会 場 群馬県社会福祉総合センター 301会議室
出席者 11名
内 容

- ・第三者評価受審促進に向けた受審率の目標設定について
- ・保育所及び認定こども園版の評価の試行状況について
- ・評価調査者養成・継続・更新時研修について
- ・評価機関の抱える課題、問題点等について

(イ) 評価機関及び評価調査者向けの研修会等の情報提供の実施

- ・平成30年度全国社会福祉協議会主催研修の情報提供
- ・平成31年度実施予定研修等の情報提供

(ウ) 第三者評価結果の公表と受審認定証の交付

社会福祉法人桃源会 桃ヶ丘保育園
社会福祉法人吉祥会 太田愛育こども園
学校法人花園学園 元総社幼稚園
公益財団法人鉄道弘済会 ひばり保育園

オ 全国社会福祉協議会との連携等

(ア) 全国社会福祉協議会主催研修等への参加

a 全国社会福祉協議会評価事業普及協議会

期 日 平成30年6月11日（月）

会 場 全国社会福祉協議会

内 容

・全国社会福祉協議会説明

・行政説明、質疑・意見交換

b 平成30年度「評価調査者指導者研修会」

期 日 平成30年6月26日（火）～27日（水）

会 場 全国社会福祉協議会

内 容

・全国社会福祉協議会説明

・講義、演習

c 平成30年度「更新時研修」

期 日 平成31年2月6日（水）～7日（木）

会 場 全国社会福祉協議会

内 容

・講義、分科会、演習

(3) 行政との連携・協力

a 第1回評価機関連絡会議の開催にかかる助言

期 日 平成30年6月20日（水）

会 場 群馬県社会福祉総合センター 301会議室

出席者 15名

内 容

・第三者評価受審促進に向けた受審率の目標設定について

・保育所及び認定こども園版の評価の試行状況について

・評価調査者養成研修について

・評価機関の抱える課題、問題点等について

b 第2回評価機関連絡会議の開催にかかる助言

期 日 平成31年2月20日（水）

会 場 群馬県社会福祉総合センター 301会議室

出席者 11名

内 容

・第三者評価受審促進に向けた受審率の目標設定について

・保育所及び認定こども園版の評価の試行状況について

・評価調査者養成・継続・更新時研修について

・評価機関の抱える課題、問題点等について

(4) 運営適正化委員会への支援強化

ア 福祉サービスに係る苦情解決事業の推進

(ア) 福祉サービス苦情解決部会

[第1回]

期 日 平成30年5月14日（月）

会 場 群馬県社会福祉総合センター 202会議室

出席者 委員 4 名

内 容

- ・平成 30 年度苦情相談体制について
- ・前回からの相談受付状況について
- ・その他

[第 2 回]

期 日 平成 30 年 7 月 12 日(木)

会 場 群馬県社会福祉総合センター 201 会議室

出席者 委員 5 名

内 容

- ・前回からの相談受付状況について
- ・苦情解決セミナー(案)について
- ・パンフレットの見直しについて

[第 3 回]

期 日 平成 30 年 9 月 13 日(木)

会 場 群馬県社会福祉総合センター 201 会議室

出席者 委員 5 名

内 容

- ・前回からの相談受付状況について
- ・選考委員会について

[第 4 回]

期 日 平成 30 年 11 月 8 日(木)

会 場 群馬県社会福祉総合センター 特別会議室

出席者 委員 6 名

内 容

- ・前回からの相談受付状況について
- ・手紙の収受について

[第 5 回]

期 日 平成 31 年 3 月 5 日(火)

会 場 群馬県社会福祉総合センター 501 会議室

出席者 委員 5 名

内 容

- ・前回からの相談受付状況について
- ・手紙の収受について

(イ) 苦情相談対応状況

a 受付件数(月別、受付方法別)

	受 付 方 法								備考	
	来所		書面・電話		その他(メール)		計			
	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他		
4月			2	1			2	1		
5月			9	7			9	7		
6月			5	3			5	3		
7月			3	1			3	1		
8月	2		3	3			5	3		
9月	1		2	3			3	3		
10月			2	2			2	2		

	受付方法								備考	
	来所		書面・電話		その他(メール)		計			
	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他		
11月			5	3			5	3		
12月			1	2			1	2		
1月	1		6	4			7	4		
2月	2		9	10			11	10		
3月	3		6	6			9	6		
合計	9		53	45			62	45		

b 種別・申出入の属性

	利用者		家族		代理人		職員		その他		計	
	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他
高齢者	7	3	5	21			2				14	24
障害者	26	9	13	6			1	2			40	17
児童			8	3							8	3
その他										1		1
合計	33	12	26	30			3	2		1	62	45

c 種別並びに受付内容の区分

区分	苦情受付件数	苦情						
		苦情解決の結果						
		①相談援助	②紹介伝達	③あつせん	④通知	⑤その他	⑥継続中	⑦意見・要望
①サービス内容(職員の接遇)	28	22	6					
②サービス内容(サービスの質や量)	16	15	1					
③利用料		1	1					
④説明・情報提供	14	13	1					
⑤被害・損害								
⑥権利侵害		2	1	1				
⑦その他		1	1					
合計	62	53	9					

(ウ) 事業者訪問

- a 第三者委員会議への参加・助言
社会福祉法人富士見会 平成30年6月8日(金) 事務局1名
 - b 苦情対応研修会への参加
社会福祉法人富士見会 平成30年6月8日(金) 事務局1名
 - c 事業所訪問(第三者評価事業担当者と協力)
(社福) タービュランス福祉会 平成31年1月17日(木)
- イ 福祉サービス苦情解決セミナーの開催
期日 平成30年9月18日(火)

会 場 群馬県社会福祉総合センター 大ホール

出席者 271名

内 容

- ・講演「福祉現場におけるクレーム対応

～時代と共に多様化している顧客心理の理解～」

講師 有限会社エファ 代表取締役 菊地 理恵 氏

ウ 運営適正化委員会による福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）の運営監視

(ア) 福祉サービス利用援助事業運営監視部会

[第1回]

期 日 平成30年5月14日(月)

会 場 群馬県社会福祉総合センター 203B会議室

出席者 委員6名

内 容

- ・平成29年度日常生活自立支援事業の実施状況について
- ・平成30年度基幹社協訪問調査の実施について
- ・訪問チェックリストについて

[第2回]

期 日 平成30年11月8日(木)

会 場 群馬県社会福祉総合センター 301会議室

出席者 委員6名

内 容

- ・日常生活自立支援事業の実施状況について
- ・基幹社協訪問調査の報告について
- ・基幹社協訪問調査にかかる指摘事項等について

(イ) 福祉サービス利用援助事業実施社協に対する訪問調査

a 富岡市社会福祉協議会

平成30年6月25日(月) [訪問者] 委員1名、事務局1名

b 伊勢崎市社会福祉協議会

平成30年7月 9日(月) [訪問者] 委員2名、事務局1名

c 桐生市社会福祉協議会

平成30年7月25日(水) [訪問者] 委員1名、事務局1名

d 前橋市社会福祉協議会

平成30年7月31日(火) [訪問者] 委員2名、事務局1名

エ 福祉サービス運営適正化委員会

[第1回]

期 日 平成30年5月14日(月)

会 場 群馬県社会福祉総合センター 203B会議室

出席者 委員11名

内 容

- ・平成29年度福祉サービス運営適正化委員会の事業報告について
- ・平成30年度福祉サービス運営適正化委員会の事業計画について

[第2回]

期 日 平成30年11月8日(木)

会 場 群馬県社会福祉総合センター 301会議室

出席者 委員10名

内 容

- ・正副委員長の選出
- ・部会構成委員の指名
- ・部会正副部会長の選出

オ 福祉サービス運営適正化委員会委員選考委員会

期 日 平成30年9月25日(火)

会 場 群馬県社会福祉総合センター 特別会議室

出席者 委員8名

内 容

- ・「福祉サービス運営適正化委員会」委員の選考について

カ 広報・啓発実施状況

(ア) 福祉サービス苦情解決セミナー

委員会の活動と苦情解決制度の周知を実施

(イ) リーフレットの配布

苦情解決セミナーその他研修会においてリーフレットの配布

(ウ) 県社協ホームページ

委員会の紹介や、県内事業所の苦情解決体制整備状況等の資料を掲載

苦情体制整備WEBマニュアルの充実、セミナー広報

キ 全国及び地方会議・研修会等の出席状況

(ア) 運営適正化委員会事業研究協議会

期 日 平成30年7月18日(水)

会 場 全社協 第3～5会議室

出席者 事務局1名

内 容

- ・基調報告、講義、情報交換等

(イ) 関東甲信越静ブロック運営適正化委員会委員長等連絡会・相談員連絡会

期 日 平成30年10月12日(金)

会 場 飯田橋セントラルプラザ

出席者 事務局1名

内 容

- ・情報交換等

(ウ) 運営適正化委員会相談員研修会

期 日 平成30年10月30日(火)～31日(水)

会 場 全社協 第3～5会議室

出席者 事務局1名

内 容

- ・講義、事例検討、情報交換等

VIII 組織基盤と財政・経営の強化

1 事務局体制の充実強化

(1) 法人運営の強化

ア 理事会、評議員会、正副会長会議、監事会の開催

(ア) 正副会長会議

年月日	議案	場所
30. 6. 7	理事会提出案件について (報告) (1) 会長及び常務理事の職務執行状況について (議案) (1) 平成29年度一般会計収支補正予算専決処分の承認について (2) 平成29年度事業報告について (3) 平成29年度決算について (4) 平成29会計年度にかかる定時評議員会の招集について (5) 理事及び監事候補者の選定について (6) 評議員選任・解任委員の選任について (7) 評議員候補者の選定について (8) 会員規程の全部改正について	県社会福祉総合センター
30. 12. 20	理事会提出案件について (報告) (1) 会長及び常務理事の職務執行状況について (2) 平成30年度一般会計・生活福祉資金会計収支補正予算専決処分について (3) 第2期群馬県社会福祉協議会活動推進計画（中間見直し）（案）について (4) 平成30年7月豪雨災害にかかる職員派遣について (議案) (1) 評議員候補者の選定について (2) 給与規程の一部改正について	県社会福祉総合センター
31. 3. 7	理事会提出案件について (報告) (1) 本会会員の入会にかかる専決処分について (議案) (1) 平成30年度一般会計・生活福祉資金会計収支補正予算について (2) 給与規程の一部改正について (3) 第2期群馬県社会福祉協議会活動推進計画（中間見直し）について (4) 平成31年度事業計画（案）について (5) 平成31年度資金収支予算（案）について (6) 評議員会の招集について	県社会福祉総合センター

(イ) 理事会

年月日	議案	場所
30. 6. 7	(報告) (1) 会長及び常務理事の職務執行状況について (議案) (1) 平成29年度一般会計収支補正予算専決処分の承認について (2) 平成29年度事業報告について (3) 平成29年度決算について (4) 平成29会計年度にかかる定時評議員会の招集について (5) 理事及び監事候補者の選定について (6) 評議員選任・解任委員の選任について (7) 評議員候補者の選定について (8) 会員規程の全部改正について	県社会福祉総合センター
30. 8. 8	(報告) (1) 平成30年度一般会計・生活福祉資金会計収支補正予算専決処分について (2) 本会会員の入会にかかる専決処分について (3) 第2期群馬県社会福祉協議会活動推進計画（中間見直し）策定委員会の設置について (4) 平成30年7月豪雨災害にかかる職員派遣について (議案) (1) 理事候補者の選定について (2) 評議員候補者の選定について (3) 臨時評議員会の招集について	県社会福祉総合センター
30. 12. 20	(報告) (1) 会長及び常務理事の職務執行状況について (2) 平成30年度一般会計・生活福祉資金会計収支補正予算専決処分について (3) 第2期県社協活動推進計画（中間見直し）（案）について (4) 平成30年7月豪雨災害にかかる職員派遣について (議案) (1) 評議員候補者の選定について (2) 給与規程の一部改正について	県社会福祉総合センター
31. 3. 7	(報告) (1) 本会会員の入会にかかる専決処分について (議案) (1) 平成30年度一般会計・生活福祉資金会計収支補正予算について (2) 給与規程の一部改正について (3) 第2期群馬県社会福祉協議会活動推進計画（中	県社会福祉総合センター

年月日	議案	場所
31. 3. 7	間見直し)について (4) 平成31年度事業計画(案)について (5) 平成31年度資金収支予算(案)について (6) 評議員会の招集について	県社会福祉総合センター

(ウ) 評議員会

年月日	議案	場所
30. 6. 22	(議案) (1) 平成29年度一般会計収支補正予算専決処分の承認について (2) 平成29年度事業報告について (3) 平成29年度決算について (4) 理事及び監事の選任について (5) 会員規程の全部改正について	県社会福祉総合センター
30. 8. 22	(報告) (1) 平成30年度一般会計・生活福祉資金会計収支補正予算専決処分について (議案) (1) 理事の選任について	県社会福祉総合センター
31. 3. 22	(議案) (1) 平成30年度一般会計・生活福祉資金会計収支補正予算について (2) 第2期群馬県社会福祉協議会活動推進計画(中間見直し)について (3) 平成31年度事業計画(案)について (4) 平成31年度資金収支予算(案)について	県社会福祉総合センター

(エ) 監事会

年月日	監査事項	場所
30. 5. 16	(1) 平成29年度事業報告について (2) 平成29年度決算について	県社会福祉総合センター

(才) 評議員選任解任委員会

年月日	議題	場所
30. 6. 7	(1) 評議員の選任について	県社会福祉総合センター
30. 8. 21	(1) 評議員の選任について	県社会福祉総合センター
31. 1. 23	(1) 評議員の選任について	県社会福祉総合センター

イ 各部会等の開催

(ア) 市町村社会福祉協議会部会・市町村社会福祉協議会会长会

年月日	実施内容	場所
30. 7. 11	[第1回] 市町村社会福祉協議会会长会 ・講義「自然災害と防災気象情報について」 講師 前橋地方気象台 防災気象官 林 宏一 氏 ・平成29年度事業報告について ・平成29年度決算について ・市町村社協会長セミナー（宿泊研修）について ・群馬県市町村社協活動強化方針について ・市町村社協地域福祉・ボランティア・福祉教育等担当者会議の概要について ・群馬県ふくし総合相談支援事業について ・市町村社協管内における社会福祉法人連絡会の設置 ・運営に向けた情報交換会の概要について ・第2期群馬県社会福祉協議会活動推進計画（中間見直し）策定委員会委員の選出について ・その他	県公社総合ビル
30. 9. 26 ～27	市町村社協会長セミナー（宿泊研修会） ・基調説明「地域共生社会の実現と社協の組織基盤の強化について」 講師 全国社会福祉協議会 地域福祉部 副部長 平井 庸元 氏 ・情報交換	森秋旅館
31. 2. 13	市町村社協トップセミナー テーマ「地域共生社会の実現に向けた社協経営のあり方」 講師 同志社大学 社会学部社会福祉学科 教授 上野谷 加代子 氏	県社会福祉総合センター
31. 3. 15	[第2回] 市町村社会福祉協議会会长会 ・平成31年度事業計画について ・平成31年度予算について ・平成31年度県社協事業の概要について ・日常生活自立支援事業全市町村型移行検討会について ・成年後見制度利用促進に向けて ・群馬県ふくし総合相談支援事業の状況について ・その他	県公社総合ビル 県公社総合ビル

(イ) 障害福祉部会

年月日	実施内容	場所
30. 4. 23	障害福祉部会 総会 ・平成29年度事業報告案並びに決算案について ・平成30年度事業計画案並びに予算案について ・福祉医療(入院時食事療養費助成)の見直しについて ・各種別における平成30年度事業について ・群馬県ふくし総合相談支援事業について	県社会福祉総合センター
30. 7. 25	障害福祉部会第1回定例会 ・障害福祉部会と県との懇談会について ・群馬県社会福祉協議会推進計画(中間見直し)策定委員会委員の推薦について ・第2回定例会について ・今後の地域の権利擁護体制について	県社会福祉総合センター
30. 11. 19	障害福祉部会と県との懇談会 出席者 部会を構成する各種別の代表者、県	県市町村会館
31. 1. 23	障害福祉部会第2回定例会 ・「地域の包括的な権利擁護体制の構築について」 ・「小地域における災害時支援体制の構築について」 ・平成31年度以降の役員等の体制について ・障害福祉部会と県との懇談会について ・平成30年度事業の実施状況について ・平成31年度事業計画等について ・「群馬県マンパワーセンター運営委員会」委員の推薦について ・広報紙「障害福祉部会だより」について ・福祉サービス第三者評価事業について	県社会福祉総合センター
31. 3. 1	広報紙「障害福祉部会だより(第14号)」発行	

ウ 情報管理と個人情報保護の徹底

(ア) 情報管理システムの継続運用により個人情報保護の徹底に努めた。

(イ) 情報の開示・提供体制の整備

群馬県社会福祉協議会文書ファイル一覧を作成し体制整備を図った。

- ・情報開示請求件数 0件
- ・苦情の受付件数 0件

(ウ) 局内LAN環境等の適切な維持管理

老朽化機器、PCの更新を含むLAN環境の適切な維持管理に努めた。

(エ) 課長会議の開催

毎週火曜日、毎月月末に課長会議を実施した。

エ 第2期活動推進計画の中間見直し

第2期県社協活動推進計画（中間見直し）策定のため、策定委員会を開催した。

(ア) 策定委員会の開催状況

[第1回]

期 日 平成30年8月20日（月）
会 場 群馬県市町村会館 特別会議室
内 容

- ・委員長、副委員長の選出について
- ・基本的な考え方（案）について
- ・作業部会の設置報告
- ・今後の委員会スケジュール、見直し計画策定予定について
- ・その他

[第2回]

期 日 平成30年10月30日（火）
会 場 群馬県社会福祉総合センター B01会議室
内 容

- ・第1章・第3章について
- ・作業部会の報告
- ・中間見直し計画（素案）について
- ・第3期計画に向けて
- ・その他

[第3回]

期 日 平成30年12月6日（木）
会 場 群馬県市町村会館 特別会議室
内 容

- ・中間見直し計画（最終案）について
- ・用語解説について
- ・その他

(イ) 県社協会長への答申

- ・期 日 平成30年12月14日（金）

(ウ) 県社協理事会・評議員会での説明と承認

[理事会]

- ・期 日 平成30年12月20日（木）
- ・内 容 中間見直し（案）について報告
- ・期 日 平成31年3月7日（木）
- ・内 容 中間見直し（案）について承認

[評議員会]

- ・期 日 平成31年3月22日（金）
- ・内 容 中間見直し（案）について承認

(2) 災害時における危機管理体制の構築

ア 職員災害初動マニュアルの見直し

本会の災害初動マニュアルの見直しに伴い、他県市町村社協より資料収集等を行った。また、BCPの策定に向けBCP策定研修等へ参加した。

イ 職員緊急連絡網の整備・防災倉庫の設置準備

災害時等における職員の緊急連絡先の確認・整備を行い、災害時における

円滑な支援体制の構築に向けた準備に努めた。

また、災害備品等を格納する防災倉庫の設置にむけて、県健康福祉課、県社会福祉事業団と協議を行い、倉庫設置に向け準備を進めた。

(3) 社会福祉関係制度への対応強化

ア 北関東三県総務担当者会議の開催

法人運営や経理全般、制度改正に伴う対応状況等について、北関東3県社協で情報交換・共有を行った。

期 日 平成30年11月1日（木）

会 場 茨城県社会福祉協議会 ボランティア会議室

出席者 11名（茨城県4、栃木県4、群馬県3）

内 容 法人運営等について

(4) 働きやすい職場環境の整備

ア ストレスチェックの実施

職員がメンタルヘルス不調になることを未然に防止するため、職員のストレスの状況について検査を行い、本人にその結果を通知して自らのストレスの状況について気付きを促し、個人のメンタルヘルス不調のリスクを低減させるとともに、検査結果を集団的に分析し産業医へ報告した。

イ 高年齢者雇用および障害者雇用の促進

急速な高齢化の進行に対応し、高年齢者が意欲と能力に応じて働き続けられる環境の整備を目的として、「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」に基づき、希望者を対象に継続雇用を行った。（継続雇用者数：3名）

また、「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づき、適正な雇用管理職場環境の整備等を行うことにより障害者雇用の安定および推進に努めた。
(障害者雇用率：2%)

(5) 職員の育成強化

ア 社協職員の専門性の向上

県社協職員として必要な能力の養成ならびに専門性の向上を図ることを目的に下記のとおり職員研修を実施した

(ア) 職場外研修（O F F – J T）への参加

a 福祉人材課主催「福祉施設等中堅職員研修Ⅰ」3日、2名

b 全社協主催「会計実務講座（初級）」2名

c 全社協主催「会計実務講座（中級）」2名

d 全社協主催「中堅職員研修」2名

e 全社協主催「災害V C運営支援者研修」2名

f 職連協主催「ステップアップ研修」5名

g 職連協主催「第55回関東ブロック群市區町村社協職員合同研究協議会」4名

h 職連協主催「パワーアップ研修」4名

i 職連協主催「地域福祉活動研修会」4名

j 片品村社協主催「上州雪かき道場2019」3名

イ 資質向上のための環境整備～S D S

(ア) 資格取得促進助成事業

職員が社会福祉に関する資格を取得した際、その取得経費の一部を補助する制度を創設することにより職員の資格取得意欲の増進を促し、もって

資質の向上と地域福祉の増進を図ることを目的とし、職員の資格取得促進助成の周知を行った。

(イ) 職員自己啓発助成事業

本会職員が、自ら問題意識を持ち、新しい知識及び必要な知識を積極的に吸収するために自己啓発を行う場合、研修の受講や知識・技能の習得に要した経費を助成することにより、職員の自己啓発意欲の高揚及び専門能力の向上を図り、もって効率的な業務運営に資することを目的とし助成の周知を行った。

(6) 人事管理の強化

ア 人事考課制度の導入に向け検討し、試行的に人事考課制度を実施した。

(7) 調査研究・政策提言機能の強化

ア 群馬県・全国社会福祉協議会等への施策要望書の提出

(ア) 平成31年度群馬県等の社会福祉施策に対する要望書の提出

期 日 平成30年9月12日（水）

提出先 群馬県健康福祉部長、群馬県こども未来部長

2 財政の健全化と経営の透明性の確保

(1) 基盤となる人件費・事業費の確保

ア 補助・委託事業の取りまとめ

県からの補助・委託事業を取りまとめ、国や県の動向を踏まえながら、適切な時期に交付申請・概算払い等を行った。平成31年度予算編成にあたっては、事業の安定かつ充実が図られるよう県と協議を行った。

(2) 多様な財源の確保と財源体質の改善

ア 自主財源の確保

斡旋、広告料、手数料（書籍、医薬品、ホームページバナー広告）により、自主財源確保に努めた。

(3) 経営の透明性の確保

ア 会計専門家による執行状況の検査・点検

4半期ごとに会計専門家による執行状況の点検・検査を実施した。

監査人 税理士 根本 明人 氏

[第1回]

期 日 平成30年5月9日（水）

会 場 群馬県社会福祉総合センター 特別会議室

内 容

・平成29年度決算について

[第2回]

期 日 平成30年8月23日（木）

会 場 群馬県社会福祉総合センター 県社協事務所東フロア

内 容

・平成30年度第1四半期分について

[第3回]

期 日 平成30年11月6日（火）

会 場 群馬県社会福祉総合センター 特別会議室

内 容

・平成30年度第2四半期分について

[第4回]

期 日 平成31年2月1日（金）

会 場 群馬県社会福祉総合センター 特別会議室

内 容

・平成30年度第3四半期分について

3 社協の広報機能の強化

(1) 県社協ホームページのリニューアルと機関紙の充実

ア ホームページを活用した福祉関係情報の提供

本会ホームページのリニューアルを行い、本会事業や県内福祉活動の周知等について適切かつ円滑に運用をした。

・ホームページ委員会 [第1回] 平成30年 5月18日（金）
[第2回] 平成31年 1月10日（木）

イ 機関紙「福祉ぐんま」の発行

社会福祉施設、市町村社協、民生委員・児童委員等本会会員向けに本会事業や社会福祉に関する各種情報を提供した。外部委員による編集委員会を発足した。

発行部数 1回 12,000部

発行時期 7月、10月、1月、3月 年4回発行

職員による編集委員会 [第1回] 平成30年 4月18日（水）

[第2回] 平成30年 7月 5日（木）

[第3回] 平成30年10月11日（木）

[第4回] 平成31年 1月10日（木）

外部委員による編集委員会 [第1回] 平成30年 4月24日（火）

[第2回] 平成30年 7月24日（火）

[第3回] 平成30年10月23日（火）

[第4回] 平成31年 1月22日（火）

ウ 地元新聞社等への定期的な情報発信

(ア) 上毛新聞社との情報交換会

毎月1回、県社協事業及び社会福祉関係情報を上毛新聞社に提供し、報道機関の協力により、県民に社会福祉の最新情報を提供した。

エ 福祉週間・月間の広報

(ア) 児童福祉週間ポスター 75部

(イ) 敬老の日・老人週間ポスター 75部

(ウ) 歳末たすけあい運動ポスター 1,350部

オ 福祉インフォメーションセンターの運営

(ア) フィルムライブラリーの運営

資 材 名	年間利用回数
ビデオソフト	11

4 関係団体との連携の強化

(1) 県社協会長表彰の実施と社会福祉大会等の開催

ア 平成30年度県社協会長表彰・感謝の実施

表 彰

部 門	人数等
民生委員・児童委員功労者	68名
保護司功労者	28名
社会福祉施設及び団体の役職員功労者	266名
県郡市町村社会福祉協議会役職員功労者	60名
特別優良社会福祉地区	2地区
模範自立障害者	4名
模範母子世帯	4世帯
里親功労者	2組3名
児童青少年健全育成功労者	2名
ホームヘルパー功労者	5名

感 謝

部 門	人数等
一般協助者	4名
協力団体	1団体

イ 群馬県社会福祉協議会会長表彰審査会

期 日 平成30年8月8日(水)

会 場 群馬県社会福祉総合センター B01会議室

内 容 表彰審査

ウ 平成30年度群馬県社会福祉大会の開催

(ア) テーマ

「誰もが役割を持ち、活躍できる、地域共生社会の実現のために」

(イ) 趣 旨

近年、少子高齢化・人口減少がすすむ地域社会において、経済的困窮やひきこもり、社会的孤立・排除、虐待、権利侵害など、地域における多様な福祉課題・生活課題が深刻化し、既存の社会保障・社会福祉制度ではなかなか解決に至らない問題が顕在化している。

本年4月には、地域共生社会の実現に向けて、地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正する法律に

より、改正社会福祉法が施行されました。各自治体では、住民相互の支え合い機能を強化し、協働による地域課題の解決を試みる体制の整備や、複合的課題に対応する包括的相談支援体制の構築、地域福祉計画の充実等が図られることとなった。

そのような中で、われわれ社会福祉関係者には、その役割・使命として、地域住民から寄せられるあらゆる課題を受け止め、地域を基盤にした解決や予防につなげる仕組みづくりなど地域課題の解決力強化に向けた取組みが一層求められている。

本大会では、県内の社会福祉関係者が一堂に会し、社会福祉に関する課題の解決に向けた決意を新たにするとともに、多年にわたり社会福祉の発展に功績等のあった方々に感謝と敬意を表し、本県における福祉活動の更なる普及と社会福祉の一層の充実を図ることを目的として開催した。

- (ウ) 開催日時：平成30年11月21日(水) 10:30～14:00
(エ) 会場：昌賢学園まえばしホール（前橋市民文化会館） 大ホール
(オ) 出席者：952名
(カ) プログラム：

- a 開会のあいさつ
- b 記念講演 10:30～11:45 【第1部】
 - 演題：「写真で伝える“今”」
 - 講師：安田 菜津紀 氏（フォトジャーナリスト）
- c 式典 13:00～14:00 【第2部】
 - 1 開式のことば
 - 2 国歌斉唱
 - 3 物故社会福祉関係者に対する默とう
 - 4 主催者あいさつ：群馬県知事 大澤 正明
 - 5 来賓あいさつ：群馬県議会代表、市町村議会代表
 - 6 来賓紹介
 - 7 表彰・感謝
 - (1) 群馬県知事表彰
 - (2) 福祉ボランティア顕彰
 - (3) 群馬県社会福祉協議会会长表彰・感謝
 - (4) 群馬県共同募金会会长表彰
 - 8 受賞者代表あいさつ
 - 9 大会宣言
- d 閉会のあいさつ

(キ) 開催準備

- a 群馬県社会福祉大会第1回打合せ会
 - 期日 平成30年6月14日(木)
 - 会場 県社会福祉総合センター 301会議室
 - 内容
 - ・大会の期日・会場等について
 - ・大会の日程(案)について
 - ・当日運営係員について
 - ・大会の内容について
- b 群馬県社会福祉大会第2回打合せ会
 - 期日 平成30年7月4日(水)
 - 会場 県社会福祉総合センター 301会議室
 - 内容
 - ・大会の次第・進行順序について

- ・大会役員の役割について
- ・大会当日の係員依頼について
- ・大会開催要綱（案）について
- ・大会宣言（案）について
- ・記念講演講師について

(ク) 群馬県社会福祉大会運営委員会

期 日 平成30年8月8日（水）

会 場 群馬県社会福祉総合センター B01会議室

内 容

- ・平成30年度群馬県社会福祉大会の運営について
- ・大会宣言（案）について

(ケ) 群馬県社会福祉大会係員説明会

[第1回]

期 日 平成30年11月7日（水）

会 場 群馬県社会福祉総合センター B01会議室

出席者 県社協・県共同募金会職員

内 容

- ・群馬県社会福祉大会の運営について
- ・係員の役割分担と業務内容について

[第2回]

期 日 平成30年11月8日（木）

会 場 群馬県庁 101会議室

出席者 県庁職員

内 容

- ・群馬県社会福祉大会の運営について
- ・係員の役割分担と業務内容について

(2) 各種社会福祉団体の活動支援、連携強化

ア 各種社会福祉団体への支援と連携強化

(ア) 第46回群馬県保育研究大会（群馬県、群馬県保育協議会との共催）

テーマ「すべての人が子どもと子育てに関わりを持つ社会の実現をめざして」

期 日 平成31年1月16日（水）

会 場 群馬会館、群馬県庁

出席者 認可保育所・認定こども園職員（施設長・保育士・保育教諭・給食関係者等）、保育行政機関、指定保育士養成校関係者、社会福祉協議会関係者、保護者、その他保育事業関係者

内 容

- ・基調講演 演題「子どもの育ちを未来につなげる」

～保育指針・教育保育要領の改訂、保育要領の見直しを見据えて～

講師：大阪総合保育大学 学長 大学院教授 大方 美香 氏

- ・分科会

第1分科会 保育者の資質向上を図る

第2分科会 子どものより良い育ちにむけた関係機関とのネットワーク

- 第3分科会 「食を営む力」の基礎を培う食育推進
 第4分科会 保育の社会化にむけて～保育の営みをいかに社会に発信するか～
 第5分科会 公立保育所・公立認定こども園等の使命と地域社会での役割

(イ) 第3回あすなろ祭 (群馬県知的障害者福祉協会との共催)

知的障害を持つ方が、施設・事業所での学習や創作活動を通して作成した作品を展示すると共に、豊かな生活を目指して練習を重ね学習した演劇・楽器演奏・合唱等をステージで発表し、地域社会の知的障害者に対する理解と認識を深め地域生活への移行を推進するため開催した。

期日 平成31年3月8日(金)・9日(土)

会場 昌賢学園まえばしホール 大ホール・展示室

出席者 県内の知的障害者(児) 関係施設・事業所の利用者及び関係者
内容

- ・展示部門
絵画、書道、写真、手工芸、生花等
- ・ステージ部門
楽器演奏、ダンス、演劇等

(ウ) 事業の後援等

共催：8件 後援：114 協賛：4件

イ 社会福祉関係予算要望会議の開催

(ア) 平成31年度社会福祉関係予算要望会議の開催

期日 平成30年8月24日(金)

会場 群馬県社会福祉総合センター 203AB会議室

出席者 47名

内容

- ・自己紹介
- ・平成31年度群馬県社会福祉関係予算要望項目について
- ・群馬県等への社会福祉施策への要望項目について
- ・予算確保運動等の今後のスケジュールについて

(イ) 本県社会福祉施策への要望活動の実施

ア 平成31年度群馬県社会福祉予算獲得のための要望行動

期日 平成30年9月12日(水)

会場 【9時45分～】群馬県議会

【10時00分～】自民党県連

【10時30分～】健康福祉部・こども未来部部課長への説明
(県庁15階 健康福祉部会議室)

【11時30分～】副知事(不在のため秘書課長へ説明)
総務部長、財政課長へ説明

内容 県議会議長、自由民主党群馬県支部連合会長及び県に対して14団体からの25項目を要望した。

(ウ) 自由民主党政調懇談会

期日 平成30年10月17日(水)

会場 群馬県社会福祉総合センター 201会議室

出席者 7名

内容 自由民主党群馬県支部連合会に対して2項目を陳情

(エ) 平成31年度群馬県等の社会福祉施策に対する要望書の提出

期日 平成30年9月12日(水)

提出先 群馬県健康福祉部長、群馬県こども未来部長
 ウ 福祉バス「愛の募金号」の運行

福祉バス「愛の募金号」は、県民の暖かい浄財により心身障害者の社会活動のため上毛新聞社「愛の募金委員会」より県に寄贈され、県より運営・管理の委託を受け、昭和58年6月より福祉バスの運行を開始した。

平成27年3月11日に、4代目となる福祉バス「愛の募金号」が上毛新聞社より群馬県へ贈与され、県より継続委託を受け、運行している。

(ア) 月別運行状況

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
運行日数	10	14	16	15	17	14	16	14	9	6	6	13	150

(イ) 県内、県外運行状況

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
県内	7	7	9	7	15	7	9	7	5	3	1	5	82
県外	3	7	7	8	2	7	7	7	4	3	5	8	68

(ウ) 利用人数及び異動困難者

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用人数	273	487	491	403	563	464	421	398	242	221	182	327	4,472
うち移動困難者	40	127	178	44	18	128	94	62	19	17	36	52	815

(エ) 宿泊利用状況及び運行キロ数

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
宿泊利用回数	0	2	2	3	0	0	4	3	0	0	2	1	17
運行キロ数	1,058	2,834	3,056	3,873	1,765	2,477	3,507	3,415	1,524	714	1,680	2,912	28,815

(才) 利用目的

視察及び研修会	11回	スポーツ及びレクリエーション	61回
機能回復訓練	5回	社会見学	51回
各種大会参加	5回	施設見学	10回
保養事業	7回		

エ 事務局団体の運営支援

(ア) 群馬県民生委員児童委員協議会

群馬県民生委員児童委員協議会事務局として、役員会、研修会、研究委員会等の開催や関係機関との連絡調整を図ることにより円滑な民生委員・児童委員活動の推進に努めた。

主な事業内容は以下のとおりである。

月 日	事 業 内 容	会 場
4月10日	正副会長会議〔第1回〕	県社会福祉総合センター
5月 8日	研修企画推進委員会〔第1回〕	県社会福祉総合センター
5月11日	監事会	県社会福祉総合センター
5月14日	正副会長会議〔第2回〕	県社会福祉総合センター
5月14日	理事会〔第1回〕	県社会福祉総合センター
5月14日	県と県民児協との意見交換会	群馬ロイヤルホテル
5月21日	総会	県社会福祉総合センター
6月 4日	主任児童委員連絡会議代表者会議〔第1回〕	県社会福祉総合センター
6月21日	正副会長会議〔第3回〕	県社会福祉総合センター
6月26日 ～27日	第78回関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会	山梨県
7月 5日	県民児協組織検討会〔第1回〕	伊香保温泉 福一
7月 5日 ～ 6日	単位民児協会長研修会	伊香保温泉 福一
7月10日	自立支援研究委員会〔第1回〕	県社会福祉総合センター
7月13日	地域福祉研究委員会〔第1回〕	県社会福祉総合センター
7月25日 ～26日	全国主任児童委員研修会(東日本)	
7月30日	研修企画推進委員会〔第2回〕	県社会福祉総合センター
7月30日	研修活動委員会	県社会福祉総合センター
7月31日	主任児童委員連絡会議代表者会議〔第2回〕	県社会福祉総合センター
7月31日	子ども福祉研究委員会・主任児童委員連絡会議合同会議〔第1回〕	県社会福祉総合センター
8月21日	単位民児協活動推進費事業視察(下仁田町)	下仁田町
8月23日	市民児協活動推進費事業視察(みどり市)	みどり市
8月27日	単位民児協活動推進費事業視察(前橋市大胡地区)	前橋市大胡地区
8月28日	正副会長会議〔第4回〕	県社会福祉総合センター
9月 7日	「県民児協たより」編集委員会〔第1回〕	県社会福祉総合センター
9月 7日	広報広聴活動委員会	県社会福祉総合センター
9月12日	民生委員・児童委員相談援助研修会	県社会福祉総合センター
9月14日	市民児協活動推進費事業視察(藤岡市)	藤岡市
9月19日	単位民児協活動推進費事業視察(みなかみ町)	みなかみ町

月 日	事 業 内 容	会 議
9月21日	正副会長会議〔第5回〕	県社会福祉総合センター
9月27日 ～28日	第87回全国民生委員児童委員大会沖縄大 会	沖縄県
10月 5日	単位民児協活動推進費事業視察(桐生市16地区)	桐生市
10月 5日	単位民児協活動推進費事業視察(伊勢崎市殖蓮地 区)	伊勢崎市
10月10日	県民児協組織検討会	県庁昭和庁舎
10月10日	正副会長会議〔第6回〕	県庁昭和庁舎
10月10日	知事との意見交換会	県庁
10月10日	主任児童委員連絡会議代表者会議〔第2回〕	県社会福祉総合センター
10月18日 ～19日	主任児童委員情報交換会 民生委員・児童委員のための相談技法研修 会	県社会福祉総合センター 東京ベイ幕張
10月21日		高崎市
11月 1日 ～ 3日	単位民児協活動推進費事業視察(高崎市六郷地区) 民生委員・児童委員リーダー研修会	新横浜プリンスホテル
11月 2日		県市町村会館
11月 7日	1期目民生委員・児童委員研修会①	桐生市
11月 8日	1期目民生委員・児童委員研修会②	J Aビル
11月 9日	単位民児協活動推進視察(桐生市17地区)	県市町村会館
11月12日	1期目民生委員・児童委員研修会③	県市町村会館
11月13日	1期目民生委員・児童委員研修会④	県市町村会館
11月26日	1期目民生委員・児童委員研修会⑤	昭和村
11月28日	1期目民生委員・児童委員研修会⑥	県町村会館
11月29日	単位民児協活動推進費事業視察(昭和村)	県市町村会館
11月30日	1期目民生委員・児童委員研修会⑦	県市町村会館
12月 4日	1期目民生委員・児童委員研修会⑧	県社会福祉総合センター
12月 4日	1期目民生委員・児童委員研修会⑨	県社会福祉総合センター
12月 4日	正副会長会議〔第7回〕	県社会福祉総合センター
12月 6日	理事会〔第2回〕	県社会福祉総合センター
12月 7日	ブロック別市町村民児協会長会議	県社会福祉総合センター
12月10日	研修企画推進委員会〔第3回〕	県市町村会館
12月11日	正副会長会議〔第8回〕	県市町村会館
12月11日	中堅民生委員・児童委員研修会①	県市町村会館
12月12日	中堅民生委員・児童委員研修会②	県市町村会館
12月12日	中堅民生委員・児童委員研修会③	県市町村会館
12月19日	中堅民生委員・児童委員研修会④	高崎市
12月20日	中堅民生委員・児童委員研修会⑤	太田市
12月20日	単位民児協活動推進費事業視察(高崎市中央地区)	中之条町
1月 22日 ～23日	単位民児協活動推進費事業視察(太田市沢野地区) 吾妻ブロック民児協会長情報交換会	新横浜プリンスホテル
1月 24日	全国児童委員研究協議会	J Aビル
1月 25日		J Aビル
1月 25日	中堅民生委員・児童委員研修会⑥	J Aビル
2月 1日	中堅民生委員・児童委員研修会⑦	群馬ロイヤルホテル
2月 1日	中堅民生委員・児童委員研修会⑧	群馬ロイヤルホテル

月 日	事 業 内 容	会 議
2月13日 ～15日	正副会長会議〔第9回〕 各種表彰受賞者祝賀会	ロフォス湘南
2月22日	全国民生委員指導者研修会（第28回全国民生委員大学）	県市町村会館
2月26日		泉の園
2月28日	主任児童委員研修会	県社会福祉総合センター
2月28日	地域福祉研究委員会〔第2回〕	県社会福祉総合センター
3月11日	市町村民児童委員会〔第2回〕	県社会福祉総合センター
3月11日	自立支援研究委員会〔第2回〕 正副会長会議〔第10回〕	県社会福祉総合センター
3月15日	全国民生委員児童委員大会群馬大会実行委員会・専門部会〔第1回〕	県社会福祉総合センター
3月15日	主任児童委員連絡会議代表者会議	県社会福祉総合センター
3月26日	子ども福祉研究委員会・主任児童委員連絡会議合同会議	県社会福祉総合センター
3月26日	「県民児童委員たより」編集委員会〔第2回〕 正副会長会議〔第11回〕	県社会福祉総合センター
	理事会〔第3回〕	県社会福祉総合センター
	役員研修会	

(イ) 群馬県内社協職員連絡協議会

群馬県内社協職員連絡協議会事務局として、各種役員会、研修会等の開催や情報を提供することによって社協職員の質の向上に努めた。

主な事業内容は以下のとおりである。

月 日	事 業 内 容	会 場
4月17日	第1回正副会長会議並びに会計監査	県社会福祉総合センター
4月24日	第1回役員会	県社会福祉総合センター
4月24日	総会・研修会（講義「子どもの未来を地域で支える」）	県社会福祉総合センター
6月26日	ステップアップ研修会（講義「目指すべき社協職員像とは」）	県公社総合ビル
7月12日 ～13日	第55回関東ブロック郡市区町村社協職員合同研究協議会	甲府富士屋ホテル
12月25日	パワーアップ研修会（講義・演習「相談援助技術研修」）	県社会福祉総合センター
12月25日	第2回役員会	県社会福祉総合センター
1月16日	関東ブロック社協職員の会連絡会理事会	東京都社協
3月 1日	地域福祉活動研修会（講義「支え合いの地域づくりの取り組み」）	県社会福祉総合センター
3月31日	広報紙「紙ふうせん」第53号発行	.

(ウ) 群馬県ホームヘルパー協議会

群馬県ホームヘルパー協議会事務局として、各種役員会、研修会等の開催や情報を提供することによってホームヘルプサービスの質の向上に努めた。

a 総 会 年1回

b 役員会議

(a) 役員会議

年5回

	(b) 三役員会議	年1回
	(c) 各委員会会議	年3回
c	監事会	年1回
d	県・県社協・旧役員・介護技術トレーナーとの情報交換会	年1回
e	全国ホームヘルパー協議会会員との情報交換会	年2回
f	各種研修会	
	(a) 全体研修会	年1回
	(b) ホームヘルパースキルアップ研修	年5回
	(c) 訪問介護員フォローアップ研修	年1回
	(d) サービス提供責任者養成研修	年1回
	(e) サービス提供責任現任研修	年5回
	(f) 介護技術トレーナー現任研修	年5回
	(g) 視察研修	年1回
g	相談事業（電話対応）	月1回
h	ぐんま介護フェス 2018 参加	

(エ) 群馬県里親の会

群馬県里親の会事務局として、各種役員会、研修会等の開催や情報を提供することによって里親の養育技術の向上及び交流を図った。

- a 総会 1回
- b 役員会議 6回（正副会長会議1回含む）
- c 監事会 1回
- d 各委員会
 - (a) 広報委員会 5回
 - (b) 研修委員会 5回(合同開催含む)
- e 研修会等
 - (a) 子ども料理教室 1回
 - (b) ふれあいプロジェクト 1回
- f 広報啓発活動
 - (a) 「おしゃべり通信」発行（1号 150部・2号 150部）
 - (b) 会報「さとおや」の発行（700部）
 - (c) 群馬県里親の会ホームページ 運営
 - (d) 群馬県里親の会マーリングリスト 運営
 - (e) 「写真展フォスター」開催
(8月24日に県庁で里親への理解と里親制度の普及の写真展開催)
 - (f) OneLove キャンペーン
(10月4日里親の日に県内2ヶ所で里親制度の啓発)
- g 里親活動への支援事業
 - (a) 各地区に関しての活動助成（3千円×会員数を3地区に）
 - (b) 里親賠償責任保険への加入
 - (C) 里子の運転免許取得助成事業（対象里子1人あたり上限15万円助成）
 - (d) 全国大会等への大会参加経費助成金の交付
 - (e) 里子の自立支援等関連情報提供 15回
 - (f) 里親文庫運営（里親の資質向上に役立つ図書の貸出）41冊貸出
 - (g) 里親養育指針ハンドブック配布（新規会員22世帯へ配布）
- h 里親支援機関事業
 - (a) 里親家庭訪問 6回
 - (b) 里親による電話相談 172回
 - (c) 里親による来所訪問相談 3回

- (d) 里親サロン参加（地区里親サロン含む） 22回
- (e) 研修会・会議等参加 49回
- (f) 新規里親希望者による来所相談・電話相談 3回
- (g) 研修会等企画運営
 - ・群馬県里親の会 里親の資質向上研修会 3回
 - ・地区里親会と共に 里親の資質向上研修会 3回
 - ・群馬県里親の会 おしゃべりの会 3回
 - ・群馬県里親の会 赤ちゃんサロン 3回
- (h) 養育・養子縁組里親研修における里親会の説明 2回
- i 研修会・大会への参加
 - ・平成30年度第1回関東甲信越静里親研究協議会代表者会議
 - ・第64回関東甲信越静里親研究協議会静岡市大会
 - ・平成30年度度第3回関東甲信越静里親研究協議会代表者会議
 - ・平成30年度全国里親大会会長（代表者）会議
 - ・第63回全国里親大会石川大会

(オ) 群馬県ボランティア連絡協議会

県内の各地域におけるボランティアグループ同士の交流、課題解決や活動の発展、地域福祉の向上を目指す。

a 運営委員会の開催状況

(a) 総会

期 日	平成30年6月18日（月）
会 場	群馬県社会福祉総合センター 203会議室
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度事業報告・収支決算・監査報告 ・平成30年度事業計画・収支予算 ・その他

(b) 全体定例会議

[第1回]

期 日	平成30年11月15日（木）
会 場	群馬県社会福祉総合センター 201会議室
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度群馬県ボランティア研究集会の振り返りについて ・平成30年度ぐんまボランティアフォーラムについて ・その他

b 役員会

[第1回]

期 日	平成30年5月7日（月）
会 場	群馬県社会福祉総合センター ボランティアルーム
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度総会・運営委員会について ・その他

[第2回]

期 日	平成31年2月14日（木）
会 場	群馬県社会福祉総合センター 201会議室
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度ぐんまボランティアフォーラムについて ・その他

c ボランティア研究集会

期 日 平成30年9月8日（土）～9日（日）

会 場 雨情の湯「森秋」

内 容

- ・講義「防災の基礎知識」

　　講師 日本防災士会専門員 群馬県支部 防災士 福田 力氏

- ・活動報告

　　報告者 高崎市ボランティアグループ連絡協議会 副会長

　　高崎点証奉仕会 高橋 春江 氏

　　伊勢崎ボランティア協会 会長 小倉 良枝 氏

d ブロック別研修会

(a) 西部ブロック研修会

期 日 平成30年10月31日（水）

会 場 新島学園、有田屋、安中市文化センター、碓氷製糸株式会社

内 容

- ・新島学園・碓氷製糸株式会社視察研修会・交流会

(b) 利根沼田ブロック研修会

期 日 平成30年12月11日（火）

会 場 田園プラザ川場 研修室

内 容

- ・「防犯講話・護身術実技」

　　講師 沼田警察署生活安全課企画係

(c) 吾妻ブロック研修会

期 日 平成30年11月14日（水）

会 場 中之条町ツインプラザ

内 容

- ・「若返リトミック」

　　講師 介護予防運動指導員

　　国立音楽院認定 音楽療法士 濱田 幸子 氏

　　日本音楽療法学会認定音楽療法士

　　国立音楽院認定 音楽療法士 松島 裕子 氏

(d) 東部ブロック研修会

期 日 平成31年2月4日（月）

会 場 太田市福祉センター（西部支所内）

内 容

- ・ボランティアの集い（演芸会）

　　講師 講談師 日向 ひまわり 氏

　　落語家 春風亭 柳之助 氏

(力) 群馬県おもちゃの図書館連絡会

県内のおもちゃの図書館（12館）の普及と活動の活性化を支援。

a 群馬県おもちゃの図書館連絡会定例会

[総会・第1回]

期 日 平成30年4月16日（月）

会 場 前橋市総合福祉会館 第2作業室

内 容

- ・平成29度事業報告・決算報告について

- ・平成30年度役員について

- ・平成30年度事業計画・予算について

[第2回]

期日 平成30年6月18日（月）

会場 前橋市総合福祉会館 第2作業室

内容

- ・おもちゃと写真展について
- ・ふれあい・ゆうあい交流フェスタについて
- ・30周年記念表彰及び副賞の使い方について
- ・研修会について
- ・各館近況報告

[第3回]

期日 平成30年11月5日（月）

会場 前橋市総合福祉会館 第2作業室

内容

- ・ふれあい・ゆうあい交流フェスタ、おもちゃと写真展の報告
- ・講演会について
- ・リーフレットの作成について
- ・各館近況報告

[第4回]

期日 平成31年1月23日（水）

会場 前橋市社会福祉会館 第2作業室

内容

- ・講演会について

[第5回]

期日 平成31年2月18日（月）

会場 前橋市社会福祉会館 会議室2

内容

- ・講演会の報告について
- ・連絡会通信について
- ・リーフレットの作成について

b わくわく子どもキッズフェスタ

期日 平成30年8月18日（土）

会場 前橋市プラザ元気21

内容

- ・おもちゃと写真展として出展協力
- ・パネル展示
- ・出張おもちゃ図書館

c ふれあい・ゆうあい交流フェスタ

- ・フェスタ前日準備・研修会

期日 平成30年10月13日（土）

会場 群馬県青少年会館

内容

- ・当日の進行について
 - ・ボランティア注意事項
 - ・スタッフ事前研修
- ・ふれあい・ゆうあい交流フェスタ（当日）
- 期日 平成30年10月14日（日）
- 会場 群馬県青少年会館

内 容

- ・おもちゃの図書館のブースを担当

d 太田市スポーツレクリエーション祭

期 日 平成30年10月28日（日）

会 場 太田市運動公園

内 容

- ・おもちゃの図書館のブースを担当

e 群馬県おもちゃの図書館連絡会30周年記念講演会

期 日 平成31年2月2日（土）

会 場 前橋市総合福祉会館 ホール

内 容

- ・群馬県内おもちゃの図書館活動紹介
- ・講演
- ・パネル・おもちゃ展示

(キ) 群馬県住民参加型在宅福祉サービス団体連絡会

a 役員会の開催状況

〔第1回〕

期 日 平成30年5月23日（水）

会 場 群馬県社会福祉総合センター 特別会議室

〔第2回〕

期 日 平成31年3月28日（木）

会 場 群馬県社会福祉総合センター ボランティアーム

b 総 会

期 日 平成30年5月23日（水）

会 場 群馬県社会福祉総合センター 特別会議室

c 個別相談会

期 日 平成30年11月30日（金）

会 場 群馬県社会福祉総合センター 特別会議室

d 地域住民の生活に必要な移動・外出支援について考えるフォーラム

期 日 平成30年11月30日（金）

会 場 群馬県社会福祉総合センター ホール

出席者 205名

e 国土交通大臣認定 移送サービス運転協力者講習会

〔1回目〕

(a) 期 日 平成30年9月21日（金）

会 場 群馬県勤労福祉センター 54名（講義）

(b) 期 日 平成30年10月15日（月）

会 場 伊勢崎自動車教習所 26名（実技）

(c) 期 日 平成30年10月29日（月）

会 場 群馬県自動車教習所 27名（実技）修了者53名

〔2回目〕

(a) 期 日 平成30年12月18日（火）

会 場 群馬県勤労福祉センター 46名（講義）

(b) 期 日 平成31年1月15日（火）

会 場 群馬県自動車教習所 27名（実技）

(c) 期 日 平成31年1月21日（月）

会 場 群馬県自動車教習所 19名（実技）修了者46名
f 福祉サービス送迎運転者講習会
(a) 期 日 平成30年6月20日（水）
会 場 桐生市総合福祉センター 修了者22名
(b) 期 日 平成30年7月12日（木）
会 場 群馬県勤労福祉センター 修了者26名
(c) 期 日 平成30年12月10日（月）
会 場 太田市福祉会館 修了者20名
g その他 講習会情報、助成金情報等をメールニュースにて会員宛に周知

(ク) 群馬県社会福祉法人経営者協議会

a 総 会
期 日 平成30年5月11日（金）
会 場 前橋マーキュリーホテル 新館「鶴の間・奥」

b 正副会長会議

[第1回]

期 日 平成30年8月7日（火）
会 場 群馬県公社総合ビル 第4会議室

c 理事会

[第1回]

期 日 平成30年5月11日（金）
会 場 前橋マーキュリーホテル 本館「孔雀の間」

[第2回]

期 日 平成31年1月24日（木）
会 場 群馬県公社総合ビル 第1会議室

d 監事会

期 日 平成30年4月19日（木）
会 場 ボランティアルーム

e 研修会

(a) 社会福祉施設等施設長・管理者研修（県社協福祉人材課と共に）
期 日 平成30年9月10日（月）
会 場 前橋市総合福祉会館 多目的ホール

(b) 社会福祉法人・福祉施設の防災力向上のための勉強会
期 日 平成31年1月30日（水）
会 場 群馬県社会福祉総合センター B01会議室

(c) 群馬県経営協セミナー（全国経営協と共に）

[前期]

期 日 平成30年8月7日（火）
会 場 群馬県公社総合ビル ホール

[後期]

期 日 平成30年1月24日（木）
会 場 群馬県公社総合ビル ホール

(d) 社会福祉法人の地域公益活動推進セミナー（県、県社協と共に）
日 時 平成31年3月13日（水）
会 場 前橋市総合福祉会館 多目的ホール

(e) 群馬県社会福祉法人連絡会への参画

平成28年12月13日に発足した県内16の関係種別団体で構成される連絡会へ参画。

- (ヶ) 群馬県老人福祉施設協議会
- a 総 会 年3回
 - b 役員会議
 - (a) 正副会長会議 年12回
 - (b) 理事会 年7回
 - c 監事会 年1回
 - d 県との情報交換会 年1回
 - e 各ブロック
 - (a) 中毛ブロック
 - (b) 西毛ブロック
 - (c) 東毛ブロック
 - (d) 北毛ブロック
 - f 各委員会
 - (a) 総務委員会 年7回
 - (b) 研修委員会 年9回
 - (c) 広報委員会 年10回
 - (d) 養護老人ホーム委員会 年10回
 - (e) 特別養護老人ホーム委員会 年6回
 - (f) 軽費老人ホーム・ケアハウス委員会 年5回
 - (g) 老人デイサービス委員会 年5回
 - (h) 21世紀委員会 年10回
 - g 各職種別研究部会
 - (a) 生活相談員研究部会
 - (b) 介護研究部会
 - (c) 栄養調理研究部会
 - (d) 看護研究部会
 - (e) 事務研究部会
 - (f) 老人デイサービス研究部会

- (コ) 群馬県保育協議会
- a 総 会 年2回
 - b 監事会 年1回
 - c 役員会議
 - (a) 正副会長等会議 年12回
 - (b) 本部役員会 年6回
 - (c) 評議員会 年2回
 - d 各委員会
 - (a) 保育ぐんま編集委員会 年12回
 - (b) 予算対策委員会 年5回
 - (c) 施設長分科会 年9回
 - (d) ホームページ委員会 年3回
 - (e) 研修企画委員会 年 6回
 - (f) 事務局会 年11回
 - (g) 特別委員会（合同就職説明会） 年7回
 - (h) 予算編成会議 年1回

- (サ) ぐんま子育て支援センター連絡会
- a 運営委員会 年6回
 - b 総会 年1回
 - c 子育て支援センター専門研修会

- (a) 専門研修会 I 年1回
- (b) 専門研修会 II 年1回
- D 観察研修会（課題別研修会） 年1回
- e ぐんま子育て支援ふれあいコンサート 年1回
- f 子育て支援センター事例報告・情報交換会 年1回
- g 広報紙「るんるん」発行 1回

(シ) 群馬県地域包括・在宅介護支援センター協議会

- a 加入状況 86センター（包括72・在介14）
- b 総会 年1回
- c 役員会 年2回
- d 委員会
 - (a) 総務・研修企画委員会 年5回
 - (b) 広報情報委員会 年3回
- e 会報「つながり」の発行 年2回
- f 専門研修、課題別研修会等の開催

【県委託研修】

- (a) 初任者向け研修 年2回
- (b) 現任者向け研修 年1回
- (c) 指導者向け研修 年1回
- (d) 介護予防支援従事者研修 年2回

【自主研修】

- (e) 実践事例検討会 年1回
- (f) 災害支援研修 年1回
- (g) 指導者フォローアップ研修 年1回
- (h) 研究大会 年1回

(ス) 群馬県介護福祉士会

群馬県内における介護福祉士の職業倫理の向上、介護福祉に関する専門的教育及び教育を通してその専門性を高めることなどにより、県民の福祉の増進に寄与することを目的とした群馬県介護福祉士会の活動支援を行った。

[加入状況]

- a 会員 863名
- b 事業状況
 - (a) 介護福祉士の職務に関する知識及び技術の向上に関する事業の実施
 - ・介護実技基礎および応用研修
 - (b) 介護福祉士の倫理及び資質の向上に関する研修会等の実施
 - ・総合的なキャリアアップを目的とする事業（初任者研修、介護福祉士実習指導者講習会、接遇研修会、メンタルヘルス講習会、実習指導者フォローアップ講習会）
 - ・職能的研修（サービス提供責任者研修、介護技術講習会）
 - (c) 介護福祉士の社会的地位の向上と相互福祉に関する事業の実施
 - ・介護の日」に関する事業（介護相談およびPR活動…4会場）
 - ・会報の発行（年6回）とホームページによる情報提供
 - (d) 介護福祉士を目指す人への情報提供及び講習会の開催
 - ・介護福祉士国家試験受験対策事業
 - ・介護福祉士国家試験受験対策全国一斉模擬試験
 - (e) 群馬県内の社会福祉専門職その他関係団体との連携に関する事業の実施
 - ・各関係機関、団体等へ委員および講師の派遣

- (f) その他、当法人の目的を達成するために必要な事業の実施
・県民へ介護に関する知識及び技術を普及させるための研修
・社員総会、理事会等組織運営上必要な会議の開催
・日本介護福祉士会との連携強化を図るための会議および研修会への参加

(セ) 群馬県介護支援専門員協会

介護支援専門員の職業倫理・資質の向上、介護保険に関する知識・技術の向上、介護支援専門員の業務を円滑に遂行することなどにより、県民の福祉の増進に寄与することを目的とした群馬県介護支援専門員協会の活動支援を行った。

[加入状況]

- a 会員 1, 055名
b 事業状況
(a) 年6回の広報誌（会報）の発行・ホームページやインターネットを通じての情報提供
(b) ケアマネージャーの資質向上と学術研修・交流の場として、ケアマネジメント群馬フォーラムを開催。
(c) 介護支援専門員を目指す人のための介護支援専門員実務研修受験対策講座の実施
(d) 県民公開講座「わが家の災害対応から地域の災害対応を考える」の開催
(e) 定時総会、理事会、各委員会等の会議の開催
(f) 群馬県主催介護支援専門員研修に多数の講師を輩出

(ソ) 群馬県救護施設協議会

- a 第44回群馬県救護施設研究協議会
期日 平成31年2月14日（木）～15日（金）
会場 渋川市 ホテル天坊

(タ) 群馬県身体障害者施設協議会

- a 総会
期日 平成30年5月9日（水）
会場 渋川市 ホテル木暮
b 会議・研修
〔第1回〕
期日 平成30年5月9日（水）～10日（木）
会場 渋川市 ホテル木暮
〔第2回〕
期日 平成30年12月5日（水）～6日（木）
会場 渋川市 ホテル木暮
〔第3回〕
期日 平成31年2月6日（水）～7日（木）
会場 渋川市 ホテル木暮

(チ) 群馬県福祉医療施設連絡会

- 期日 平成31年3月19日（火）
会場 群馬県社会福祉総合センター ボランティアーム

(ツ) 群馬県児童養護施設連絡協議会

- a 理事会
期日 平成30年4月27日（金）

会 場 群馬県社会福祉総合センター 203会議室

b 施設長会
[第1回]
期 日 平成30年7月13日（金）
会 場 群馬県中央児童相談所

[第2回]
期 日 平成30年8月21日（火）
会 場 前橋 桃の木川グラウンド管理棟内

[第3回]
期 日 平成30年11月2日（金）
会 場 群馬県社会福祉総合センター 特別会議室

[第4回]
期 日 平成30年12月12日（水）
会 場 群馬県社会福祉総合センター 203会議室

[第5回]
期 日 平成31年2月1日（金）
会 場 群馬県社会福祉総合センター 501会議室

[第6回]
期 日 平成31年3月8日（金）
会 場 群馬県社会福祉総合センター 203会議室

(テ) 群馬県母子生活支援施設協議会

a 定例会
[第1回]
期 日 平成30年4月10日（火）
会 場 高崎市あすなろ寮

[第2回]
期 日 平成30年11月7日（水）
会 場 群馬県社会福祉総合センター ロビー

[第3回]
期 日 平成31年3月2日（土）
会 場 前橋市第三コミュニティセンター第1集会室

[第4回]
期 日 平成31年3月22日（金）
会 場 群馬県社会福祉総合センター ロビー

b 児童交流会
期 日 平成30年8月7日（木）
会 場 ぐんま昆虫の森

c 全体研修会
[第1回]
期 日 平成30年10月16日（火）
会 場 虹ヶ丘園

d ほめトレ講座
期 日 平成31年3月2日（土）
会 場 前橋市第三コミュニティセンター第1集会室

(ト) 群馬県ふれあい・いきいきサロン推進連絡会

a 連絡会の開催状況

[第1回]
期 日 平成30年4月19日（木）
会 場 群馬県社会福祉総合センター 701会議室

出席者 34名

内 容

- ・サロン調査内容協議、研修会企画、情報交換等

[第2回]

期 日 平成30年12月19日(水)

会 場 群馬県社会福祉総合センター 701会議室

出席者 32名

内 容

- ・サロン調査結果報告、サロン助成金調査結果報告、研修会企画、情報交換等

b ふれあい・いきいきサロン研修会

(a) 中部ブロック

期 日 平成30年9月28日(金)

会 場 前橋市総合福祉社会館 多目的ホール

出席者 271名

内 容

- ・講演、シンポジウム

講演講師

Nukiito 代表 高山 弘毅 氏

- ・実践事例発表者

荒子町いきいきサロン 高坂 美智子 氏(前橋市)

月曜サロン 岸 郁代 氏(吉岡町)

コーディネーター

群馬県社会福祉協議会 参事兼地域福祉課長 中越 信一

(b) 西部ブロック

期 日 平成30年10月16日(火)

会 場 高崎市文化会館 大ホール

出席者 534名

内 容

- ・事例発表、レクリエーション研修

実践事例発表者

ふれあいサロン弾・談・暖 田中 英行 氏(高崎市)

いきいきサロン21 高橋 妙子 氏(安中市)

岡田 妙子 氏(安中市)

コーディネーター

群馬県社会福祉協議会 参事兼地域福祉課長 中越 信一

- ・レクリエーション研修

東京都レクリエーション・コーディネーター協会 会長 飯田 弘 氏

(c) 東部ブロック

期 日 平成30年10月2日(火)

会 場 大泉町文化むら 大ホール

出席者 412名

内 容

- ・事例発表、レクリエーション研修

実践事例発表者

元気はつらつ一大間々 大島 美津江 氏(みどり市)

山田 あずみ 氏(みどり市)

コーディネーター

群馬県社会福祉協議会 参事兼地域福祉課長 中越 信一

レクリエーション研修

高崎健康福祉大学健康福祉学部社会福祉学科 助教 堀口 美奈子 氏

(d) 利根沼田ブロック

期 日 平成30年6月13日(水)

会 場 利根沼田文化会館

出席者 236名

内 容

・事例発表、レクリエーション研修

実践事例発表者

えんがわサロン 谷田 恵美子 氏(太田市)

ポケットクラブ 角田 郁子 氏(沼田市)

コーディネーター

群馬県社会福祉協議会 参事兼地域福祉課長 中越 信一

レクリエーション研修

東京都レクリエーション協会 公認講師 湯川 恵子 氏

(e) 吾妻ブロック

期 日 平成30年10月5日(金)

会 場 東吾妻町コンベンションホール

出席者 163名

内 容

・勉強会、レクリエーション研修

勉強会「地域のつながり ささえあいとサロン活動」

群馬県社会福祉協議会 参事兼地域福祉課長 中越 信一

レクリエーション研修

高崎健康福祉大学 人間発達学部 教授 岡本 拡子 氏

(f) 子育てサロン研修会

期 日 平成30年7月25日(水)

会 場 群馬県社会福祉総合センター 大ホール

出席者 185名

内 容

・事例発表、レクリエーション研修

実践事例発表者

太田おもちゃ図書館 Heartful Tree 川田 正美 氏(太田市)

西部地区 わいわいくらぶ 森田 紹代 氏(沼田市)

尾瀬じどうかん 子育てサロン 萩原 均 氏(片品村)

コーディネーター

高崎健康福祉大学 人間発達学部 教授 岡本 拡子 氏

レクリエーション研修

高崎健康福祉大学 人間発達学部 教授 岡本 拡子 氏

オ 全国・関東ブロック研修会開催(当番県)に対する支援

(ア) 関東・甲信越地区身体障害者施設協議会 第1回総会・施設長会議・研修会

期 日 平成30年6月11日(月)~12日(火)

会 場 ホテルメトロポリタン高崎

出席者 270名

内 容

・第1回総会、施設長会議

- ・研修会①「我が事・丸ごと」地域共生社会の実現に向けて
講師 全国社会福祉協議会 副部長 後藤 真一郎 氏
 - ・研修会②公益的な取組の推進に向けて
講師 全国社会福祉法人経営者協議会 制度・政策委員会
副委員長 山田 雅人 氏
- (イ) 全国経営協 北関東・信越ブロック協議会セミナー
- 期 日 平成30年11月9日(金)
- 会 場 ホテルラシーネ新前橋
- 出席者 123名
- 内 容
- ・講演「今、地域のなかで社会福祉法人に求められている災害対策」
講師 華頂短期大学 教授 武田 康晴 氏
 - ・実践発表「社会福祉法人が取り組む地域での防災対策」
進行 全国社会福祉協議会・法人振興部
副部長 鈴木 史郎 氏
- 発表者 社会福祉法人 さかい福祉会 大久保 亮 氏
社会福祉法人 誠光会 藤井 友和 氏

(3) 「福祉の保険」の周知及び事故防止への取組

ア 「福祉の保険」の周知

全社協が実施する福祉の保険の周知、問い合わせに対応した。
ボランティア活動保険等加入促進を行った。

ボランティア活動保険取扱	885件 (県内合計 50, 408件)
ボランティア行事用保険取扱	60件 (県内合計 2, 241件)
福祉サービス総合補償	14件 (県内合計 122件)
送迎サービス補償	2件 (県内合計 35件)

5 社会福祉振興基金の運営

(1) 社会福祉進振興基金助成事業の実施

ア 事業概要

社会福祉振興基金は、県民からの寄付金等を基金に積み立て、その果実でもって県内民間社会福祉事業に対し必要な援助を行うことにより、社会福祉活動の健全な発展を図り、以て県民福祉の増進に寄与することを目的に実施してきた。

イ 寄付受入状況 (単位:円)

区分	金額	受入年月日
匿名	4,000,000 円	30.10.26
一般社団法人 群馬県ゴルフ振興基金	200,000 円	30.11.12
使用済み切手等売上金	5,400 円	31.2.15
合計	4,205,400 円	

ウ 新規基金積立額と基金残高

(単位：円)

項目	金額	備考
(前年度 基金額)	1,048,108,523 円	
基金取崩額	△110,000,000 円	債権満期償還に伴う取崩し 110,000 千円
債券調整額	1,119,686 円	償却減価法による満期償還及び年度末調整額
新規基金積立額	199,802,000 円	新規債権購入に伴う基金積立 199,802 千円
平成30年度末 基金額	1,139,030,209 円	

エ 基金運用実績

運用方法 国債・地方債・政府保証債を自家運用

債券保有数 11銘柄 1,174,372,879 円

受取利息配当金収入 10,409,609 円

オ 助成事業実施状況

県内の社会福祉団体への助成（民間社会福祉活動助成事業）

団体：28団体 事業数：32事業 金額：4,409,780 円

(ア) 母子児童福祉事業助成

(単位：円)

番号	事業名	実施主体	金額	実施時期	助成事業内容
1	ぐんま子育て支援ふれあいコンサート	ぐんま子育て支援センター連絡会	200,000	31.2.16	地域に対して広くサービス展開していくために、子育て中の親子対象コンサートや公演会を通して、子育て支援の充実を図る事業
2	ひとり親家庭体験研修事業	県母子寡婦福祉協議会	200,000	30.7.28 30.4.22	社会体験事業やひとり親家庭支援制度勉強会を開催し、ひとり親家庭の親子の絆の強化と児童の健全育成を図るための事業
3	親子のつどい開催事業	ぐんま地域活動連絡協議会	64,000	30.10.20	親子参加のミニ運動会を実施することにより、親子交流、遊びの場を提供し、家族でのふれあいを深め、児童の健全育成を図る事業
4	第72回関東地区母子寡婦福祉研修大会	群馬県母子寡婦福祉協議会	90,000	30.9.30	国の最新の行政説明や各団体の体験発表・大会宣言・決議等の情報が得るとともに、会員との交流を図るための事業
小計（4事業）			554,000		

(イ) 心身障害児者福祉事業助成

(単位：円)

番号	事業名	実施主体	金額	実施時期	助成事業内容
5	第33回あすなろ祭開催事業	県知的障害者福祉協会	400,000	31.3.8~9	知的障害者の作品展示や演劇等のステージ発表を通じて、地域社会の人たちの知的障害者に対する正しい理解と認識を深める事業の準備費用
6	知的障害者福祉月間事業 第46回福祉パレード開催事業	県手をつなぐ育成会	20,000	30.9.11	知的障害者月間を広く県民に広報宣伝し、知的障害者についての理解を深めるとともに、教育の推進並びに福祉の向上と充実に寄与するための事業
7	第63回日本身体障害者福祉大会ぐんま大会	県身体障害者福祉団体連合会	150,000	30.6.14	会に所属する身体障害者が一同に会し、活動方針を決定するとともに、障害者の自立と社会参加を積極的に発展させるための事業
8	群馬県身体障害者特別研修会事業	県身体障害者福祉団体連合会	80,000	30.9.6~7	身体障害者が日常生活や職業能力を高め社会活動に参加できるよう、施策及び課題に理解を深めて自立更生に資するとともに、福祉行政に反映させることを目的とした事業
9	第41回全国ろうあ者卓球選手権大会	県障害者スポーツ協会	150,000	30.12.22	聴覚障害者が卓球を通じて障害を克服するための強い意思と積極的人生観の涵養、参加者同士の交流、及び社会への聴覚障害者についての啓発を図ることを目的とする事業
10	知的障害者文化活動支援事業「あいあいレクリエーション大会」	県手をつなぐ育成会	95,000	30.9.21	県下の福祉作業所を利用する仲間達が一堂に集い、楽しいゲームやアトラクションを通して親睦と交流を図り連帯感を深め、より豊かな人格形成をめざす事業
11	知的障害者本人活動支援事業(つるの会)	県手をつなぐ育成会(つるの会)	180,000	通年	知的そう外車が社会で孤立しないよう仲間作りをするとともに、研修やレクリエーションをとおして交流と親睦を図る事業
12	第47回関東大会ろう者体育大会	県聴覚障害者連盟	100,000	30.6.22~24	関東のろう者が参加するスポーツの振興と競技スポーツの技術向上をはかり、競技を通して、ろう者の健康と体位向上を図ることを目的とした事業

(単位：円)

番号	事業名	実施主体	金額	実施時期	助成事業内容
13	国際手話講座（入門コース）	県聴覚障害者連盟	250,000	通年 全13回	2020年東京オリンピック、パラリンピックが開催されるにあたり、この講座を通じ、国際貢献の手話ボランティアを養成する事業
14	こころのふれあい・バザー展開催事業	県精神保健福祉協会	77,000	30.9.1	精神障害者、家族、保険李陵福祉の専門家と県民が交流することにより、「こころの健康」について市民が理解を深めることにより、精神障害者の社会復帰を促進する事業
15	スポーツ・文化振興事業	県視覚障害者福祉協会	118,000	31.2.17 30.10.18	会員の生涯教育の一環として、スポーツ講習会・文芸大会を通して、スポーツ・文化振興事業を推進する事業
16	ハンディスキー指導者育成講習会開催事業	県身体障害者スキー協会	72,000	31.1.19 31.2.2 31.3.9 31.3.30	ハンディスキーの普及、技術向上並びに指導者の育成を図ると共に、スキーを通して障害者、健常者がお互いの理解を深め、障害者の社会参加の促進のための事業
17	講座開講事業（外部講師招聘）	県要約筆記会	50,000	30.7.21 30.12.12	外部の専門講師を招聘し、より高い専門性を持った要約筆記者を育てるため講座を開講する。
18	療育訓練（療育キャンプ）事業	県肢体不自由児父母の会連合会	125,000	30.10.13	障害者及び会員のレクリエーションを兼ねての交流と社会見学をするための事業
19	第48回関東地区グランドソフトボール大会（茨城大会）等の参加に伴うバス費用補助	県視覚障害者福祉協会	100,000	30.6.9~10	関東ブロック大会の地区予選会を兼ねる、重要な試合であり、会員の日常生活の向上するための事業
20	群馬県身体障害者福祉団体連合会創立70周年記念大会（第69回福祉大会）	群馬県身体障害者福祉団体連合会	250,000	30.10.11	創立70周年を迎える、身体障害者への県民の理解を高め、身体障害者の福祉向上と発展を期するため、記念大会を開催するとともに記念誌を発行する事業
小計（16事業）			2,217,000		

(ウ) 地域福祉事業助成

(単位：円)

番号	事業名	実施主体	金額	実施時期	助成事業内容
21	ぐんま認知症アカデミー第13回秋の研究発表会開催事業	ぐんま認知症アカデミー	51,000	30.12.2	県内の認知症の医療・リハビリテーションケアに関する専門職の連携を深め、技術の向上、認知症予防や支援に関する研究推進のための事業
22	第68回“社会を明るくする運動”事業	“社会を明るくする運動”群馬県推進委員会	100,000	通年	犯罪・非行の防止と罪を犯した人たちの更生について、全ての国民が理解を深め、犯罪・非行のない明るい社会を築くための普及啓発事業
23	相談員の継続研修事業	群馬いのちの電話	400,000	毎月1回	相談員の資質及び相談技術の向上と多様化する社会現象を的確に捉えられるよう継続的な研修事業
24	ケアマネジメントの周知と啓発事業	県介護支援専門員協会	180,000	30.7.29	ケアマネジメント実践に関する総合的かつ横断的な話題や最新の知識を学ぶこと、介護支援専門員個々のスキルの向上を図ることを目的とした事業
25	連携促進事業（ふれあいプロジェクト）	県里親の会	88,000	30.7.27	会員里親と児童養護施設との相互理解と連携促進を目的に、里親委託の促進を図るための事業
26	社会福祉法人・福祉施設運営の手引き作成	県社会福祉法人経営者協議会	100,000	通年	社会福祉法人制度改革の内容を盛り込んだ手引きを発行することで、県内社会福祉法人の運営支援をする事業
27	成年後見制度利用促進のための啓発事業	県社会福祉士会	62,625	通年	成年後見制度利用促進法の施行により、成年後見制度がより利用されることによる、高齢者等の権利擁護のための啓発事業
28	「介護フェア2018」公開記念講演会	県介護福祉士会	250,000	30.11.11	「介護フェア」を開催し、介護の仕事の魅力を発信することにより、あらゆる層に介護への理解や関心を高めることで、多様な人材確保につなげていくことを目的とした事業
29	会員拡大プロジェクト事業	県ホールヘルパーアクセス協議会	100,000	通年	パンフレットを作成し、会の周知啓発をするため作成の事業
30	こども食堂ネットワークぐんま設立・運営事業	こども食堂ネットワークぐんま設立準備会	191,155	30.7.15	県内のこども食堂のネットワーク設立大会の開催や、啓発事業や研修、情報交換会等の実施を通して、こども食堂の輪を広げ、県内にこども食堂を普及させていくための事業
小計（10事業）			1,522,780		

(エ) ボランティア事業助成

(単位：円)

番号	事業名	実施主体	金額	実施時期	助成事業内容
31	ボランティア活動の普及拡大	県ボランティア連絡協議会	96,000	30.10.31 30.11.13 30.12.11 31.2.4	県内ボランティア活動の普及啓発のため、県内5ブロックにおいて研修会を実施
32	おもちゃの図書館普及促進事業	県おもちゃの図書館連絡会	20,000	30.8.18 30.10.14 30.10.28 31.2.2	障害を持つ子どもたちが中心となる「おもちゃの図書館」の普及・啓蒙を図る事業
小計（2事業）			116,000		

力 群馬県社会福祉協議会事業への活用状況

事業数：10事業 金額：6,071,931円

(単位：円)

番号	事業名	実施部署	金額	実施時期	事業内容
1	広報啓発事業	総務企画課	2,424,289	通年	機関紙「福祉ぐんま」および本会ホームページのリニューアルを行い、情報発信の強化を図る事業
2	基金事務経費	総務企画課	783,269	通年	振興基金補助事務等にかかる経費
3	ボランティアコーディネーション力強化事業	地域福祉課	193,029	通年	市町村社協担当者に向けて、コーディネーターとして地域で活動するにあたり必要なスキル向上のため、テーマ別で研修会を開催する事業
4	見守り支援・孤立防止セミナー開催事業	地域福祉課	32,654	31.2.7	地域共生社会の実現に向けて「制度の狭間」の課題解決のための総合相談や社会的孤立を防ぐ事例を学び、地域における多様な見守り活動について理解を深めることを目的に研修会を開催する事業
5	日常生活自立支援事業利用料助成	生活支援課	963,125	通年	基準利用料の一部減額相当分を基幹社協に補助する事業
6	生活困窮者自立相談支援事業一時生活支援事業	生活支援課	9,666	通年	住居のない生活困窮者に対して一定期間宿泊場所や衣食の提供等を行う一時生活支援事業における健康診断料補助事業

7	心配ごと相談事業	生活支援課	550,040	通年	県民の生活上の悩みについて、群馬弁護士会と契約し、月2回弁護士による相談と市町村社協巡回研修会に講師派遣を行う事業
8	成年後見ネットワーク事業	生活支援課	64,195	通年	群馬弁護士会、司法書士会、社会福祉士会等、後見関係団体による日常生活自立支援事業、成年後見軽度の連携のための連絡会議をするとともに、成年後見制度の啓発普及のため研修会を開催する事業
9	社会福祉法人支援事業	施設福祉課	571,664	通年	社会福祉法人制度改革に伴う地域における公益的な取り組みへの支援事業
10	福祉施設経営指導事業（経営相談）	施設福祉課	480,000	通年	社会福祉法人・社会福祉施設の適正で安定的な経営と適切な利用者処遇の向上のための事業
小計（10事業）		6,071,931			

キ 群馬県災害ボランティア初動資金積立金の状況と積立金残高 単位：円)

支 払 先	金 額	備 考
(前年度繰越)	9,658,857	
藤岡ボランティアサークル	200,000	
災害ボランティアぐんま	200,000	
NPO法人ふるさと再生ネットワーク	130,000	
災害支援チーム K-net	200,000	
太田医療技術専門学校歯科衛生学科	200,000	
災害ボランティアネットワーク桐生	200,000	
桐生市ボランティア協会	200,000	
平成30年度 積立額	8,328,857	平成31年3月31日現在

全国200万人加入!! 日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険



対象となるボランティア活動

- ◆グループの会則に則り企画、立案された活動であること（グループが社会福祉協議会に登録されている必要があります。）
- ◆社会福祉協議会に届け出た活動であること
- ◆社会福祉協議会に委嘱された活動であること
※活動のための学習会または会議などを含みます。
- ※自宅などとボランティア活動を行う場所との通常の経路による往復途上を含みます。（自宅以外から出発する場合は、その場所と活動場所への往復途上となります。）

保険金をお支払いする主な場合

- 清掃ボランティア活動中、転んでケガをして通院した。（ケガの補償）
- 活動に向かう途中、交通事故にあって亡くなられた。（ケガの補償）
- 活動中、食べた弁当でボランティア自身が食中毒になつて入院した。（ケガの補償）
- 家事援助ボランティア活動で清掃中、誤って花びんを落としてこわした。（賠償責任の補償）
- 自転車でボランティア活動に向かう途中、誤って他人にケガをさせた。（賠償責任の補償）

(※)天災タイプでは、天災（地震、噴火または津波）に起因する被保険者自身のケガを補償します（天災危険担保特約条項）が、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償！

- 行事参加者（主催者[個人]を含みます。）全員のケガを補償
- 行事主催者の損害賠償責任も補償

送迎サービス補償（傷害保険）

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償！

- 送迎・移送サービス利用者を特定したAプラン
- 送迎・移送サービスのための自動車を特定したBプラン

- このご案内は概要を説明したものです。お申込み、パンフレット・詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者　社会福祉法人 全国社会福祉協議会

（引受幹事）損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
保険会社
TEL: 03(3349)5137
受付時間：平日の9:00～17:00（土日・祝日、12/31～1/3を除きます。）

保険金額・年間保険料（1名あたり）

	Aプラン	Bプラン
ケガの補償	死亡保険金 1,040万円	1,400万円
	後遺障害保険金 1,040万円（限度額）	1,400万円（限度額）
	入院保険金日額 6,500円	10,000円
手術保険金	入院中の手術 65,000円	100,000円
	外来の手術 32,500円	50,000円
	通院保険金日額 4,000円	6,000円
	特定感染症の補償 上記後遺障害、入院、通院の各補償金額（保険金額）に同じ	
	葬祭費用保険金（特定感染症） 300万円（限度額）	
賠償責任の補償	賠償責任保険金（対人・対物共通） 5億円（限度額）	
年間保険料	基本タイプ 350円	510円
	天災タイプ（※）（基本タイプ+地震・噴火・津波） 500円	710円

団体割引 20%適用済／過去の損害率による割増引適用

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償！

- 在宅福祉サービス（公的介護保険対象外サービスを含みます。）
- 障害福祉サービス
- 児童福祉サービス
- 障害者地域生活支援事業
- 地域福祉サービス
- 介護保険サービス など

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
営業時間：平日の 9:30～17:30 (12/29～1/3を除きます。)

●この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一緒にして締結する団体契約です。

平成31年度

福祉施設の事故・紛争円満解決のために


 ホームページでも内容を紹介しています
<http://www.fukushihoken.co.jp>


社会福祉施設総合損害補償

しせつの損害補償

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン 1 施設業務の補償

(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護師賠償責任保険、個人情報取扱事業者賠償責任保険、動産総合保険、費用・利益保険)

保険期間 1 年

① 基本補償(賠償・見舞費用)

▶保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故に対応	対人賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	対物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
	新設 徒歩巡回賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
見舞い等の各種費用	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円

② 個人情報漏えい対応補償

③ 施設の什器・備品損害補償

▶年額保険料(掛金)

定員	基本補償(A型)
基本補償(A型) 1~50名	35,000~61,460円
51~100名	68,270~97,000円
以降1名~10名増ごと	1,500円

見舞費用付補償(B型)	【見舞費用加算】 基本補償(A型) + 保険料
	定員1名あたり 入所: 1,300円 通所: 1,390円

- オプション1 ● 訪問・相談等サービス補償
- オプション2 ● 医務室の医療事故補償
- オプション3 ● 看護師の賠償責任補償
- オプション4 ● 借用不動産賠償事故補償
- オプション4 ● クレーム対応サポート補償 改定

プラン 2 施設利用者の補償

(普通傷害保険)

① 入所型施設利用者の傷害事故補償

(10口まで加入できます)

保険期間 1 年、職種級別 A 級

▶保険金額		1 口あたりの補償額
死亡保険金		100万円
後遺障害保険金		程度に応じて死亡保険金額の 4~100%
入院保険金(1 日あたり)		800円
手術保険金		入院中の手術: 入院保険金日額の 10倍 外来の手術: 入院保険金日額の 5倍
通院保険金(1 日あたり)		500円

▶年額保険料(掛金)	定員1人1口あたり
①入所型施設利用者	1,310円
②通所型施設利用者	990円

③ 施設送迎車搭乗中の傷害事故補償

施設送迎車に搭乗中のケガに対し、プラン 2-①、②の傷害保険や自動車保険などとは関係なく補償

プラン 3 施設職員の補償

(労働災害総合保険、普通傷害保険、約定履行費用保険)

② 施設職員の傷害事故補償

(10口まで加入できます)

保険期間 1 年、職種級別 A 級

▶保険金額		1 口あたりの補償額
死亡保険金		140万円
後遺障害保険金		程度に応じて死亡保険金額の 4~100%
入院保険金(1 日あたり)		1,500円
手術保険金		入院中の手術: 入院保険金日額の 10倍 外来の手術: 入院保険金日額の 5倍
通院保険金(1 日あたり)		600円

▶年額保険料(掛金)	定員1人1口あたり
施設役員・職員 1名1口あたり	3円(1日あたり)

① 施設職員の労災上乗せ補償 改定

- オプション: 使用者賠償責任補償 改定

③ 施設職員の感染症罹患事故補償 改定

プラン 4 社会福祉法人役員等の補償

(賠償責任保険)

保険期間 1 年

社会福祉法人役員等の賠償責任補償

▶保険金額	A タイプ	B タイプ	C タイプ
1事故・期間中	5,000万円	1億円	3億円

● このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

引受幹事会 **損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課**
 TEL: 03(3349)5137
 受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3 を除きます。)

取扱代理店

株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
 受付時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3 を除きます。)